

平成 28 年度

科目修得試験の手引

手続日程

手 続	締切日等の取扱			日 程			
	ポータル サイト	窓口	郵送	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回
受講申込 開始日 (ポータルサイト)	0時から			3月 3日(木)	5月 19日(木)	8月 18日(木)	11月 10日(木)
履修登録 締切日	24時まで ※ 1	必着 ※ 2		4月生: 2月 29日(月) 10月生: 3月 16日(水)		4月生: 8月 31日(水) 10月生: 8月 10日(水)	
レポート提出 締切日		必着 ※ 2		3月 16日(水)	6月 1日(水)	8月 31日(水)	11月 16日(水)
受験申込 締切日	24時まで ※ 1	必着 ※ 2	消印有効				
受験票発送 予定日				3月 28日(月)	6月 13日(月)	9月 20日(火)	11月 28日(月)
試 験 日				4月 10日(日)	6月 26日(日)	10月 2日(日)	12月 11日(日)
試験結果 反 映				5月中旬	8月上旬	11月上旬	平成 29 年 1 月下旬

※ 1 締切時間直前は混雑が予想されますので、余裕をもって登録を行ってください。

※ 2 必着とは当該日の事務取扱時間内であることを言います。



日本大学通信教育部

はじめに

大学通信教育において、印刷教材を用いた「通信学修」は、最も基本的な学修方法です。

本冊子で説明する科目修得試験は、「通信学修」による成果を判定し、当該科目の単位を完成させるための試験をいいます。

以下、科目修得試験に関わる受験手続や試験会場などの詳細について説明しますので、「通信学修」に対する理解や今後の計画的な単位修得に役立ててください。

なお、「通信学修」への理解をいっそう深めるためには、補助教材である『学修要覧』・『報告課題集』等も併せて熟読するようにしてください。

本手引では
通信教育部ポータルサイトを「ポータルサイト」と記します。
URL : <https://online.dld.nihon-u.ac.jp>

目次

I	科目修得試験の概要	1
1	科目修得試験とは	1
2	受験資格	1
3	入学初年度の注意事項	2
4	特に注意を要する科目	2
II	手続日程	6
III	試験時間割	7
IV	受験までの流れ	9
1	受験までの略図	9
2	履修登録	9
3	教材の配本	10
4	通信授業（印刷教材）	10
5	レポートの作成	11
6	レポートの提出	12
7	手続方法	13
8	受験許可・不許可の確認	18
9	受験票	18
V	試験会場一覧	19
VI	試験会場マップ	21
VII	試験当日の注意	31
1	試験上の注意事項	31
2	試験時の参照物	32
VIII	試験結果	33
1	試験結果	33
2	結果反映の時期	33
3	注意事項	33
IX	「学割証」の発行（長距離区間乗車時の学生割引制度）	35
X	Q & A	37
XI	学修上のアドバイス	39

《巻末付録》

- ・学割証交付願
- ・科目修得試験受験届（予備用）

I 科目修得試験の概要

1 科目修得試験とは

科目修得試験とは、印刷教材を用いた通信学修の成果を総合的に判定し、当該科目の単位を修得するための試験をいい、年 4 回、全国約 50 会場で実施されます。

1 回の試験で受験できる科目数は最大 4 科目で、以下の時間割で実施されます。

【試験時間割】

時 限	試 験 時 間
第 1 時限	10 : 00 ~ 11 : 00
第 2 時限	11 : 20 ~ 12 : 20
第 3 時限	13 : 10 ~ 14 : 10
第 4 時限	14 : 30 ~ 15 : 30

※ 各時限ごとに指定された科目の中から 1 科目を選択して受験します。

2 受験資格

科目修得試験を受験するためには、以下 4 つの条件をすべて満たさなければなりません。

① 年度授業料（学費）を納入済であること。

※ 年度授業料とは、在学を継続するために必要となる費用です。

正科生は、

学年末に送付される振込用紙で、所定の金額を納入しなければなりません。

4 月入学生が第 1 回（4 月）、10 月入学生が第 3 回（10 月）の試験を受験する際に、
予め受験年度の授業料の納入が必要です。

科目履修生は、

2 年目の在学継続の申請後、継続費用等の納入が必要です。

② 受験科目に対する履修登録が、履修登録締切日までに行われていること。

③ 受験科目に対するレポートが、所定の通数をレポート提出締切日までに提出済であること。

④ 「ポータルサイト」又は「受験届（ハガキ）」による所定の受験手続が受験申込締切日までに行われていること。

3 入学初年度の注意事項

入学初年度に受験できる最初の科目修得試験は次のようになります。

したがって、4月入学生（前期）は第1回（4月）、10月入学生（後期）は第3回（10月）実施の科目修得試験は受験できませんので留意ください。

入学時期	最初に受験できる科目修得試験
4月入学（前期）	第2回科目修得試験（6月26日）
10月入学（後期）	第4回科目修得試験（12月11日）

4 特に注意を要する科目

① 受験できない科目

授業科目の一部に、科目修得試験で受験できない科目があります。

したがって、以下のケースに該当する科目は、スクーリングによって修得しなければなりません。

スクーリングでしか履修できない科目例

入学時配布の『学修要覧』等で明記した授業科目一覧において、※印が付された科目が該当します。

ケース1	【スクーリングでしか履修できない科目】 体育実技、文理学部に配当の演習科目（英語学演習等）、教職実践演習など。
ケース2	【教材未刊行科目】 法哲学、西洋古典、東洋史入門、アメリカ経済論、市場調査論など。

※ ケース2の科目は、今後印刷教材が刊行された場合、科目修得試験の受験が可能となりますので、その際は『部報』等で告知します。

② 学科・学年配当の科目

授業科目の中には、特定の学部・専攻部門だけに配当された科目や、指定された学年に進級しなければ受験できない科目がありますので注意が必要です。

詳しくは『学修要覧』で確認してください。

③ 単位修得済の科目

既に所定単位が修得済の科目は再履修できません。

例えば、評価“C”で合格済の科目に対して、よりよい評価を得るために再受験することはできません。

④ 同一科目で名称が異なる科目

次ページの科目は、同一科目でありながら学部・専攻部門によって名称が異なる科目です。

当該科目を受験する場合は、各自の所属学部・専攻部門に該当する科目で受験してください。

科目コード	法学部	科目コード	文理学部	科目コード	経済学部	科目コード	商学部
L30200	国際政治学	L30200	国際政治学	R32700	国際政治論	S33200	国際政治学概論
K32200	日本史概論	Q30200	日本史概説	Q30200	日本史概説	Q30200	日本史概説
K32300	東洋史概論	Q30300	東洋史概説	Q30300	東洋史概説	Q30300	東洋史概説
K32400	西洋史概論	Q30400	西洋史概説	Q30400	西洋史概説	Q30400	西洋史概説
—	—	—	—	R32800	外国史概説	S33300	外国史
L20200	経済学原論	R20100	経済原論	R20100	経済原論	R20100	経済原論
L31300	経済学説史	R30100	経済学史	R30100	経済学史	R30100	経済学史
L31500	経済政策	R30700	経済政策総論	R30700	経済政策総論	R30700	経済政策総論
L31400	財政学	R31500	財政学総論	R31500	財政学総論	R31500	財政学総論
L31600	社会政策	R32100	社会政策論	R32100	社会政策論	R32100	社会政策論
T22000	地誌学概論	T21900	地誌学※	T21900	地誌学	T22100	地理学概論 (地誌を含む)
R32600	経済地理学	R32600	経済地理学	R32600	経済地理学	S32200	経済地理
—	—	T22600	法学通論※	T22700	法律学概論 (国際法を含む)	T22700	法律学概論 (国際法を含む)

※ 文理学部で「T21900 地誌学」及び「T22600 法学通論」を履修できるのは、哲学専攻及び史学専攻のみです。

⑤ 旧教材による出題の取り止め科目

本学の科目修得試験において教材が改訂された場合、移行措置として、その年度に限り現行の教材(旧教材)と新教材の双方から出題され、受験が可能です。

下表に挙げる科目は、昨年度改訂され、本年度より新教材のみ出題、受験となります。

旧教材による配本を受け、今後科目修得試験を受験する方は新教材を購入、学修の上、受験してください。

新・旧教材の判別は下表を参照願います。

新科目 コード	科目名	単 位	新教材		旧科目 コード	旧教材	
			教 材 コード	教材名		教 材 コード	教材名
Q31000	東洋史特講Ⅰ	4	000507	東洋史特講Ⅰ 〔通信教育教部開発教材〕	0665	000153	東洋史特講Ⅰ 〔通信教育教部開発教材〕
Q31100	東洋史特講Ⅱ	4	000508	東洋史特講Ⅱ 〔通信教育教部開発教材〕	0666	000485	『上海一都市生活の現代史』〔市販本〕
L30500	西洋政治史	4	000503	『西洋政治史』 〔市販本〕☆	0214	000464	『現代ヨーロッパ政治史 (増補版)』〔市販本〕
G10300	日本語Ⅲ	2	000504	『改訂版 トピックによる日 本語総合演習』〔市販本〕☆	0068	000297	『日本を考える五つの話 題』〔市販本〕
F10400	中国語Ⅳ	2	000505	『2014年度版時事中国 語の教科書』〔市販本〕☆	0064	000459	『時事中国語の教科書 2011年度版』〔市販本〕
Q20400	考古学入門	4	000509	『考古学入門』 〔市販本〕☆	0098	000048	考古学入門 〔通信教育教部開発教材〕
Q30500	考古学概説	4	000510	『初めて学ぶ考古学』 〔市販本〕☆	0679	000158	考古学概説 〔通信教育教部開発教材〕

☆印：学修指導書別冊

教材コードの確認方法

教材コードは、表紙右下又は左下に6桁の数字で表示してあります。

また、背表紙の下にも3桁の数字で表示しています。

※ 一部旧科目コード(数字4桁)を表示している教材もありますので、必ず教材コードで確認してください。

通信教育教材「市販本」のカバー掛け廃止について

これまで、通信教育教材の「市販本」には、大学専用のオリジナルカバーを掛けて配本してきましたが、平成 26 年度からカバー掛けを廃止し、市販本の表紙のまま送付しております。代わりに、カバーに表記されている情報を網羅した「短冊」を、順次教材に挟み込んでの配本となります。

なお、教材要綱とは以下の要領で対応しています。

※ 一部旧科目コードで記載されている場合があります。

科目コード T30300	科目名 英語科教育法Ⅲ	単位数 2単位	科目コード T30300	科目名 英語科教育法Ⅲ	単位数 2単位
教材コード 000225	教材名 英語科教育法セミナー Selected Essays on Teaching English as a Foreign Language		教材コード 000225	教材名 英語科教育法セミナー Selected Essays on Teaching English as a Foreign Language	
著者名等 浪田 克之介	文部科学省認可 通信教育教材	日本大学通信教育部	著者名等 浪田 克之介	文部科学省認可 通信教育教材	日本大学通信教育部

科目コード	科目名	単位数
T30300	英語科教育法Ⅲ	2単位

教材コード	教材名	著者名等
000225	『英語科教育法セミナー』	浪田 克之介・熊取谷 哲夫

(学修指導書別冊)

■教材の概要

この教科書は、まず外国語教育全体を構成する諸要素を単離し、とりわけ重要な学習者の心理的要因を分析し、学習される言語知識の中核である文法の教授法を考え、この受動的知識を能動的知識に転換するための訓練法を論じ、学習目標に対して学習結果が占める座標と今後の方位の測定の方法について考え、最後に以上の総合としての教授法を論じるという章分けをその構造としている。その主旨に沿い各部を統合して、自らの有機的体系構築の資とされんことを望む。

■学修計画のポイント

ページ 7～57

外国語教育担当者の常にチェックすべき事項の確認、学習心理の分析、言語運用の背後にある言語知識の教育の方法について。

ページ 58～100

受動的言語知識を言語使用の場で能動的に運用できる知識に転じるための訓練の技術、知識の授受および訓練の成果を確認し、以後の方向模索のための学習者の知識・能力の測定法、外国語教育に関わる諸要素の選択結果を総合しての方法論。

■学修上の留意点

英語教育を論じるための technical term、英語教育の理論と方法。

■参考文献

H. H. Stern, Fundamental Concepts of Language Teaching. O. U. P.

II 手続日程

	手 続	日 程	締切日等の取扱い		
			ポータルサイト	窓口	郵送
第1回科目修得試験	受験申込開始日 (ポータルサイト)	3月3日(木)	0時から		
	履修登録締切日	4月生	2月29日(月)		必着※
		10月生	3月16日(水)		
	レポート提出締切日	3月16日(水)		必着※	
	受験申込締切日		24時まで	必着※	消印有効
	受験票発送予定日	3月28日(月)			
	試 験 日	4月10日(日)			
試験結果反映	5月中旬				
第2回科目修得試験	受験申込開始日 (ポータルサイト)	5月19日(木)	0時から		
	履修登録締切日		24時まで	必着※	
	レポート提出締切日	6月1日(水)		必着※	
	受験申込締切日		24時まで	必着※	消印有効
	受験票発送予定日	6月13日(月)			
	試 験 日	6月26日(日)			
	試験結果反映	8月上旬			
第3回科目修得試験	受験申込開始日 (ポータルサイト)	8月18日(木)	0時から		
	履修登録締切日	4月生	8月31日(水)	24時まで	必着※
		10月生	8月10日(水)		
	レポート提出締切日	8月31日(水)		必着※	
	受験申込締切日		24時まで	必着※	消印有効
	受験票発送予定日	9月20日(火)			
	試 験 日	10月2日(日)			
試験結果反映	11月上旬				
第4回科目修得試験	受験申込開始日 (ポータルサイト)	11月10日(木)	0時から		
	履修登録締切日		24時まで	必着※	
	レポート提出締切日	11月16日(水)		必着※	
	受験申込締切日		24時まで	必着※	消印有効
	受験票発送予定日	11月28日(月)			
	試 験 日	12月11日(日)			
	試験結果反映	平成29年1月下旬			

※ 必着とは当該日の事務取扱時間内であることをいいます。

Ⅲ 試験時間割

第 1 時限 (10:00 ~ 11:00)	
科目コード	科目名
B10700	哲 学
B11200	文 化 史
B11700	政 治 学
B11900	数 学
B12100	心 理 学
C10100	英 語 I
C10500	英 語 V
D10400	ドイツ語Ⅳ
E10400	フランス語Ⅳ
F10300	中 国 語 Ⅲ
G10100	日 本 語 I
K30100	民 法 Ⅱ
K30400	民 法 V
K30800	刑 法 Ⅱ
K31000	行 政 法 Ⅱ
K31200	国際私法
K31600	民事訴訟法
L20100	政治学原論
L30500	西洋政治史
M20200	国文学概論
M30400	国語学講義
M30500	国文学講義Ⅰ(上代)
M31500	漢 文 学 I
N20200	英 文 法
N30400	英 作 文 I
N30700	英語学概説
N31500	英米事情Ⅰ
P30100	宗教学基礎講読
P30300	哲学概論
P31000	哲学特殊講義
Q30200	日本史概説
K32200	日本史概論
Q30500	考古学概説
Q31000	東洋史特講Ⅰ
R20100	経済学原論*
L20200	経済学原論*
R31000	日本経済論
R31400	経済開発論
R31700	租 税 論
R31800	金 融 論
S30700	交 通 論
S30800	証券市場論
S31000	商業政策
S32200	経済地理*
R32600	経済地理学*
S32800	会 計 学
T10100	現代教職論
T20400	国語科教育法Ⅱ
T20600	社会科・地理歴史科教育法Ⅱ
T21000	英語科教育法Ⅱ
T21200	商業科教育法Ⅱ
T21300	道徳教育の理論と方法*
T21400	道徳教育の研究
T21500	特別活動論*
T21600	特別活動の研究
T21800	地理学概論
T22600	法学通論*
T22700	法律学概論(国際法を含む)*
U20100	学校経営と学校図書館
U20500	情報メディアの活用
Y20100	生涯学習論
Y20700	博物館資料保存論

第 2 時限 (11:20 ~ 12:20)	
科目コード	科目名
B10900	倫 理 学
B11000	宗 教 学
B11500	法 学 (日本国憲法2単位を含む)
C10300	英 語 Ⅲ
D10200	ドイツ語Ⅱ
E10200	フランス語Ⅱ
F10100	中 国 語 I
G10300	日 本 語 Ⅲ
H10200	保健体育講義Ⅱ
K20100	憲 法
K30200	民 法 Ⅲ
K30600	商 法 Ⅱ
K31300	労 働 法
K31700	刑事訴訟法
K31900	日本法制史
L30300	政治思想史
L30700	外 交 史
M30100	国文学史Ⅰ
M30800	国文学講義Ⅳ(近世)
M30900	国文学講義Ⅴ(近代)
M31400	国語音声学
N20100	イギリス文学史Ⅰ
N30500	英 作 文 Ⅱ
N30600	英語音声学
N31300	放送英語
N31700	異文化間コミュニケーション概論
P20200	西洋思想史Ⅰ
P30200	倫理学基礎講読
P30700	東洋思想史Ⅱ
Q20100	日本史入門
Q30400	西洋史概説*
K32400	西洋史概論*
Q30600	考古学特講Ⅰ
Q30800	日本史特講Ⅰ
R20300	経済学概論
R30500	日本経済史
R30700	経済政策総論*
L31500	経済政策*
R30900	工業経済論
R32000	経済統計学
S20100	商学総論
S20200	経 営 学
S20300	簿 記 論 I
S30200	商 法
S32000	観光事業論
S32700	中小企業論
T10400	教育の歴史
T10500	発達と学習
T20100	教育の社会学
T20200	教育制度論
T20700	社会科・公民科教育法Ⅰ
T22300	自然地理学概論
T22900	職業指導
T23000	心理学概論
T30100	国語科教育法Ⅲ
T30300	英語科教育法Ⅲ
U20200	学校図書館メディアの構成
Y20300	博物館概論
Y20800	博物館展示論
Y21300	文化人類学

注 意 事 項

- ①※印の科目は、平成23年度1学年入学生、平成24年度1学年入学生、2学年編・再入学生、平成25年度1学年入学生、2学年編・再入学、3学年編・再入学、平成26年度以降入学生及び科目履修者が履修することができます。
- ②*印の科目は、同一内容でありながら学部によって科目コード・科目名が異なる科目であるため、受験手続の際に注意を要します。
- ③英語基礎は、文学専攻(英文学)の学生は、履修することができません。
- ④日本語Ⅰ～Ⅳは、外国人(日本語を母国語としない者)のみ履修することができます。
- ⑤入学初年度(平成28年度新入生)は、4月入学生は第1回(4月)、10月入学生は第3回(10月)実施の科目修得試験を受験することができません。

第3時限 (13:10～14:10)	
科目コード	科目名
B11100	歴史学
B11400	美術史
B11600	社会学
B12000	生物学
B12200	統計学
C10200	英語Ⅱ
D10300	ドイツ語Ⅲ
E10100	フランス語Ⅰ
F10200	中国語Ⅱ
G10400	日本語Ⅳ
K30300	民法Ⅳ
K30500	商法Ⅰ
K30900	行政法Ⅰ
K31400	知的財産権法
L30100	行政学
L30600	東洋政治史
L30800	地方自治論
M20100	国文学基礎講義
M30200	国文学史Ⅱ
M31000	国文学講義Ⅵ(現代)
M31600	漢文学Ⅱ
M31900	文章表現法
N20300	英米文学概説
N30300	英語史
N31000	スピーチコミュニケーションⅡ
N31200	英米文学特殊講義
N31400	新聞英語
N31600	英米事情Ⅱ
P20100	哲学基礎講義
P20300	東洋思想史Ⅰ
P30500	倫理学概論
P30800	日本思想史Ⅰ
Q20300	西洋史入門
Q30100	史学概論
Q31100	東洋史特講Ⅱ
Q31700	古文書学
R20200	経済史総論
R30800	農業経済論
R31600	地方財政論
R32100	社会政策論*
L31600	社会政策*
R32200	労働経済論
R32300	情報概論
S30500	マーケティング
S30600	保険総論
S30900	広告論
S31200	国際金融論
S31300	商業英語Ⅰ
S32100	商業史
S33300	外国史*
R32800	外国史概説*
T10200	教育原論※
T10300	教育の思想
T20800	社会科・公民科教育法Ⅱ
T21700	教育の方法・技術論
T22200	人文地理学概論
T22400	漢字書法
T30200	国語科教育法Ⅳ
T30400	英語科教育法Ⅳ
U20300	学習指導と学校図書館
Y20600	博物館資料論
Y20900	博物館教育論

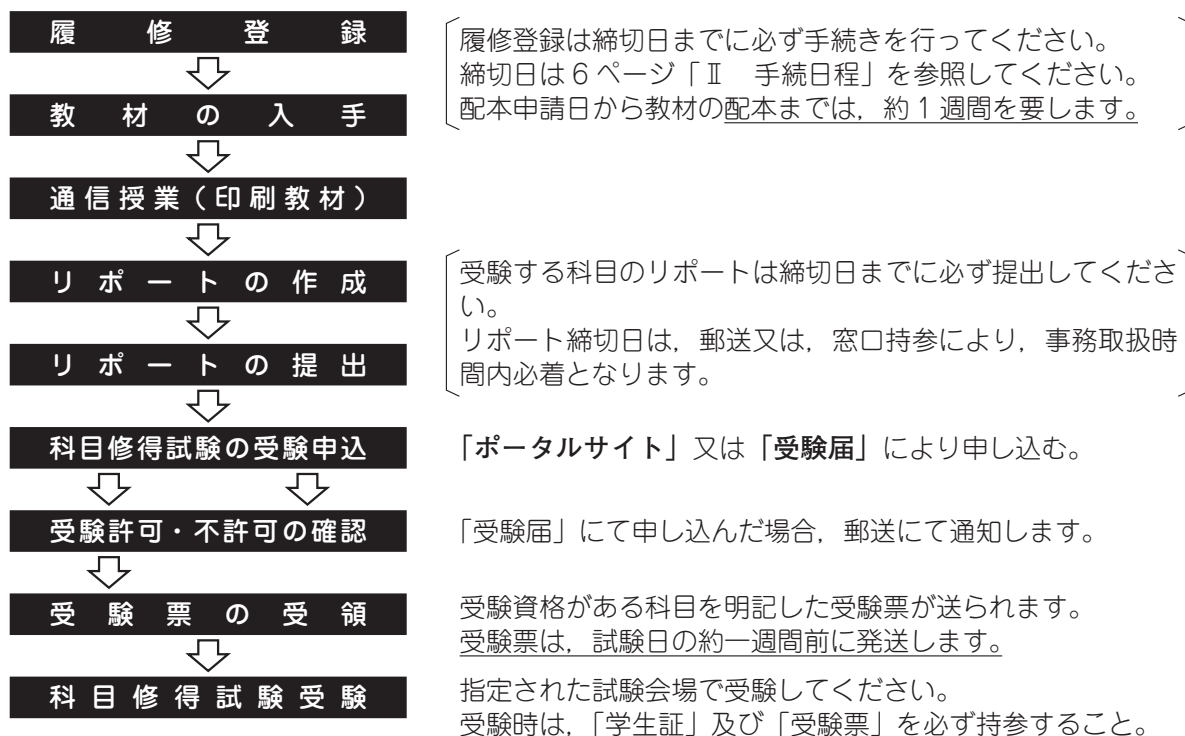
第4時限 (14:30～15:30)	
科目コード	科目名
B10800	論理学
B11300	文学
B11800	経済学
B12300	科学史
C10400	英語Ⅳ
C10600	英語基礎
D10100	ドイツ語Ⅰ
E10300	フランス語Ⅲ
F10400	中国語Ⅳ
G10200	日本語Ⅱ
H10100	保健体育講義Ⅰ
K20200	民法Ⅰ
K20300	刑法Ⅰ
K30700	商法Ⅲ
K31100	国際法
K31500	税法
L30200	国際政治学*
R32700	国際政治論*
S33200	国際政治学概論*
L30400	日本政治史
M20300	国語学概論
M30300	国文法
M30700	国文学講義Ⅲ(中世)
N30100	イギリス文学史Ⅱ
N30200	アメリカ文学史
N30900	スピーチコミュニケーションⅠ
P30400	宗教学概論
P30600	西洋思想史Ⅱ
P31300	科学哲学
Q20400	考古学入門
Q30300	東洋史概説*
K32300	東洋史概論*
Q30900	日本史特講Ⅱ
Q31200	西洋史特講Ⅰ
R30100	経済学史*
L31300	経済学説*
R30300	価格理論
R30600	西洋経済史
R31100	国際経済論
R31500	財政学総論*
L31400	財政学*
R31900	貨幣経済論
S30300	商品学
S30400	貿易論
S31400	商業英語Ⅱ
T20300	国語科教育法Ⅰ
T20500	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ
T20900	英語科教育法Ⅰ
T21100	商業科教育法Ⅰ
T21900	地誌学*
T22000	地誌学概論*
T22100	地理学概論(地誌を含む)*
T22500	かな書法
T22800	政治学概論
T30500	生徒指導・進路指導論
T30600	教育相談※
T30700	教育カウンセリング論
U20400	読書と豊かな人間性
Y20400	博物館経営論
Y21000	博物館情報・メディア論
Y21200	民俗学

注 意 事 項

- ①※印の科目は、平成23年度1学年入学生、平成24年度1学年入学生、2学年編・再入学生、平成25年度1学年入学生、2学年編・再入学、3学年編・再入学、平成26年度以降入学生及び科目履修生が履修することができます。
- ②*印の科目は、同一内容でありながら学部によって科目コード・科目名が異なる科目であるため、受験手続の際に注意を要します。
- ③英語基礎は、文学専攻(英文学)の学生は、履修することができません。
- ④日本語Ⅰ～Ⅳは、外国人(日本語を母国語としない者)のみ履修することができます。
- ⑤入学初年度(平成28年度新入生)は、4月入学生は第1回(4月)、10月入学生は第3回(10月)実施の科目修得試験を受験することができません。

IV 受験までの流れ

1 受験までの略図



2 履修登録

① 履修登録方法

方法	対象者	内容
履修登録	正科生	入学時及び学年進級時(学年更新時)に、学生本人が科目を選択し「ポータルサイト」または「履修届」にて履修登録を行います。この手続によって1年につき上限48単位まで科目を登録できます。(教職生または2学年以上の教職コース登録者は、上限60単位まで科目を登録できます。)
履修申請書	科目履修生	入学手続時及び2年目の継続時に科目を選択し履修登録を行います。この手続によって1年につき上限30単位まで科目を登録できます。年度途中での追加・変更はできませんので、注意してください。

※教材は別途配本申請または教材購入にて入手してください。

② 有効期間

履修登録した科目は在学中有効です。

3 教材の入手方法

平成27年度から、教材の配本方法が変更になり、教材の配本制度が新設されました。履修登録では、教材は配本されません。通信教育教材を入手する場合は、以下の2通りの方法があります。

① 「教材配本申請書」による配本（無料）

正科生のみ対象となります。年度内2回まで合計32単位分まで申請できます。所定の「教材配本申請書」またはポータルサイトから申請してください。

② 「教材購入願」による購入（有料）

教材を有料で購入することができます。

科目履修生の教材入手や、「教材配本申請書」の回数・単位数の上限を超えた場合、その他の理由で教材を入手したい場合には、有料で購入することができます。

手続きの詳細や価格・配本単位数等は、『部報』、ポータルサイト等を参照してください。

教材の改訂

在学中に、教材が改訂される場合がありますが、**改訂年度に限り**、改訂後の新教材と改訂前の旧教材の双方で試験に臨むことができます。

ただし、**改訂年度の翌年は、新教材でなければ学修できません**ので、履修登録した年度内に単位修得に至るよう心掛けましょう（1ページ「Ⅰ 科目修得試験の概要」を参照）。

なお、新教材で受験できるのは、改訂年度の**第2回科目修得試験**からとなります。

※ 新教材になっても、教材の自動配本はありません。新教材を入手するためには、別途「配本申請」又は「教材購入」の手続きをする必要があります。

注意！

教材を入手しただけでは、試験を受験できません。
必ず、履修登録および受験申込をしてください。

4 通信授業（印刷教材）

① 日常の学修

教材を読破し、一区切りごとに要点を整理しまとめることが大切です。

また、教材の内容をより詳しく理解するために、参考書や文献を大いに活用してください。

② 学修計画

(1) 試験の時間割を活用

まずは、7・8ページに掲載した「Ⅲ 試験時間割」を参照してください。

年4回の試験において、1回の試験で受験できる科目数は、各時限から1科目の計4科目ですから、この範囲内で、“いつ・どの科目を受験するのか”を選定します。

なお、試験の時間割は年4回を通して変更することはありません。

(2) 計画的な受験計画

必ずしも4科目受験しなければならないわけではありません。

例えば、1・2時限目からいずれか1科目、3・4時限目からいずれか1科目の計2科目をコンスタントに受験する等、無理のない計画を立てるのがよいでしょう。

※ **大学通信教育においては、強い継続の意志が必要です。**

教材は、別途各自で用意する必要があります。

「通信学修」で使用する教材は、「配本申請」又は「教材購入」手続により、大学から送付することもできます。

① 教材配本申請書による配本（無料）

正科生のみ対象。年度内2回まで合計32単位分まで申請できます。

② 教材購入願による購入（有料）

科目履修生の教材入手や、教材配本申請書の回数・単位数の上限を超えた場合等で、教材を入手したい場合には、有料で購入することができます。

※ 詳細は「ポータルサイト」や「部報」等で確認してください。

5 リポートの作成

① リポートについて

配本された教材を熟読し、大学から与えられた課題にそって、リポートを作成し、提出後、添削指導と評価を受けます。

科目修得試験の受験には、リポート作成は不可欠であり、作成にあたっては、与えられた課題に対して、的確かつ論理的に記述することがポイントです。

平日頃からさまざまな文章を読み、作文能力が身に付けられるよう心掛けましょう。

② リポート課題（『報告課題』）

『報告課題集』という冊子が配布され、各科目、課題に基づいてリポートを作成していきます。

リポート課題の有効期間は『報告課題集』発行から2年間ですので、有効期間内の課題に基づいたリポートを作成することになります。

ただし、教材が改訂された科目の有効期間は、改訂された科目の『報告課題』に明記された有効期間に注意してください。

③ リポートの作成要領

(1) リポートは、**大学指定のリポート用紙**を用いて作成します。

(2) **2単位につき1通**のリポートを作成します。

したがって2単位科目は1通、4単位科目は2通必要ということになります。

なお、「かな書法」は、当該科目は2単位ですが2通のリポートを必要とします。

(3) リポート1通につき、**1,600字～2,000字**で作成します。

(4) ワープロの使用は認めませんので、**ペンを用いて手書きで作成**します（消せるタイプのペンは使用できません）。

6 リポートの提出

① リポート提出の要領

科目修得試験を受験するためには、**事前にリポートを提出**しておかなければなりません。

リポート提出の**締切日は、年4回の実施回ごとに定められています**（6ページ「Ⅱ 手続日程」参照）。

したがって、皆さんが“いつ・どの科目を受験するか”を計画すれば、リポート提出のスケジュールが定まります。

② リポート提出締切日の取扱い

リポートは、郵送又は窓口で受け付けますが、いずれも**締切日の事務取扱時間内に到着した分まで有効**です。**郵送の場合、消印有効ではありませんので注意してください。**

③ リポートの効力

科目修得試験の受験条件は、締切日までに必要な通数のリポートが提出してある事であり、試験前に合格していなくても受験は可能です。

ただし、リポートが合格しなければ、科目の所定単位が完成しません。

したがって、当該科目について、事前に提出したリポートが不合格で、科目修得試験が合格した場合、試験の合格結果は在学中有効なので、不合格のリポートが合格すれば当該科目の単位は完成します。

また、事前に提出したリポートが合格で、科目修得試験が不合格の場合、リポートの合格結果は在学中有効なので、科目修得試験が合格すれば、当該科目の単位は完成します。

④ 不備・無効リポート

以下の事項に該当する「不備・無効リポート」は、受理をせず返却します。たとえ科目修得試験のリポート締切日以前にリポートが到着していても、不備により返却された場合には、締切に間に合ったことにはなりません。

特にリポート締切日間際には、「不備・無効リポート」が多発しますので、十分注意してください。

【不備・無効リポートの例】

- (1) 解答形式が異なる（縦書・横書）。
- (2) 鉛筆又はワープロ等を使用している（消せるタイプのペンも使用不可）。
- (3) 複数の課題から選択することが指示されている場合に、選択した課題番号に○印をつけていない。
- (4) 課題及びバーコードシールが貼付されていない。
- (5) 課題の有効期限が過ぎている。
- (6) 未解答及び白紙、字数の過不足がある。

※ 上述の内容は不備・無効リポートの一例ですので、詳しくは『報告課題集』を参照してください。

⑤ その他

(1) 返却されたりポートは在籍期間中大切に保管してください。

(2) 郵便事故によるリポート未着について、いかなる配慮も行ないませんので、郵送の場合は、郵便局窓口から特定記録郵便（リポート1通175円）で郵送することをお勧めします。また、不慮の郵便事故に備えて、提出するリポートは必ず写しを取って保管しておいてください。

(3) リポート用紙は、入学時に20通配布します。その後、必要な場合は各自で購入してください。（1組20通1,000円）。購入の際は、「リポート用紙購入願」を使用してください。

7 手続方法

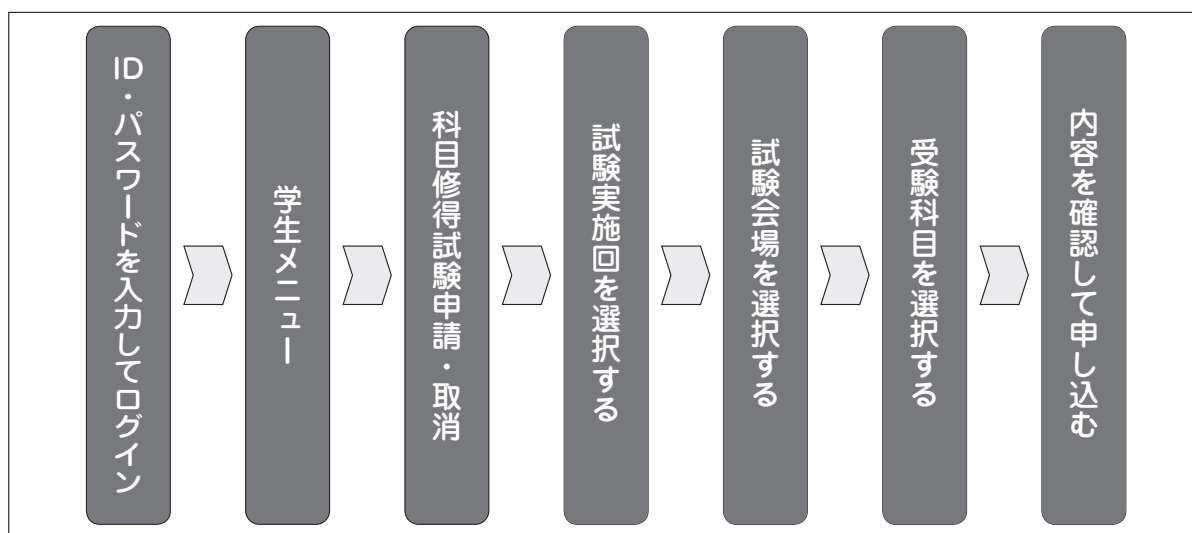
これまで、科目修得試験の受験に必要な手続として、履修登録からレポート提出までのことを説明しました。ここまでの手順を踏んで、最後に迎えるのが「ポータルサイト」又は「受験届」のいずれかによって、受験科目を申し込む手続です。

① 「ポータルサイト」による申込み

「ポータルサイト」(以下URL)にアクセスし、手続きをしてください。

URL <https://online.dld.nihon-u.ac.jp>

【ポータルサイトによる申込手順】



●申請の前に




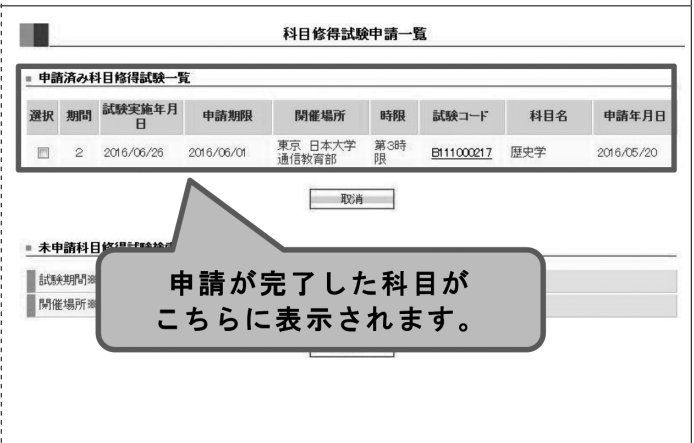
申請には、ユーザIDとパスワードが必要です。

ユーザID = 学生番号

初期パスワード = 自分の西暦生年月日 (半角数字 8 桁)

●申請方法



1	通信教育部ホームページ (URL : http://www.dld.nihon-u.ac.jp/index.html) の「在学生ログイン」をクリックしてください。	
2	上記、ユーザIDとパスワードを入力して、「ログイン」ボタンをクリックしてください。	

<p>3 「学生メニュー」をクリックし、「科目修得試験申請・取消」をクリックしてください。</p>																									
<p>4 「試験期間」・「開催場所」を選択し、検索をクリックしてください。 ※実施回ごとに申込期間が違いますので、P.6の手続日程を確認してください。</p>																									
<p>5 受験したい科目を選択し、「申請」をクリックしてください。申請確認画面で科目を確認し、「申請実行」をクリックしてください。最終確認ができるので、「OK」をクリックしてください。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>時限</th> <th>試験コード</th> <th>科目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>第3時限</td> <td>B11000217</td> <td>歴史学</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>第3時限</td> <td>C100000217</td> <td>英語Ⅱ</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>第4時限</td> <td>C100000217</td> <td>英語基礎</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>第4時限</td> <td>K311000217</td> <td>国際法</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>第2時限</td> <td>K317000217</td> <td>刑事訴訟法</td> </tr> </tbody> </table>	選択	時限	試験コード	科目名	<input type="checkbox"/>	第3時限	B11000217	歴史学	<input type="checkbox"/>	第3時限	C100000217	英語Ⅱ	<input type="checkbox"/>	第4時限	C100000217	英語基礎	<input type="checkbox"/>	第4時限	K311000217	国際法	<input type="checkbox"/>	第2時限	K317000217	刑事訴訟法
選択	時限	試験コード	科目名																						
<input type="checkbox"/>	第3時限	B11000217	歴史学																						
<input type="checkbox"/>	第3時限	C100000217	英語Ⅱ																						
<input type="checkbox"/>	第4時限	C100000217	英語基礎																						
<input type="checkbox"/>	第4時限	K311000217	国際法																						
<input type="checkbox"/>	第2時限	K317000217	刑事訴訟法																						
<p>6 申請受付が完了すると、登録されているメールアドレスに受付メールが配信されますので、必ず確認してください。配信されない場合は、申込確認画面で確認してください。 ※いかなる場合でも、申込受付が完了していなければ受験申込として受付できませんので、申込の受付状況は、十分確認してください。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>期間</th> <th>試験実施年月日</th> <th>申請期限</th> <th>開催場所</th> <th>時限</th> <th>試験コード</th> <th>科目名</th> <th>申請年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>2</td> <td>2016/06/26</td> <td>2016/06/01</td> <td>東京・日本大学通信教育部</td> <td>第3時限</td> <td>B11000217</td> <td>歴史学</td> <td>2016/05/20</td> </tr> </tbody> </table>	選択	期間	試験実施年月日	申請期限	開催場所	時限	試験コード	科目名	申請年月日	<input checked="" type="checkbox"/>	2	2016/06/26	2016/06/01	東京・日本大学通信教育部	第3時限	B11000217	歴史学	2016/05/20						
選択	期間	試験実施年月日	申請期限	開催場所	時限	試験コード	科目名	申請年月日																	
<input checked="" type="checkbox"/>	2	2016/06/26	2016/06/01	東京・日本大学通信教育部	第3時限	B11000217	歴史学	2016/05/20																	

受験手続


●申請確認

「ポータルサイト」で確認することができます。

1	申請方法の1・2の手順で、ログインしてください。	
2	「学生メニュー」をクリックし、「科目修得試験情報一覧」をクリックしてください。	
3	申請内容が表示されます。	

●申請内容の変更・取りやめ

申込期間内に限り、「ポータルサイト」で変更・取りやめをすることができます。

<p>申込内容を変更する場合には、一旦、申請内容を削除する必要があります。「学生メニュー」をクリックし、「科目修得試験申請・取消」をクリックし、申請済み科目修得試験一覧より、科目を選択し、削除してから、再度申請を行ってください。</p>	
--	--

注意) ※申請期間の過ぎた科目修得試験は、受付できません。

※申請の際には、適宜『科目修得試験の手引』を参照してください。

※「ポータルサイト」と「受験届 (ハガキ)」の両方からの申込みがあった場合は、「ポータルサイト」の内容を有効とします。

② 受験届で申し込む場合

- (1) 受験届は、実施回ごとに『部報』巻末に綴じ込まれます。
 受験届を紛失等した場合は、本手引巻末の受験届（予備）を適宜、使用してください。
- (2) 提出先・提出方法
- a 教務課窓口へ直接提出
 教務課カウンターに提出ポストを設置しますので、そちらに投函してください（締切日は事務取扱時間までとします）。
- b 郵送で提出する
 受験届に切手貼付の上、郵送してください（提出締切日までの消印有効）。

郵送提出における注意事項

天災や郵便の遅延・未着そのほかの事故については、いかなる配慮も行いません。
 受験届が教務課に届かなかった場合、受験できないので、特定記録郵便・簡易書留・書留を強くお勧めします。
 特定記録郵便の場合、大学受領の記録が残らない取扱いとなりますので、「受験票」が届くまで、郵送した際の受領証を必ず大切に保管ください。紛失の場合、郵便追跡確認ができなくなります。
 また、レポート等、他の書類と一緒に送付するとその間にはさまってしまい、事故の原因になります。受験届は単体で送付してください。

- (3) 記入方法（以下、記入例参照）
- a 記入はボールペンを使用してください（消せるタイプのペンは使用できません）。
- b 試験会場コード・試験会場名は 19・20 ページ（Ⅴ 試験会場一覧）を参照して記入してください。
- c 受験科目は科目コードと科目名を時限ごとに記入してください。
 科目コード・時限は、7・8 ページ（Ⅲ 試験時間割）を参照してください。
- d 学生番号・氏名・連絡先の欄を正確に記入してください。
- (4) 記入例

科目修得試験受験届				
学生番号	1 1 1 6 1 0 0 0			
フリガナ	ニチダイ タロウ			
氏名	日大 太郎			
年	月	日	実施回	
28	6	26	2	
会場コード	1 3 0 0 1 K			
会場名	日本大学通信教育部			
受験希望科目				
時限	科目コード			科目名
1	C	1	0 1 0 0	英語 I
2				
3	B	1	1 1 0 0	歴史学
4				

※ 記載漏れや誤記は無効となります。
 提出前に再度確認してください。

③ 「ポータルサイト」・「受験届」共通事項

(1) 締切日

申込締切日は、**年 4 回の実施回ごとに定められています**（6 ページ「II 手続日程」を参照）。

(2) 締切日の取扱

「受験届」は、窓口又は郵送で受け付けますが、窓口の場合は、**締切日の事務取扱時間内必着**、郵送の場合は**締切日の消印有効**です。

「ポータルサイト」の場合は**締切日の 24 時 00 分**までです。

(3) 受験料納入は不要です。

④ 受験科目の変更・追加

(1) 手続要領

受験申込科目を変更又は追加する場合は、**申込期間内に限り**「ポータルサイト」又は「科目修得試験受験科目変更届」のいずれかによって手続しなければなりません。

(2) 「ポータルサイト」で手続する場合

「ポータルサイト」の「学生メニュー」⇒「科目修得試験申請・取消」から直接変更・追加できます。

URL <https://online.dld.nihon-u.ac.jp>

(3) 科目修得試験受験科目変更届で手続する場合

a 「ポータルサイト」（上記 URL）の「各種手続用紙（様式）」から用紙をダウンロードして利用してください。

b 市販の便せんを使用し、以下記入例のとおり変更届を作成してください。

(4) 提出先・提出方法・提出期限

「受験届」の提出と同様です。

(5) 記入例

平成 28 年 6 月 1 日		
日本大学通信教育部教務課長 殿		
科目修得試験受験科目変更届		
標記のことについて、平成 28 年度 第 2 回科目修得試験における受験科目を下記のとおり変更したく、書面をもってお願いいたします。		
記		
(当初の受験科目) ※受験科目全てを記入すること。		
時 限	科 目 コー ド	科 目 名
1 時限	C 1 0 1 0 0	英 語 I
2 時限		
3 時限	B 1 1 1 0 0	歴 史 学
4 時限		
(変更後の受験科目) ※受験科目全てを記入すること。		
時 限	科 目 コー ド	科 目 名
1 時限	C 1 0 1 0 0	英 語 I
2 時限		
3 時限	C 1 0 2 0 0	英 語 II
4 時限		
(受験希望会場) (変更なし) 変更あり		
開催地	会 場 コー ド	会 場
東 京	1 3 0 0 1 K	日本大学通信教育部
※受験希望会場は、会場の変更の有無に関わらず、記載のこと（変更がない場合には「変更なし」を、変更の場合には「変更あり」を○でかこむこと）		
学 部	法学部	
学 科 (専攻)	法律学科	
学 生 番 号	1 1 1 6 1 0 0 0	
氏 名	日 大 太 郎	

8 受験許可・不許可の確認

「受験申込締切後」約2週間後に受験許可・不許可が反映されます。

ホームページ「ポータルサイト」の「学生メニュー」⇒「科目修得試験情報一覧」より、本人が申し込んだ科目の許可・不許可が表示されますので確認してください。

主な不許可理由の例は以下のとおりですが、不許可理由に疑義等がある場合は、教務課試験係まで連絡してください（電話 03-5275-8911）。

【主な不許可理由】

不許可理由	内 容
リポ ー ト 未 提 出	レポートの未提出又は、レポートを提出しながらも、所定の締切日までに間に合わなかったケースに相当します。締切日必着であることにご留意ください。
リポ ー ト 数 不 足	レポートを提出しながらも、所定の通数に達しなかったケースに相当します。
履 修 登 録 無 し	受験申込科目の履修登録手続きを行っていないケースに相当します。「スクーリングの受講（申込み）」と「履修登録」と「配本申請」は異なります。
締切日後の履修登録	“履修登録”（9ページ参照）をしながら、所定の締切日までに間に合わなかったケースに相当します。 締切日必着であることにご留意ください。

9 受験票

受験が許可された科目名や試験会場等が記載された「受験票」を、試験日の約一週間前に発送します。

なお、試験日の5日前になっても「受験票」が届かない場合や、記載内容に疑義等がある場合は、教務課試験係まで連絡してください（電話 03-5275-8911）。

V 試験会場一覧

科目修得試験の開催地・会場名等は次表のとおりです。各会場の「○」の入っている回に開催されます。「－」の回は開催されません。

諸般の事情により急きょ、会場を変更する場合がありますが、その際は『ポータルサイト』や『部報』等で告知します。

(会場マップは21～30ページに掲載)

地域	開催地	会場コード	会場名	第1回 4/10	第2回 6/26	第3回 10/2	第4回 12/11
北海道	札幌	01013K	札幌日本大学高等学校	○	○	○	○
	函館	01018K	函館短期大学	－	○	－	○
	釧路	01027K	釧路市鳥取コミュニティセンター	○	○	○	○
	帯広	01028K	とがちプラザ	○	○	○	○
	旭川	01035K	旭川大学	○	○	○	○
	網走	01040K	オホーツク・文化交流センター	－	－	－	○
東北	青森	02013K	県民福祉プラザ	－	○	－	○
	八戸	02011K	友の会福祉会館	○	－	○	○
	盛岡	03005K	アイーナ（いわて県民情報交流センター）	○	○	○	○
	仙台	04006K	南光学園東北高等学校（小松島キャンパス）	○	○	○	○
	秋田	05002K	ノースアジア大学	－	○	－	○
	山形	06001K	日本大学山形高等学校	○	○	○	○
	郡山	07002K	日本大学工学部	○	○	○	○
関東	水戸	08014K	茨城進学ゼミナール水戸駅前総本部校	○	○	○	○
	土浦	08007K	土浦日本大学高等学校	○	○	○	○
	宇都宮	09003K	栃木県教育会館	○	○	○	○
	前橋	10009K	前橋テルサ	○	－	－	－
		10007K	群馬会館	－	○	○	○
	習志野	12001K	日本大学生産工学部（津田沼校舎）	○	○	○	○
	東京	13001K	日本大学通信教育部	○	○	○	○
	藤沢	14002K	日本大学生物資源科学部（湘南校舎）	○	○	○	○
中部	新潟	15001K	東京学館新潟高等学校	○	○	○	○
	富山	16002K	富山県県民会館	－	－	－	○
	金沢	17006K	石川県文教会館	○	○	○	○
	甲府	19003K	帝京西東京予備校（本部校舎）	－	○	－	○
	長野	20003K	長野日本大学高等学校	○	○	○	○
	松本	20005K	松本市駅前会館	○	○	○	○
	三島	22001K	日本大学国際関係学部	○	○	○	○
				○	○	○	○

地域	開催地	会場コード	会 場 名	第1回 4/10	第2回 6/26	第3回 10/2	第4回 12/11
中部	静岡	22010K	静岡駅ビル パルシェ会議室 (7階)	○	○	○	○
	名古屋	23004K	愛知県青年会館	○	—	—	○
		23012K	ゼミナールプラザ (金山プラザホテル)	—	○	○	—
	津	24001K	津工会館	—	○	—	○
近畿	京都	26009K	京都アスニー	○	○	○	○
	大阪	27014K	大阪学園大阪高等学校	○	○	○	○
	神戸	28011K	兵庫県私学会館	○	○	○	○
中国・四国	米子	31006K	米子コンベンションセンター	—	○	—	—
	松江	32002K	くにびきメッセ (島根県立産業交流会館)	—	—	—	○
	岡山	33006K	岡山国際交流センター	○	○	—	—
		33003K	岡山県総合福祉会館	—	—	○	○
	広島	34003K	広島市立広島工業高等学校	○	○	○	○
	山口	35002K	山口県婦人教育文化会館	○	○	○	○
	徳島	36006K	徳島市生涯福祉センター (ふれあい健康館)	—	○	—	○
	高松	37005K	高松市生涯学習センター	○	—	○	—
	松山	38001K	ひめぎんホール 別館	—	○	—	○
	高知	39003K	高知県文教会館	○	—	○	—
九州・沖縄	福岡	40016K	福岡県水産会館	○	○	○	○
	諫早	42004K	長崎日本大学高等学校 (明倫館)	○	○	○	○
	熊本	43002K	熊本社会福祉専門学校	○	○	○	○
	大分	44006K	大分市大分南部公民館	○	○	○	○
	宮崎	45001K	宮崎日本大学高等学校	○	○	○	○
	鹿児島	46001K	鹿児島県市町村自治会館	○	○	○	○
	那覇	47004K	沖縄県青年会館	○	—	○	○
		47005K	沖縄大学	—	○	—	—

VI 試験会場マップ

平成 28 年度の科目修得試験会場として使用する会場を掲載しています。
 急ぎよ、会場を変更した場合は『ポータルサイト』や『部報』等で告知します。
 なお、事前に送付される受験票に試験会場が明記されますので、そちらを必ず確認した上で試験に臨んでください。

- ※ 会場についての問い合わせは、教務課試験係（TEL 03-5275-8911）までお願いします。
- ※ 開催地の後に付されている数字は実施回を示します。
- ※ 会場によっては上履き（スリッパ等）を使用する場合があります。
- ※ 喫煙場所は会場の指示にしたがってください。



：この表示のある会場では、必ず上履きを持参してください。



：この表示のある会場では、必ず「首下げ式のネームプレート」による学生証の提示が必要です。首下げ式のケースを学生が各自で用意してください。

開催地	札幌	会場コード	01013K
会場名	札幌日本大学高等学校		
所在地	北広島市虹ヶ丘 5-7-1		
交通案内	JR 千歳線「上野幌」駅から徒歩約 7 分		
マップ			

開催地	函館（第 2・4 回のみ）	会場コード	01018K
会場名	函館短期大学		
所在地	函館市高丘町 52-1		
交通案内	JR「函館」駅前から函館バス「函館大学前」降車徒歩 1 分		
マップ			

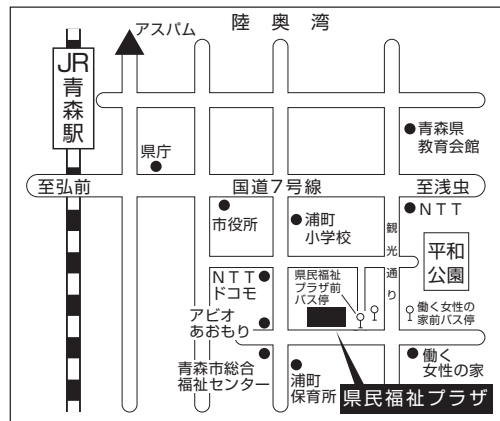
開催地	釧路	会場コード	01027K
会場名	釧路市鳥取コミュニティセンター		
所在地	釧路市鳥取北 8-3-10		
交通案内	JR「釧路」駅から大楽毛・白糖方面行きバス「西郵便局前」降車徒歩約 2 分		
マップ			

開催地	帯広	会場コード	01028K
会場名	とかちプラザ		
所在地	帯広市西 4 条南 13 丁目 1 番地		
交通案内	JR「帯広」駅から徒歩約 3 分		
マップ			

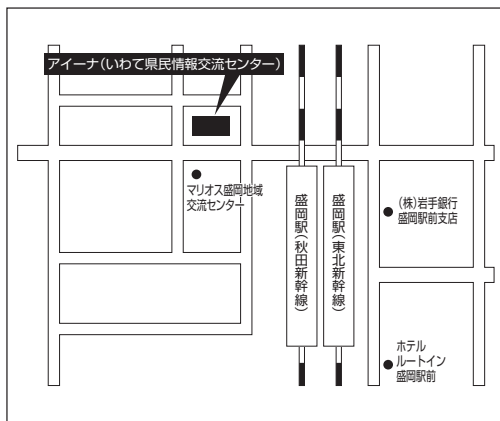
開催地	旭川	会場コード	01035K
会場名	旭川大学		
所在地	旭川市永山3条23丁目1-9		
交通案内	JR宗谷線「永山」駅から徒歩約15分		
マップ			



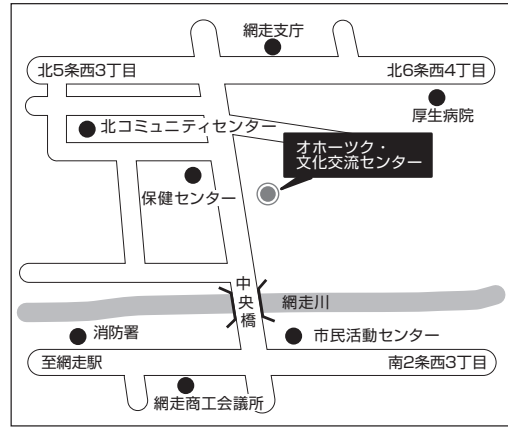
開催地	青森（第2・4回のみ）	会場コード	02013K
会場名	県民福祉プラザ		
所在地	青森市中央3丁目20番30号		
交通案内	中央環状線「県民福祉プラザ前」下車 JR青森駅前3番乗場よりバスで15分 「働く女性の家前」下車徒歩1分		
マップ			



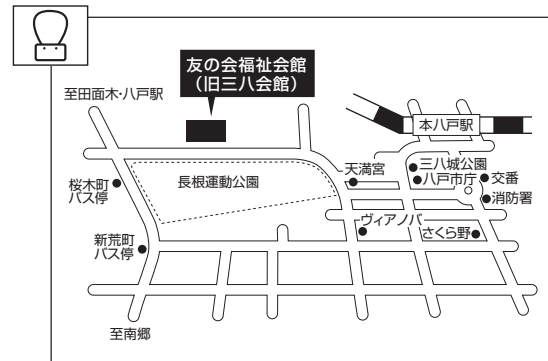
開催地	盛岡	会場コード	03005K
会場名	アイーナ（いわて県民情報交流センター）		
所在地	盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号		
交通案内	JR・IGR「盛岡」駅から徒歩4分		
マップ			



開催地	網走（第4回のみ）	会場コード	01040K
会場名	オホーツク・文化交流センター		
所在地	網走市北2条西3丁目3番地		
交通案内	JR石北本線「網走」駅から徒歩5分		
マップ			



開催地	八戸（第1・3・4回のみ）	会場コード	02011K
会場名	友の会福祉会館		
所在地	八戸市長根1丁目2-8		
交通案内	JR「本八戸」駅からバスセンター行き「桜木町」降車徒歩約5分		
マップ			



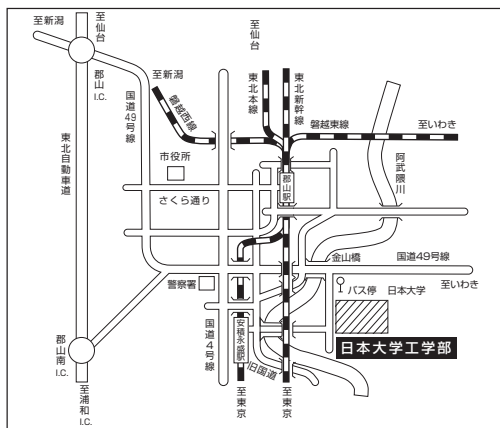
開催地	仙台	会場コード	04006K
会場名	南光学園東北高等学校（小松島キャンパス）		
所在地	仙台市青葉区小松島4-3-1		
交通案内	JR「仙台」駅前からバス旭ヶ丘駅行き 「東北薬科大東北高校前」降車。JR仙山線 「東照宮」駅下車徒歩約20分 地下鉄「台原」駅から徒歩約15分		
マップ			



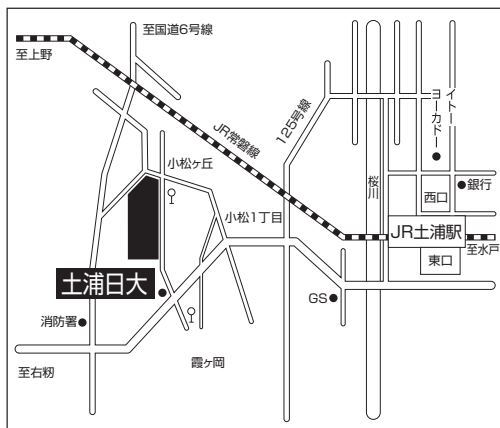
開催地	秋田（第2・4回のみ）	会場コード	05002K
会場名	ノースアジア大学		
所在地	秋田市下北手桜守沢 46-1		
交通案内	JR「秋田」駅（東口）からバスノースアジア大学行き「ノースアジア大学前」降車徒歩約2分		
マップ			



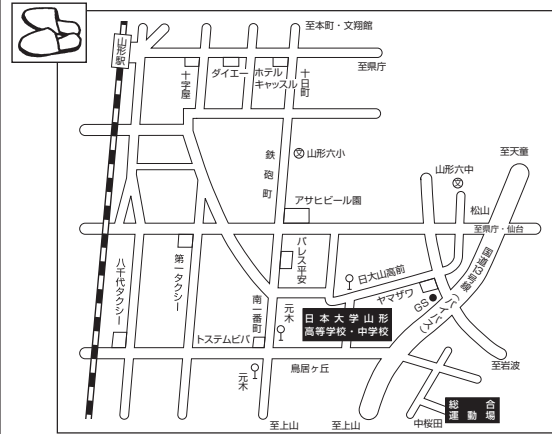
開催地	郡山	会場コード	07002K
会場名	日本大学工学部		
所在地	郡山市田村町徳定中河原 1		
交通案内	JR「郡山」駅からバス日大行「日大前」降車		
マップ			



開催地	土浦	会場コード	08007K
会場名	土浦日本大学高等学校		
所在地	土浦市小松ヶ丘町 4-46		
交通案内	JR常磐線「土浦」駅から徒歩約25分、バス荒川沖駅東口行き「小松ヶ丘」降車		
マップ			



開催地	山形	会場コード	06001K
会場名	日本大学山形高等学校		
所在地	山形市鳥居ヶ丘 4-55		
交通案内	JR「山形」駅からバス上山線「元木」降車徒歩約5分		
マップ			



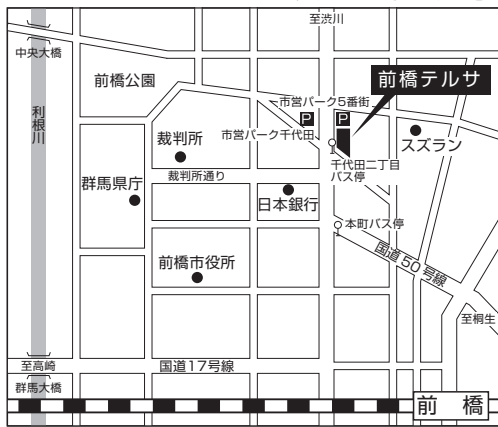
開催地	水戸	会場コード	08014K
会場名	茨城進学ゼミナール水戸駅前総本部校		
所在地	水戸市宮町 2-1-10		
交通案内	JR常磐線「水戸」駅（北口）から徒歩約4分		
マップ			



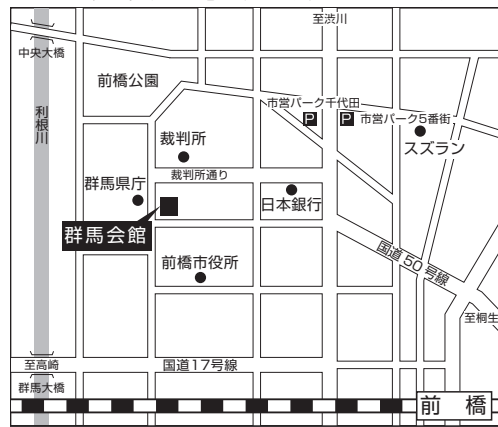
開催地	宇都宮	会場コード	09003K
会場名	栃木県教育会館		
所在地	宇都宮市駒生 1-1-6		
交通案内	JR「宇都宮」駅から関東バス作新学院・駒生方面行き「東中丸」降車徒歩約1分		
マップ			



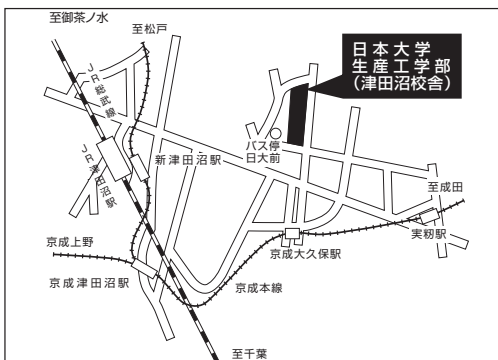
開催地	前橋 (第1回のみ)	会場コード	10009K
会場名	前橋テルサ		
所在地	前橋市千代田町二丁目5番1号		
交通案内	JR「前橋」駅から徒歩約20分		
マップ	JR「前橋」駅下車, ①, ②, ⑤番のりばからバスにて約5分「千代田町二丁目」下車		



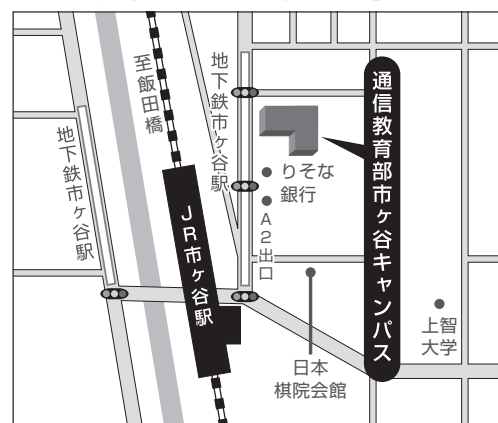
開催地	前橋 (第2・3・4回のみ)	会場コード	10007K
会場名	群馬会館		
所在地	前橋市大手町二丁目1番1号		
交通案内	JR両毛線「前橋」駅下車, バス約6分		
マップ	「新前橋」駅下車, バス約7分 「中央前橋」駅下車, バス約7分		



開催地	習志野	会場コード	12001K
会場名	日本大学生産工学部 (津田沼校舎)		
所在地	習志野市泉町 1-2-1		
交通案内	京成電鉄京成「大久保」駅下車徒歩約10分, JR「津田沼」駅北口④番バスのりばから京成バス「日本大学前」降車 (近くに同じ生産工学部実習校舎がありますが, こちらでの実施はありませんので注意してください)		
マップ			



開催地	東京	会場コード	13001K
会場名	日本大学通信教育部		
所在地	千代田区九段南 4-8-28		
交通案内	JR中央・総武線「市ヶ谷」駅から徒歩3分, 都営地下鉄新宿線, 東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」より徒歩2分		
マップ			



開催地	藤沢	会場コード	14002K
会場名	日本大学生物資源科学部 (湘南校舎)		
所在地	藤沢市亀井野 1866		
交通案内	小田急電鉄「六会日大前」駅から徒歩約3分		
マップ			

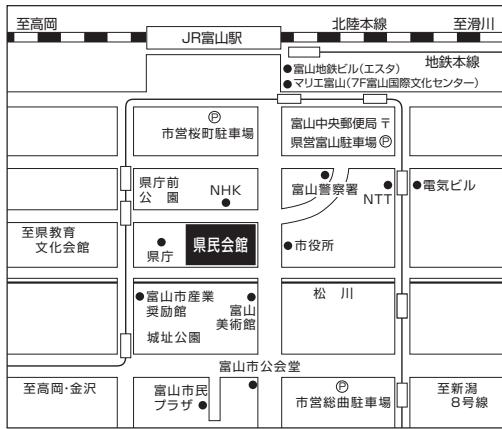


開催地	新潟	会場コード	15001K
会場名	東京学館新潟高等学校		
所在地	新潟市中央鐘木 185-1		
交通案内	JR「新潟」駅 (南口) から「市民病院行」バスで約20分「新潟産業センター前」降車徒歩約3分		
マップ			

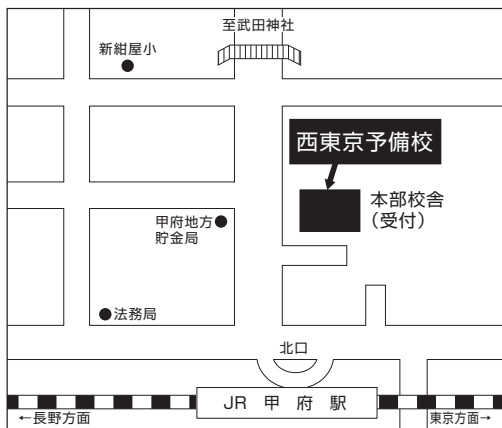


試験会場MAP

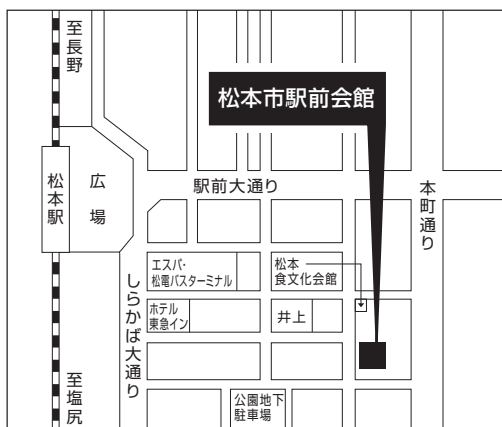
開催地	富山（第4回のみ）	会場コード	16002K
会場名	富山県民会館		
所在地	富山市新総曲輪 4-18		
交通案内	JR「富山」駅（南口）から徒歩約10分		
マップ			



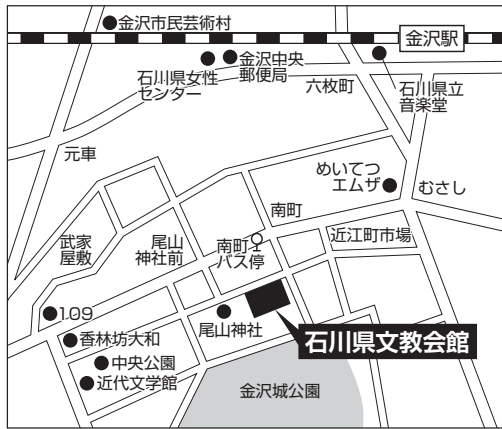
開催地	甲府（第2・4回のみ）	会場コード	19003K
会場名	帝京西東京予備校（本部校舎）		
所在地	甲府市北口 2-15-4		
交通案内	JR「甲府」駅北口から徒歩約2分		
マップ			



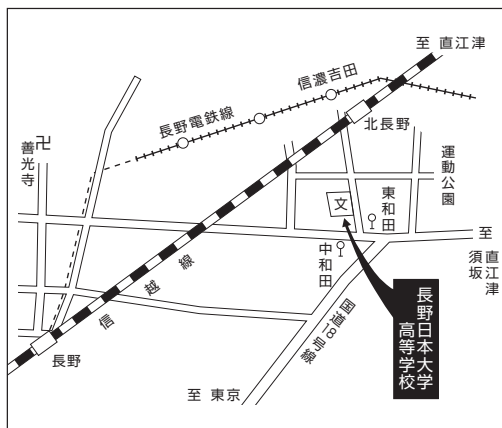
開催地	松本	会場コード	20005K
会場名	松本市駅前会館		
所在地	松本市深志 2-3-21		
交通案内	「松本」駅から徒歩約10分（近隣に有料駐車場あり）		
マップ			



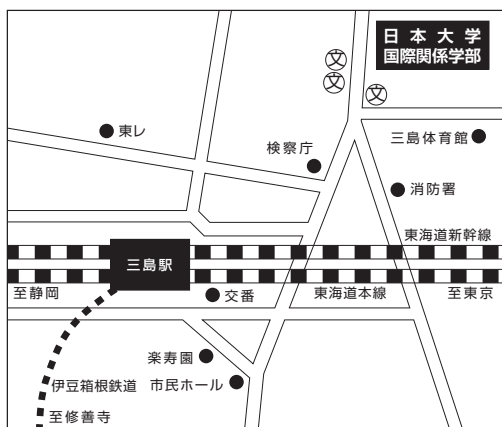
開催地	金沢	会場コード	17006K
会場名	石川県文教会館		
所在地	金沢市尾山町 10-5		
交通案内	「金沢」駅より香林坊方面行き、「南町」下車、徒歩2分		
マップ			



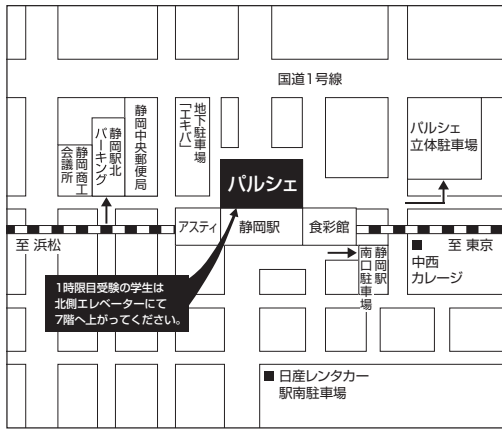
開催地	長野	会場コード	20003K
会場名	長野日本大学高等学校		
所在地	長野市東和田 253		
交通案内	JR「北長野」駅から徒歩約13分		
マップ			



開催地	三島	会場コード	22001K
会場名	日本大学国際関係学部		
所在地	三島市文教町 2-31-145		
交通案内	JR「三島」駅から徒歩約10分		
マップ			



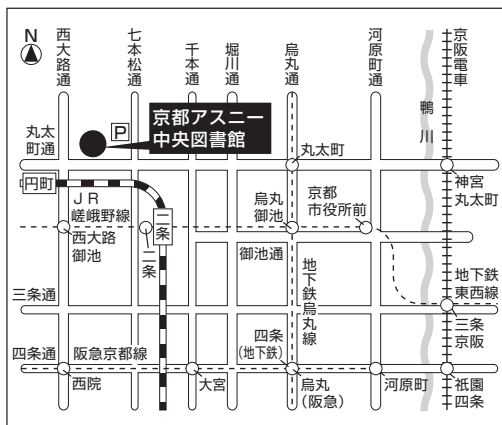
開催地	静岡	会場コード	22010K
会場名	静岡駅ビル パルシェ会議室（7階）		
所在地	静岡市葵区黒金町49番地		
交通案内	JR「静岡」駅直結（有料駐車場あり）		
マップ			



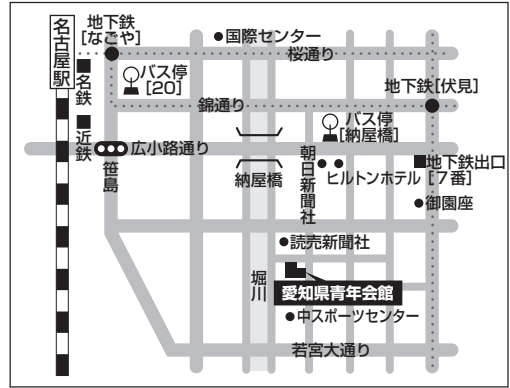
開催地	名古屋（第2・3回のみ）	会場コード	23012K
会場名	ゼミナールプラザ（金山プラザホテル）		
所在地	名古屋市中区正木3-7-15		
交通案内	JR・名鉄「金山総合」駅から徒歩7分		
マップ			



開催地	京都	会場コード	26009K
会場名	京都アスニー		
所在地	京都市中京区聚楽廻松下町9-2		
交通案内	JR「円町」駅から徒歩10分		
マップ			



開催地	名古屋（第1・4回のみ）	会場コード	23004K
会場名	愛知県青年会館		
所在地	名古屋市中区栄1-18-8		
交通案内	市バス、名鉄向かい20乗車、「納屋橋」下車→リッチモンドホテル角、南へ250m 地下鉄「伏見」駅下車、7番口、西へ300m→旧名宝会館角、南へ250m		
マップ			



開催地	津（第2・4回のみ）	会場コード	24001K
会場名	津工会館		
所在地	津市半田川田町142		
交通案内	近鉄「津新町」駅から徒歩約15分		
マップ			

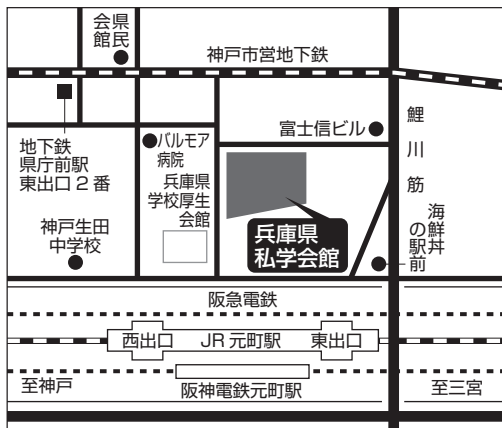


開催地	大阪	会場コード	27014K
会場名	大阪学園大阪高等学校		
所在地	大阪市東淀川区相川2-18-51		
交通案内	阪急京都線「相川」駅前から徒歩1分		
マップ			

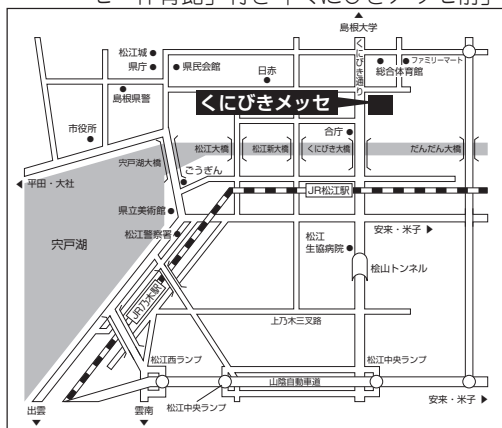


試験会場MAP

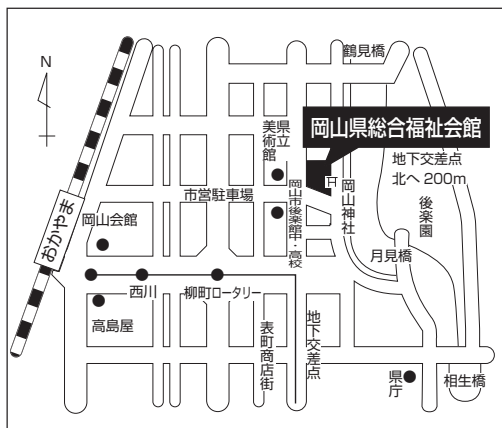
開催地	神戸	会場コード	28011K
会場名	兵庫県私学会館		
所在地	神戸市中央区北長狭通 4-3-13		
交通案内	JR「元町」駅東口から徒歩2分		
マップ			



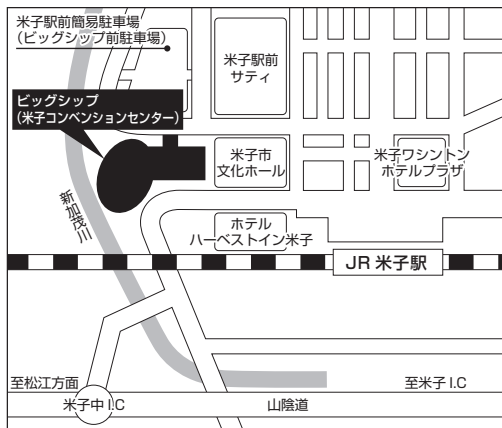
開催地	松江（第4回のみ）	会場コード	32002K
会場名	くにびきメッセ（島根県立産業交流会館）		
所在地	松江市学園南1丁目2番1号		
交通案内	JR「松江」駅より徒歩7分 JR「松江」駅よりバスで3分11番乗り場「メッセ・体育館」行き「くにびきメッセ前」下車		
マップ			



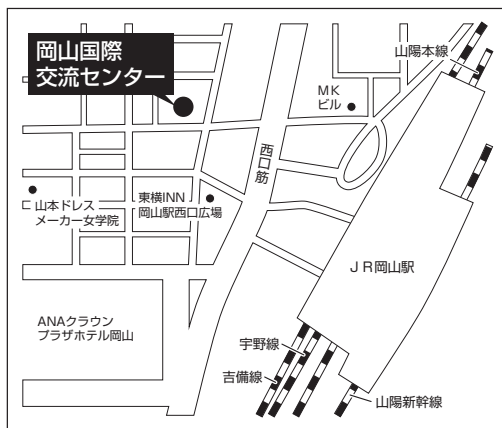
開催地	岡山（第3・4回のみ）	会場コード	33003K
会場名	岡山県総合福祉会館		
所在地	岡山市北区石関町2-1		
交通案内	JR「岡山」駅から市電東山行き「城下」下車徒歩3分		
マップ			



開催地	米子（第2回のみ）	会場コード	31006K
会場名	米子コンベンションセンター		
所在地	鳥取県米子市末広町294		
交通案内	JR「米子」駅から徒歩5分		
マップ			



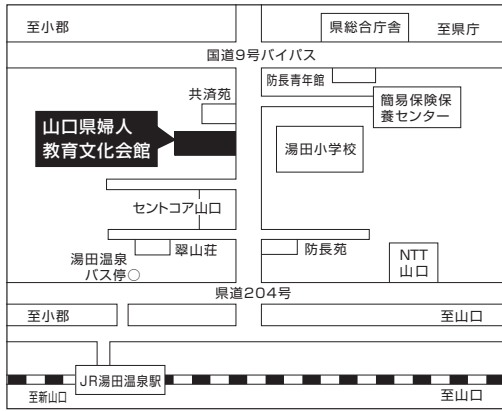
開催地	岡山（第1・2回のみ）	会場コード	33006K
会場名	岡山国際交流センター		
所在地	岡山市北区奉還町2丁目2-1		
交通案内	JR「岡山」駅から徒歩5分		
マップ			



開催地	広島	会場コード	34003K
会場名	広島市立広島工業高等学校		
所在地	広島市南区東本浦町1番18号		
交通案内	JR「広島」駅から広電バス④「市立工業高校前」下車		
マップ			



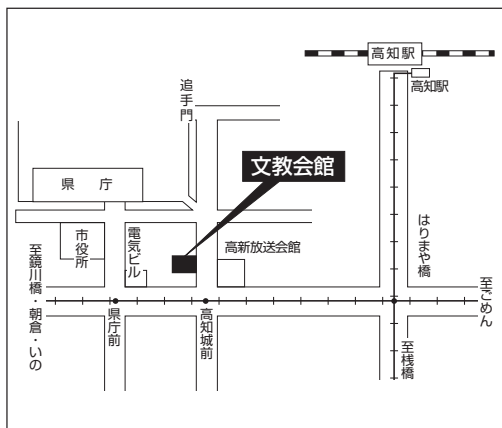
開催地	山口	会場コード	35002K
会場名	山口県婦人教育文化会館		
所在地	山口市湯田温泉 5-1-1		
交通案内	JR山口線「湯田温泉」駅から徒歩約15分		
マップ			



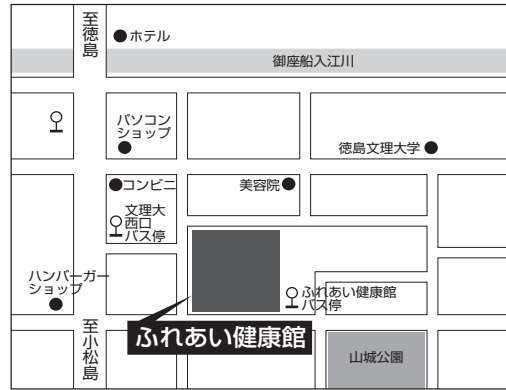
開催地	高松 (第1・3回のみ)	会場コード	37005K
会場名	高松市生涯学習センター		
所在地	高松市片原町11番地1「むうぶ片原」ビル内		
交通案内	琴電「片原町」駅下車徒歩1分		
マップ			



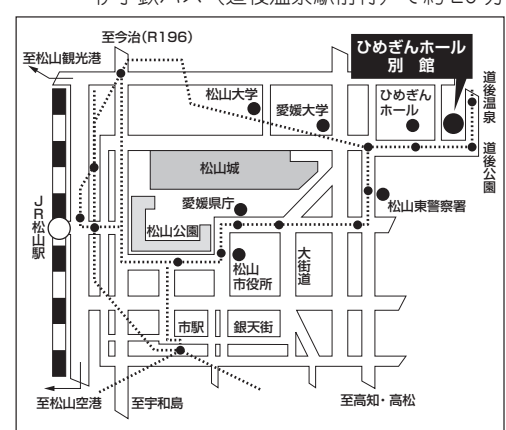
開催地	高知 (第1・3回のみ)	会場コード	39003K
会場名	高知県文教会館		
所在地	高知市本町 4-1-49		
交通案内	路面電車「高知」駅から「はりまや橋」で乗りかえ、「高知城前」下車徒歩約1分		
マップ			



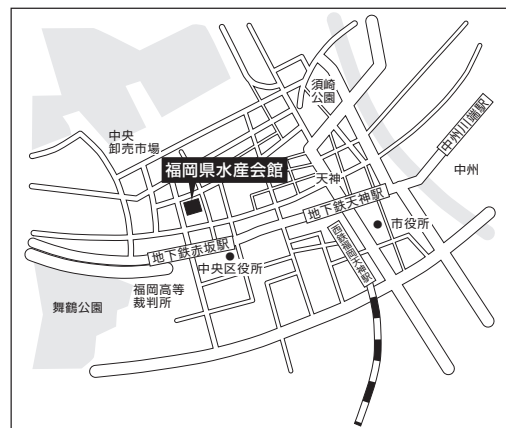
開催地	徳島 (第2・4回のみ)	会場コード	36006K
会場名	徳島市生涯福祉センター(ふれあい健康館)		
所在地	徳島市沖浜東2丁目16番地		
交通案内	徳島市営バス(徳島駅前3番のりば)「ふれあい健康館行き」終点下車, 徳島バス(徳島駅前5番のりば)バイパス經由小松島方面行き「文理大西口」下車		
マップ			



開催地	松山 (第2・4回のみ)	会場コード	38001K
会場名	ひめぎんホール 別館		
所在地	松山市道後町2丁目9番14号		
交通案内	JR「松山」駅から・伊予鉄市内電車(道後温泉行)で約15分「南町・県民文化会館前」で下車・伊予鉄バス(道後温泉駅前行)で約20分		
マップ			

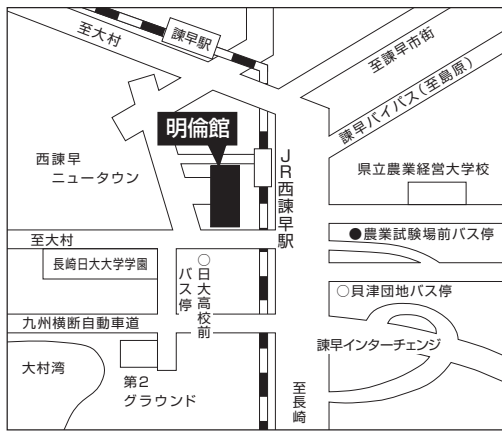


開催地	福岡	会場コード	40016K
会場名	福岡県水産会館		
所在地	福岡市中央区舞鶴 2-4-19		
交通案内	福岡市地下鉄「赤坂」駅3番出口から徒歩約5分		
マップ			

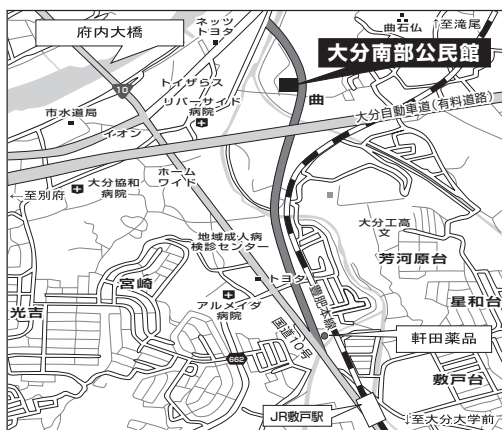


試験会場MAP

開催地	諫早	会場コード	42004K
会場名	長崎日本大学高等学校 (明倫館)		
所在地	諫早市貝津町 2360		
交通案内	JR「西諫早」駅から徒歩約15分、県営バス「日大前」降車徒歩約2分		
マップ			



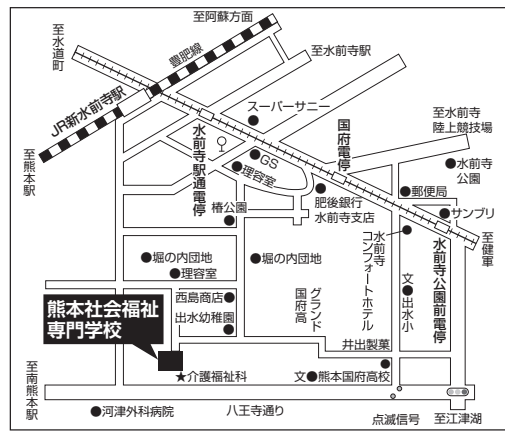
開催地	大分	会場コード	44006K
会場名	大分市大分南部公民館		
所在地	大分市大字曲 1113		
交通案内	JR「敷戸」駅から徒歩約15分		
マップ			



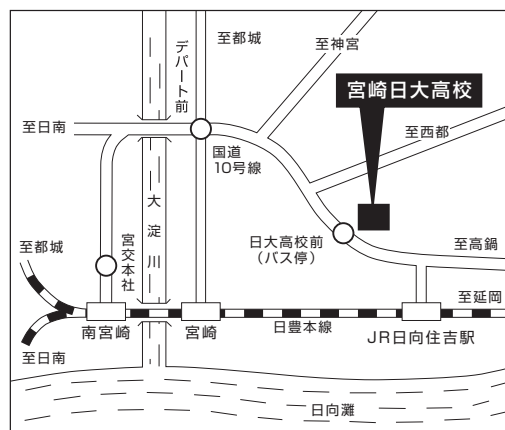
開催地	鹿児島	会場コード	46001K
会場名	鹿児島県市町村自治会館		
所在地	鹿児島市鴨池新町 7-4		
交通案内	「鹿児島中央」駅からバス鴨池港行き「県庁西」降車徒歩約2分		
マップ			



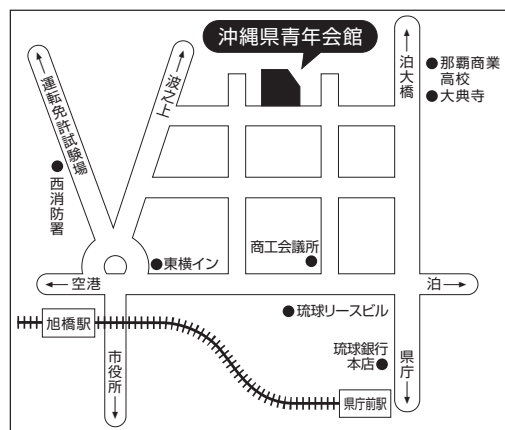
開催地	熊本	会場コード	43002K
会場名	熊本社会福祉専門学校		
所在地	熊本市国府2丁目 6-16		
交通案内	JR「新水前寺」駅から徒歩約15分		
マップ			



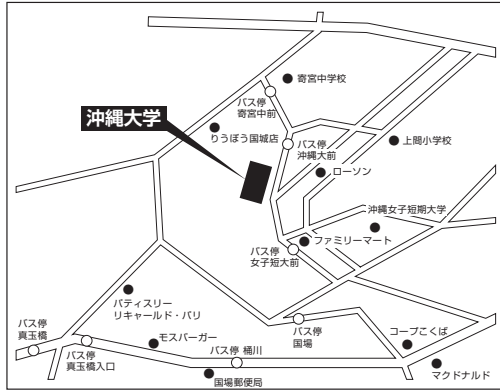
開催地	宮崎	会場コード	45001K
会場名	宮崎日本大学高等学校		
所在地	宮崎市大字島之内 6822-2		
交通案内	JR「日向住吉」駅から徒歩約15分		
マップ			



開催地	那覇 (第1・3・4回のみ)	会場コード	47004K
会場名	沖縄県青年会館		
所在地	那覇市久米 2-15-23		
交通案内	モノレール「旭橋」駅から徒歩7分		
マップ			



開催地	那覇（第2回のみ）	会場コード	47005K
会場名	沖縄大学		
所在地	那覇市国場 555 番地		
交通案内	那覇バス・沖縄バス「沖縄大学前」下車		
マップ	那覇バス「真和志小学校前」下車徒歩約7分		



Ⅶ 試験当日の注意

1 試験上の注意事項

< 試験開始前 >

- ① 監督者から試験開始の指示があるまでは、問題を開封しないこと。
- ② 携帯電話等は一切使用を禁止する。試験場内では電源を切り、鞆等に収納し、身体から離しておくこと。時計として使用することも禁止する。
- ③ 大学が許可した科目のみ解答すること。
- ④ 受験者は、試験開始時刻から30分以上60分以内で解答すること。
- ⑤ 解答は担当教員の指示がない限り、解答用紙1枚で解答し、2枚使用しての提出は認めない。
- ⑥ 解答作成の際、下敷き並びに修正液の使用は認めない。
- ⑦ 解答時の持込みは、原則として、「全可」か「不可」としているが、担当教員によっては、この取り扱いによらない場合がある。

< 試験開始後 >

- ① 監督者から「開始」の指示後、最初にペン又はボールペンで、解答用紙の記入欄に年度、実施回、時限、科目コード、科目名、担当教員名、受験年月日、学部、専攻部門、学生番号、氏名、試験場名（試験場コードでも良い）を正確に記入すること。当該事項の記載不明確、誤記又は記載なき答案は採点対象にならない場合がある。
- ② 当該試験時間に配付された解答用紙以外の用紙を使用した場合は、その試験は無効とする。
- ③ 解答用紙には問題の解答と関係のない記述はしないこと。
- ④ 参照物等の持込みが許可されている場合、貸借は認めない。この他、電子辞書、電子情報機器の使用も一切認めない。
- ⑤ 問題が縦書きの場合には、解答用紙も縦書きで記載し、問題が横書きの場合には解答用紙も横書きで記載すること。なお、縦書きとは、本冊子の左側部分を上に問題文が縦書きの場合であり、解答する場合には解答用紙も氏名等記入欄を左側にして、解答すること。
- ⑥ 改訂教材（新教材・旧教材）の科目を解答する場合には、必ず解答用紙の科目名欄に、科目名と併せて「新教材」・「旧教材」の区別を明記した上で解答すること。
- ⑦ 指定以外のものを参照した場合や時間を超過して解答した場合など、社会通念上、不正な方法により解答した場合には、不正行為とみなす。
- ⑧ 監督者の指示に従わない者、受験態度の良好でない者、その他不正行為があったとみなされた者については、受験を停止させ、退場を命じる。この場合、原則として受験した全科目を無効とし、学則に基づき処分を行う。
- ⑨ 試験開始後の一時退室は、原則として認めない。

< 試験終了後 >

- ① 退室は、試験開始30分経過後とし、それ以前の退室は一切認めない。また、30分経過後であっても監督者の判断によっては、退室を認めない場合もある。なお、一旦退室した者の再入室は認めない。
- ② 退室は、静かにかつ速やかに行い、その際、席取りのための目的で私物は残しておかないこと。
- ③ 解答用紙の持ち帰りは一切認めない。

2 試験時の参照物

科目修得試験の試験時参照物は「一切不可」（一切の参照物の持込禁止）となります。ただし、例外として担当教員から参照物が許可された科目が一部ありますので、以下の参照物共通の注意事項を確認してください。

なお、参照物が許可された科目は『ポータルサイト』や『部報』等で告知します。

① 試験時参照物についての注意事項

- (1) 全ての参照物について、通信機能の有無にかかわらず「電子辞書」・「電子情報機器」の使用は一切認めません。
- (2) 参照物の「辞書」・「辞典」についても通信機能の有無にかかわらず「電子辞書」・「電子情報機器」の使用は一切認めません。
- (3) 参照物が「指定の六法のみ」の場合、次の9種類に限定し参照を認めます。
ただし、「六法」への書き込み（アンダーライン、マーカー含む）は一切認めません。また、「六法」付録の小冊子も参照物とは認められません。

『六法全書』（有斐閣）	『司法試験用六法』（第一法規）
『デイリー六法』（三省堂）	『旧司法試験用六法』（第一法規）
『ポケット六法』（有斐閣）	『新司法試験用六法』（第一法規）
『コンパクト六法』（岩波書店）	『基本六法』（岩波書店）
『セレクト六法』（岩波書店）	

- (4) 参照物が「全て可」の場合、次の物の参照を認めます。

教材	ノート（ルーズリーフ可）
参考書	辞書・辞典

また、参照物への書き込み（アンダーライン、マーカー含む）を認めますが、「六法」への書き込みは一切認めません。

なお、「電子辞書」・「電子情報機器」の使用は一切認めません。

Ⅷ 試験結果

試験結果の発表は、「ポータルサイト」にて行われます。

また、受験届による申込者のみ通知を発送します。

試験結果は、「合格」「不合格」「未受験」のいずれかで表示されます。

1 試験結果

合格	100 点満点中 60 点以上の評価を得ると「合格」です。 ただし、受験科目が合格しても、事前に提出したリポートが合格でなければ、所定単位が完成しません。
不合格	100 点満点中 60 点未満の評価を得ると「不合格」です。 なお、試験結果が不合格でも、事前に提出したリポートが合格ならば、次回以降の試験で合格すれば所定単位が完成します。
未受験	受験したにも関わらず、「未受験」と通知された場合は、通知日から 1 週間以内に教務課試験係までご一報願います（電話 03-5275-8911）。

2 結果反映の時期

次回の科目修得試験受験届提出期間日前には結果をお知らせする予定です。

反映時期の目安は、6 ページ「Ⅱ 手続日程」を参照してください。

いかなる事情があろうと試験結果について窓口・電話・郵便等での問い合わせには一切応じられません。

また、郵便物の天災による遅延・未着、その他の事故による未着については、いかなる配慮も行いません。

3 注意事項

予め提出したリポートが不合格で、科目修得試験が合格した場合は、以降他の単位修得方式に切り替えることはできません（その科目の単位を完成させるためには、リポートを合格させる必要があります）。

MEMO

A large area of horizontal dashed lines for writing.

IX 「学割証」の発行（長距離区間乗車時の学生割引制度）

1 申込方法

巻末の「学割証交付願」にて学生課へ郵送又は窓口で申請してください。
 ※郵送の場合は、82 円切手を貼付した宛名明記の返信用封筒が必要です。

2 発行対象条件（全項目該当が条件）

- ① 正科生であること。
- ② 科目修得試験を受験することが目的であること。
- ③ JR 各社の鉄道又はバスを使用すること。
 JR 以外の会社における学割証の適応の可否は、当該会社に各自で問い合わせてください。
- ④ 乗車距離が片道 100km 以上であること。

3 割引額

普通乗車券運賃の 2 割（特急券や指定席は割引対象外）

4 乗車日（有効期間）

乗車日は当該行事初日の 10 日前から最終日の 5 日後までの間に限り選択することができます。

5 発行枚数

原則として 1 枚です（1 枚で往復が購入できます）。

6 往復切符有効期間

往復乗車券の有効期間は以下のとおりです。

片道の距離 (km)	200kmまで	400kmまで	600kmまで	800kmまで	1000kmまで
有効期間	4 日間	6 日間	8 日間	10 日間	12 日間

7 発行開始日

試験回	試験日	発行開始日
第 1 回	4 月 10 日 (日)	4 月 1 日 (金)
第 2 回	6 月 26 日 (日)	6 月 17 日 (金)
第 3 回	10 月 2 日 (日)	9 月 23 日 (金)
第 4 回	12 月 11 日 (日)	12 月 2 日 (金)

8 発行所要期間

受付開始日以降で、「学割証交付願」を受け付けてから2日後に発行します（即日発行はできません）。郵送の場合も同様で、受付日の2日後にポストに投函しますので、郵送に要する日数を考慮して申請してください。

※急ぎの場合であっても、発行所要時間を短縮することはできませんので、郵送で申請する場合は、速達郵便にて申請し、返信用封筒には速達郵便料金362円分の切手を貼付してください。

9 使用方法

JR各駅の窓口にて「学割証」と「学生証」を提示することで「学生割引乗車券」を購入することができます。

10 購入日

乗車券が購入できるのは、原則として乗車当日であり、事前の購入はできません。新幹線等の座席を事前に確保したい場合は、特急券や指定席券のみを事前に購入し、乗車券は乗車当日に購入するのが良いでしょう。

11 禁止事項

「学割証」を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると、「学割証」の発行が停止されるだけでなく、鉄道会社等の営業規則に基づき使用区間普通運賃の数倍の追徴金が課せられます。また、大学に対しても割引特典取り消し等の処分がなされるため、他の学生に多大な迷惑をかけることとなります。不正使用は絶対に行わないでください。

なお、「学割証」を使用しなかった場合は、必ず学生課まで返却してください。

【不正使用一覧】

① 記載事項を改変すること	④ 購入した乗車券を他人に譲渡すること
② 記名人以外が使用すること	⑤ 鉄道会社等の規則に違反して使用すること
③ 有効期間外に使用すること	⑥ その他、不正に使用すること

X Q & A

科目修得試験の受験に際して、皆さんからよく寄せられる質問を Q&A でまとめました。

Question		Answer	
Q1	学内の友人から教材を譲り受けました。この教材を読んでレポートを作成してよいのですか。	A1	はい。 ただし、次の2点に注意してください。 ①レポート提出時には「履修登録」が必要です。提出前までに必ず登録をしてください。 ②教材は年度により改定される場合があります。譲り受けた教材は最新の教材なのか『教材要綱』等で必ず確認してください。
Q2	レポート作成に着手したいのですが、印刷教材が届きません。印刷教材を入手するには、何か手続が必要ですか。	A2	はい。 印刷教材を入手するには「配本申請」が必要です。配本申請では毎年、年間32単位を上限とする印刷教材を受領することができます。年間で32単位分を超える教材が必要な場合は「教材購入」手続きにて購入してください。また、科目履修生は「配本申請」ができませんので、「教材購入」手続きによって印刷教材を入手してください。
Q3	履修登録済み科目の教材が改訂されました。改訂後の新教材を用いて、最初からやり直さなければなりませんか。	A3	いいえ。 教材が改訂された年度内なら、改訂前の旧教材で受験できます。ただし、次年度は改訂された新教材で受験してください。
Q4	レポートを提出したいのですが、いつでも提出できるのですか。	A4	はい。 ただし新入学生は、次の期日以降に提出してください。 4月入学生は4月1日。 10月入学生は10月1日。
Q5	提出したレポートは、すぐに返却されますか。	A5	いいえ。 受付期間ごとに返却予定日を設けています。提出日によっては、2ヶ月程度かかることもあります。詳しくは「学修計画表」を参照してください。
Q6	試験を受験するためにレポートを提出しましたが、試験直前に不合格で返送されました。それでも受験できるのですか。	A6	できます。 レポート提出期限までに、不備なく提出できていれば、不合格でも受験は可能です。
Q7	レポートの提出期限さえ守れば、とりあえず何でもいからレポートを提出すれば受験できるのですか。	A7	できません。 最低限のルールがあり、それが守られなければ不備レポート扱いとなり、受験できません。よくある代表的な不備レポートの例として、 ①レポート課題の有効期間が守られていない。 ②指定した文字数内にまとまっていない。 ③鉛筆又はワープロを使用したレポート その他不備となる例は、『報告課題集』を参照してください。

Question		Answer	
Q8	第3回(10月)の試験を受験するために、レポートを提出したのですが、急用のため受験できませんでした。そこで、第4回(12月)の試験で受験しようと思ったのですが、再度レポートを提出しなくてもよいのですか。	A8	はい。 その必要はありません。 第3回(10月)の試験を受験するために提出したレポートが、第4回(12月)の試験でも有効だからです。ただし、第4回(12月)の試験に必要な受験申込手続は行ってください。
Q9	試験には合格したのですが、レポートが不合格でした。この場合、レポートを不合格のまま放置するとどうなりますか。また、不合格のまま放置すると、合格とされた試験結果は無効となるのですか。	A9	次のとおりです。 レポートを不合格のまま放置しても単位は修得できません。 レポートが不合格でも試験の合格結果は、在学中有効です。速やかにレポートを再提出して、合格させてください。
Q10	今年入学したばかりですが、入学手続が早かったので、既に印刷教材等を入手済みです。一番早く受験できる科目修得試験の試験日を教えてください。	A10	次のとおりです。 4月生は第2回(6月)、10月生は第4回(12月)からの受験が可能です。
Q11	試験が年4回ありますが、合格は1回でよいのですか。	A11	はい。 1科目につき、1回合格すればよいです。
Q12	4単位科目を「スクーリング(メディア授業を含む)+レポート+科目修得試験方式」で修得することを考えています。この場合のレポート通数は1通でよいのですか。	A12	はい(ただし条件つき)。 1通でよいのは、試験の実施回ごとに設けられたレポート提出期限までに、当該科目のスクーリング結果が合格であることが求められます。 したがって、レポート提出期限までに、当該科目のスクーリング結果が判明していない場合は、2通のレポートが必要です。
Q13	4単位科目を「スクーリング(メディア授業を含む)+レポート+科目修得試験方式」で修得することを考えています。既に当該科目をスクーリングで2単位合格済みです。これからレポートを1通提出しようと思うのですが、課題は分冊1と分冊2のうち、どちらを選択してもよいのですか。	A13	はい。 分冊1、分冊2のいずれか1通を提出してください。
Q14	今年入学した1年生です。翌年の第1回(4月)科目修得試験で、2学年配当の科目を受験できますか。	A14	できません。 手続日程の関係から、早くても第2回(6月)の試験からの受験となります。 10月生入学も同様で、第4回(12月)の試験から受験となります。
Q15	第2回(6月)の試験で政治学を受験しようとしたのですが、急用のため受験できませんでした。このような場合、それ以降の試験であれば、いつでも受験できるのですか。	A15	はい。 ただし、時間割のうえで政治学は、第1限の科目ですから、今後の試験で受験する場合は、時限が重複しないように計画的に受験しなければなりません。
Q16	試験の時間割を年度内に変更することがあるのですか。	A16	いいえ。 年度内に変更はありません。 したがって、時間割を念頭に入れた受験計画を立ててください。

XI 学修上のアドバイス

科目修得試験の受験に際して、1年間を通じて参考となるアドバイスを掲載しています。

以下のことを留意した上で一読してください。

- 1 掲載内容は、科目に対する総合的なアドバイスであって、試験問題を直接連想させるものではありません。
- 2 **担当教員からアドバイスの提示があった科目のみを掲載しています。**
したがって、アドバイスの掲載がないからといって、試験が実施されないということではありません。
- 3 科目によっては、実施回ごとに担当教員が異なる場合があります。

B10700 哲 学

江川 晃

「哲学」の科目修得試験を受験する皆さんに、一言アドバイスするならば、教材がより一般的な哲学・思想史的内容となったことにより、身近にある多くの哲学関係の参考や資料等を使って、勉強が楽に出来るようになりました。従って、この『西洋思想の要諦周覧』1冊を精読すると共に、他の哲学・思想関係の本を傍にいて勉強していただきたく思います。学問は、1冊や2冊を読んで理解する事はなかなか難しいでしょう。

多くの先人が精魂込めて書き上げた著書を精読し勉強して、「考えること」を学んでください。哲学はけて「暗記」科目ではなく、「単なる知識」を持つ事でもなく、専ら Philosophieren する事により「英知を磨く」ことを目的とする学問であると思います。さあ、「哲学力」を鍛えましょう！

B10800 論 理 学

江川 晃

論理学は、今までの経験を通して既に無自覚的に身に付いている思考方法に対して、それが真に正しいものであるかどうかを、自覚的に検討するものだと思います。言葉は、「文法」を知ることよりも先に、知らず知らずに身に付いていきます。しかし、言葉をより正しく語り、記述する為には、「文法」の働きを借りなければなりません。同じように、我々はいつの間にか言葉を身に付けて行く過程で、その背後に在る「論理」をも身に付けています。これらが正しい思考か否かを検証するのが論理学の課題のひとつであります。正しい方法が明らかに成れば、それに従って思考をすると常に正しい事が保証される事になります。

論理学を自己学習する事は大変ですが、その本は、積み重ねることであろうと思います。従って、教科書の初めから良く読み、理解し自己のものとして行く事が大切でしょう。具体的には、「思考の原理」を確実に理解し、「概念」に進み、次に、「概念の論理的機能」を学び、内包と外延の関係を理解します。概念と概念との関係から「概念の種類」を学ぶ事により、「判断論」を理解する事ができるようになります。

「判断論」で要な事は、概念で学んだ「概念の論理的機能」とオイラーの図あるいは Venn 図を用いて「判断の基本的形式」を導き出し、判断の最も基本である「定言判断」の AEIO の 4 種類を出します。これらの上に「推論」が展開されます。

「推理」には、一般的には定言判断を用いる推理を基本とし、仮言、選言判断を用いる推理もあります。さらに、推理は、その前提に何をおくかによって帰納、演繹に分ける事が出来ます。本年の論理学が取り扱うのは、主として「演繹的推理」ですが、それは「直接」と「間接」に分けられ、「直接推理」は、対当と変形に分ける事が出来ます。最後に間接推理を学びます。具体的には、原論、概念論、判断論、推理論の順に理解を進めて行きましょう。さあ皆さん、鋭い洞察力を養うためにも「論理学」にチャレンジしましょう！

B10900 倫 理 学

笠松 幸一

配本テキストは、生命倫理、環境倫理、情報倫理を内包する応用倫理（学）に主眼がおかれております。応用倫理は、現代の科学技術が私たちの生（生命・生活・人生）に及ぼした強いインパクト（問題状況）の中から 1970 年代に成立しました。したがって、科学技術の急速な進展に相關しながら、応用倫理には新しい学説・理論・概念が続々と誕生しつつあります。

まずは各章の扉のページを読んで（本文よりも小文字で記されております）各章の概要を予め把握してください。次に本文を熟読吟味することに努めてください。皆さんは初めて触れる用語（ゲノム創薬、

テラーメイド医療、自然の権利、遠隔責任、ネチケット、電子民主主義 etc.) に多少とまどうこともあ

るでしょう。
その際は、索引に示される他のページも読む、各節末に記される参考文献に触れる等により理解を深めてください。

B11000 宗 教 学
合田 秀行

「宗教学」では、世界宗教と呼ばれるキリスト教・イスラム教・仏教をはじめとして、古今東西における様々な宗教、あるいは宗教的な諸現象について、広い知識の習得を目的とします。明確な信仰対象に基づく宗教団体の活動のみならず宗教的な諸現象と呼ばれるものには、日本の伝統文化として根付いている正月行事に始まる年中行事や七五三・結婚式・葬式などの通過儀礼等も含まれます。そのように捉えると、「宗教学」が扱う対象は、極めて広範囲に及ぶと言っていいでしょう。

さて、宗教は人類の歴史とともに始まったと言えます。強いて言えば、先史時代の壁画からも呪術的儀礼を思わせる図柄や、発掘によって葬送の儀礼を物語るような遺跡等が発見されています。また、未開宗教やすでに消滅してしまった古代宗教に関する研究も宗教学の対象となります。

また、現在もなお信仰されている諸宗教の思想的特徴やその歴史的背景を理解することは、世界中の諸民族の根底にある精神文化の相互理解を深化させるという観点からも、極めて重要と言えます。指定テキストでは、とりわけ日本人と関係の深い神道・仏教をはじめとして、世界宗教であるキリスト教・イスラム教が、多くのページを割いて取り上げられています。

指定テキストにおいて、仏教・キリスト教・神道は、複数の単元にまたがっていますが、その他の諸宗教も含めて、それぞれの宗教ごとに、開祖が存在する場合には開祖に関する伝承、さらに思想的特徴や歴史的展開について、自分なりに整理しながら学習していくことを推奨します。仏教を例に挙げれば、開祖であるゴータマ仏陀についての知識、さらに初期仏教・部派仏教・大乘仏教における思想的特徴、仏教のインドにおける展開から、諸地域への伝播の歴史について、テーマごとにまとめながら、自分なりのノートを作成していくのが望ましい学習法と言えます。

B11100 歴 史 学
高綱 博文

テキストでは、古今東西、有名・無名の人物を通して「歴史」を語っています。「はじめに」の記載にある通り、「歴史学」では、彼らの活動を通して「異なる時代を理解」し、「他者を理解」することを学習目標としています。自身が興味を持った箇所のみを学習する、という姿勢では、学習目標に到達しません。目標達成のためには、日本史・東洋史・西洋史を、偏ることなく全般にわたって理解していくことが重要です。

テキストが人物を扱うため、「伝記」と誤解しやすいことも注意事項です。登場する人物は、その当時の政治・社会環境のなかで活動しています。なかには当時の環境を変化させたいという思いをもって活動した人物もいます。同じ時代に生きながらも方向性が全く異なる人物もいます。よって、単に「誰がいつ何をおこなった」という事実把握のみでは「歴史」を理解したことになりません。彼らの活動には必ず意味があります。人物の活動内容をしっかりと把握した上で、そのような活動をおこなう時代背景や社会環境、地域性などを、参考文献などを調べて確実に理解していきましょう。人物の活動を一つの素材として利用しながら、時代・地域を考えていくように努めてください。その繰り返しによって、さまざまな地域、時代に生きた人々の考えや、その違いを知ることができるようになるでしょう。

最後に、レポートも上記のことを十分に理解した上で、努力を怠ることなく作成してください。

B11200 文 化 史
渡邊 浩史

本科目のテキストは、日本文化史に関する概説書（新書版）であるから、各時代の文化の各分野について詳細な記述はなされておらず、また、文章的にも平易に書かれている。しかし、それだけに本の記述内容は簡潔かつ非常に凝縮されたものといえる。したがって、本書で「文化史」を学習しようとする学生諸君は、まず全体を通読し、さらにそのうえで、不明・疑問点や、より詳しく学ぶべき事柄があれば（必ずあるはずである）、辞典類（吉川弘文館『國史大辞典』全17巻が詳しい）や参考文献（『報告課題』・『教材要綱』参照）に目を通し、正確かつ詳細な知識を得るよう努力すべきである。

最後に、当然のことではあるが、レポート作成には全力を注いで取り組むことが求められよう。

B11300 文 学
辻 勝美

テキストでは、詩・小説・戯曲・評論の文学ジャンルについて、それぞれ定義がなされ、歴史的な展開もふまえてその特色や問題点が説明されています。また、各ジャンルについて具体的な作品がとりあげられ、どのように鑑賞すべきなのか、その方法のモデルも示されています。それらの問題をさらに発

展させ、「文学の本質」とは何かというテーマについても、想像力、ことば、イメージとの関係から考察、説明しています。

一～五の各章ごとに内容を理解した上で、テキストに引用されている作品の具体例については、できるだけその作品全体（出典）に実際にあたってみるのが望まれます。とくに鑑賞・批評において説明、指摘されている文学的特質などが、その作品の中でどのような表現部分に表れているのか、具体的に調査し、確認しておくようにしてください。「文学」は、作品の表現（ことば）そのものに即して理解することが大切です。

テキスト中のさまざまな用語については、別に配布されている「学習指導書」や関連する文学事典類などにあたり、理解しておくようにしてください。

B11400 美術史

森下 和貴子

テキストの第Ⅰ章 先史・古墳時代から第Ⅵ章 鎌倉・南北朝時代までが学習範囲ですが、第Ⅱ章以降が重要です。各章ともおおよそ建築、彫刻、絵画、工芸などのジャンルごとに、その時代を代表する作例をあげていますので、テキスト掲載の写真を観察しながら作品の特徴を把握して下さい。さらにテキストだけでなく、参考文献や美術全集などの図版を参照することも勧めます。

テキストを学習することによって各時代の美術の特徴を理解したうえで、つぎに必要なのは全体の流れを把握することです。とくに仏像については、飛鳥時代から鎌倉時代に至るまでの様式や技法の変化をしっかりと学習して下さい。各自で時代別に作品名一覧を作成するなど、テキストの内容を整理して十分に理解することが必要です。

<参考文献>

『日本仏像史』水野敬三郎監修 美術出版社 2001年

『すぐわかる東洋の美術』竹内順一監修 東京美術 2000年

『日本美術の歴史』辻惟雄 東京大学出版会 2005年

『日本美術史ハンドブック』辻惟雄 泉武雄編新書館 2009年

* そのほかテキスト P.223～P.226 掲載の文献参照

B11500 法学（日本国憲法2単位を含む）(新教材)

船山 泰範

1. ここでは、「法学」を学ぶ上での心構えについて述べることにします。それが学修上のアドバイスにつながると思うからです。

「法学」は、法律学を学ぶ上での出発点であるとともに、到達点でもあります。

まず、出発点ということは、法律なしに現代の社会生活は考えられませんが、複雑多岐にわたる社会をコントロールするため、法はさまざまな手法を用いています。そこで、法がどのような形で存在するかを学びながら、法がどのような働きをしているかをたしかめることが必要とされるのです。

つぎに、到達点ということは、是非、皆さんにそうしてほしいのですが、法律を全体として学んだ後で、もう一度「法学」に戻って考えて頂きたいと思っています。なぜなら、法律を作ったり、運用する場合、国会議員、官僚、法曹などさまざまな専門家が働きますが、法がいかにあるべきかの基準は国民自身に置かれなければならないからです。つまり、皆さんが基準になるということなのです。

そして、このことから認識しなければならないことは、これまで積み上げられてきた法を吟味し、未来の法を創造してゆく主役は国民自身であるということです。したがって、国民が法のある姿を自らのものとして受け止めることが不可欠なのです。

2. 『法学』の新教材は、以上のような視点で編まれたものです。憲法学・民法学・法哲学・刑法学に取り組んでいる4人の研究者＝教員が、皆さんに「法学」の世界への誘いとして執筆しました。その点で、私共が教科書執筆について心がけたことを述べておきます。ア. 法が社会生活の中でどのように働いているかに着目しました。イ. 法は社会の変動に伴い、変化が必要とされます。法のダイナミズムといきます。ウ. 法が生きている人間とどう関わるかに注意を向けました。法は人間性と結びつくものです。

3. 答案作成にあたって、次のような点について注意して下さい。

① 出題の意図がどこにあるかを考えましょう。

② 何をどのように論じたらよいのかという、答案構成を工夫しましょう。

③ 答案の分量としては、裏側まで及ぶようにして下さい。

④ 日本語としてわかりやすい文章を心がけて下さい。その一環として、次の点を意識して下さい。ア. 段落では必ず一字下げて書くこと。イ. 句読点をきちんとつけること。ウ. 長すぎる文は論理関係が不明瞭になるので、避けたい。

⑤ 答案の最初は、何が問題となるかという、問題の所在から始めることが必要です。

B11500 法 学 (旧教材)

船山 泰範

勉強を始めるにあたって、まずテキストの冒頭を読み、法学とはどのような学問か、そしてどのように勉強すれば良いのかの見取り図を、自分なりに作ってみてください。分冊1は、法学の主要なテーマを扱っていますので、目次を見てどのような文言が現われているかを確認すると良いでしょう。ここではそれぞれの章が相互に関連しあっていますので、始めは難しいと思うことでも、読み進めていくうちに他との関係の中で理解が深まっていくでしょう。分冊2は、分冊1の内容を踏まえた上で、より実際の諸問題を扱っています。

こちらはどこから読み進めてもらっても構いません。ページ順を追ってでも、興味のあるところからでも、自由に楽しく読んでください。分冊2で扱われている諸々のテーマは、分冊1での基礎理論と関連しあっていますから、分冊2まで読むことで、分冊1の内容をより良く把握し、かつ、法学をより身近な問題として深く理解することができます。その上で自分の周りにある様々な問題が、法学的なアプローチではどのように捉えられるのか、考えてみると良いでしょう。

法学は、これから専門的に法律を学ぼうとする人に対しては全法律科目に通底する基盤を与えると共に、教養として学ぼうとする人に対しては社会科学的な物の見方を与えてくれる学問領域です。法学は実践から生まれた学問ですから、机上の空論ではありません。どのようなスタンスに立とうと、単に暗記するだけではなく（もちろんいくつか必ず覚えなくてはならない事柄があるのは、他の学問を学ぶにあたって同じですが）、自分の問題としてひきつけて考えることが肝要です。始めは面倒でも、関連する条文にあたりながら読み進めていくうちに、法学が示すものの考え方に徐々に馴染んでいくはずで

重要だと思われることはノートに取り、その他の文献も参考にしながらノートを充実させていってください。こうして1冊のノートが出来上がる頃には、法学に対する問題理解が深まっていると同時に、法学への関心が高まっていることと思います。本当の勉強は、ここから始まります。

B11600 社 会 学

仲川 秀樹

社会学の試験を受ける上で、学習すべき視点について。

- ① 社会学とは何か、概念を正確に理解すること。そこには用語の理解も含まれる。概念や用語以外に、社会学の研究对象とする領域の基礎理論を学ぶこと。
- ② 行為と行動からはじめる。人はなぜ行動するのか。その動機や目的とは何か。
- ③ 人間はなぜ集団を形成するのか。社会集団とはいかなるものか。
- ④ 社会学の領域（領域社会学）を知る。それは研究对象となる。
- ⑤ 社会学の研究テーマと研究对象は、家族や、地域社会の問題など多方面にわたる。家族であれば、少子化・晩婚化・女性の社会的進出の問題などが浮上する。地域社会であれば、都市の膨張と地方の衰退などがあげられる。そこで問題や課題は調査などによって検証する。
- ⑥ 社会学の世界を総括する。あらためて社会学とは何かを考える。
以上の視点をポイントに学習を進めてみましょう。

B11700 政 治 学

渡邊 容一郎

政治学のテキストに、いわゆる決定版というものはありません。特に政治学の場合、執筆者の専門領域や関心事項が、そのままテキストの構成に反映されやすいといえます。したがって、「これ一冊を読めば、政治学の全体像がわかる」という完全なテキストは存在しないといえるでしょう。

しかし、心配する必要はありません。テキスト執筆者の得意分野が何であれ、政治学の本質をわかりやすく伝えたいという執筆者の「心意気」は、どんなテキストにも共通しているからです。

そこで、まず、この政治学テキストの目次を概観し、どのような項目で構成されているか把握してください。次に、その中でも特に自分にとって興味深い「章」あるいは「節」を一つ選んで、その内容を熟読してみましょう。（ちなみに、学生時代の私の場合は『イギリスの政党とその歴史』でした）。自分にとっては「面白い」内容なので、比較的すんなりと理解できるはずで、そして家族や職場の同僚など、他人に教えてあげられるくらいになればしめたものです。そうすると、政治学を理解するために必要な、自分なりの「軸足」「核」、あるいは「立脚点」のようなものが次第にできあがります。このような自分なりのポイントを出発点として、さらにテキストの残り部分にも徐々に関心領域を広げていきましょう。

こうして「各論から入って総論に至る」ことで、政治学についての知識や「ものの見方」が次第に身についていきます。大切なのは「興味のあるところからはじめること」です。それを自分の「武器」にすることで、政治学の「面白さ」が自然にわかってくると同時に、政治学の専門領域をさらに深く学ぼうという意欲も湧いてくると思います。

B11800 経済学

塚本 隆夫

経済学は暗記が強要される科目ではありません。とはいえ、基本的な事柄やそれがどのようなことを意味するのかが、覚えなければなりません。しかし一番肝心なことは、「経済学的な考え方」を身につけることです。

このテキストでは、最初に極めて単純な「仮定」が説明されます。この単純な仮定に基づいて簡単な「理論モデル」が作られます。簡単な理論モデルを組み合わせ、高次の理論モデルを作り上げていきます。このように経済学の学習は、単純なモノから複雑なモノへと、一つずつ階段を登るようになっていきます。

このテキストでは、「ミクロ経済学」と「マクロ経済学」との二つの領域を案内します。テキストをただ漫然と読むだけでは、「経済学的な考え方」は身につけません。

テキストを読みながら、①大事な箇所に線を引き、②説明の図がでたら自分でも図を描き、③文字式や計算がでたら自分でも計算しましょう。この3つの手順を通して「経済学的に考える力」を身につけてください。

①から③を着実に実行すれば、すべての理論を丸暗記する必要はなくなります。実際、260ページを超えるこのテキストを丸暗記することは、できない相談です。①から③を通じて「経済学的に考える力」を身につければ、単純な仮定から複雑な理論への筋道を、自分の力だけでたどっていただけます。

テキスト前半部分の「ミクロ経済学」では1. 消費者行動、2. 企業行動、そして3. 市場の資源配分機能について学習します。消費者は、限られた予算と自分の選好に従って自分の効用を最大化します。ここから需要曲線が導出されます。一方、企業は、利潤を最大化することを目指します。ここから供給曲線が導きだされます。こうして得られた需要と供給から完全競争市場の価格調整機能を通じ、最適資源配分が達成されます。

テキスト後半部分の「マクロ経済学」では、ケインズ・モデルに基づき、どのようにして一国の国民所得（GDP）が決定されるのかを、学習します。1. これを「45°線」（所得 - 支出図）分析で説明します。2. 次に「45°線」分析から「IS-LM」モデルが導出されます。こうして「国民所得決定の仕組み」が解き明かされます。そこから、3. 失業やインフレ・デフレの原因とその対処策が導きだされます。

B11900 数 学

立井 博子

1. 命題

正しく推論を進めていくために、命題の合成の仕方にはどのような仕方があるか、もとの命題が真であるか偽であるかにしたがって、それらを合成して得られる命題が真であるか偽であるかを判定できること。

2. 集合

集合の記述、集合の表示、命題と集合との間の関係を説明できること。

3. ベクトルと行列

ベクトルと行列の表示、演算、連立1次方程式を係数法で解けること。

4. 群

群の定義、概念を説明できること。

5. 線型計画法

連立1次不等式の定義する凸多角集合を図示し、1次関数が最大、最少となる点、最大値と最小値を求めることができること。

6. 確率

順列と組合せ、確率を求めることができること。

7. ゲームの理論

ゲームが決定的であるかを判定でき、最良術策を示せること。

B12000 生物学

石川 稔矩

生物学を学習するに当たり生物学の教材も最近では分子レベルで考える様な方向で進み『生命科学』・『分子生物学』・『生化学』の内容での話題が中心で通信教育の教材も新カリキュラムとなり生命科学の基礎科目として教育目標を、科学的、論理的思考力を養い人間性を磨き、自由で主体的な判断力を養うことのできる教材に代わり、生命倫理やヒトの尊厳を幅広く理解していくことであるが、従来の生物学では生命探求の一方向がDNAを中心にする分子生物学を取り込んだ新しい生物学であったが、近日の生物学は生命科学としての生物学に内容が変わり日常生活・話題も新聞紙上・毎日のニュースなども生命科学的な幅広い教養と総合的な判断力を養う教科としての生物学となり従来の生物学の基盤の基に生命科学が学べるように幅広く深い教養と総合的な判断力を養う教科としての生物の微細構造や遺伝子の構造や機能も分子生物学の立場から研究されるようになり生物学は生物について、また生物と環境も含めて新しい分野の生命科学が注目されるようになった。

今日その価値観を考え、地球環境の変化を理解するために必要な生物集団にみられる多様な現象を総合的に備えライフサイエンスと呼ばれる学問領域から未来の問題を考えヒトが生物の一員としてヒトの進化などを中心に生命理論や人の尊厳を理解して国際化および情報化社会に対応出来る能力を育成することである。科学的思考力の基盤や人間生活を中心に科学的、論理的思考力を育て、人間性を磨き、自由で主体的な判断と今後、人間が多様な生物と釣り合いながら、共生していくためにも幅広く視野を持って生物学の勉学に励んでいくための理解であり生命を科学的に理解して、人類は将来にわたって健康に、精神的に豊かに生きる科学的知識として、あまり難しく考えないで生きるための知恵が、新しい生物学であるのでこのことが学習のアドバイスであるのである。

B12100 心理学
藤田 主一

心理学は、行動科学として発展した学問です。私たちの意識や行動の背後にある現象を解明していくのが目的です。大学で学ぶ心理学は科学です。人間のルールのようなものを探して研究が進められています。テキストには現代心理学の概要がわかりやすく述べられています。心理学の基礎から応用までの領域が理解できるように編集されていますので、まずテキストを熟読してください。何度も読み直してください。心理学に興味のある人は、もっともっと知りたくなります。そういう人は、テキストの最後に参考文献が掲載されていますので、さらに学習を進めてください。

単位を得るためには、科目修得試験に合格しなければなりません。各回の試験にはテキストの中から4問が出題されます。その中(4問)から2問を各自が自由選択します。試験場への持込みは「全て可」ですが、持ち込んだテキストやノートなどをそのまま写すことは避けてください。自分が勉強した成果を答案に発揮できるよう幅広く学習してください。

心理学的な答案を作成するためには、心理学の考え方や心理学用語を身に付けなければなりません。覚えなければいけない学説や人名もかなりあります。ちょっと大変そうですが、テキストを頼りに取り組んでください。心理学に興味をもつ人はなんなくクリアできます。論理的な文章だけでなく、あなたの具体的な体験なども入れて豊かな答案にするとよいでしょう。あなたの答案には、あなたの学習成果が表現されます。どうぞ頑張ってください。期待しています。

B12200 統計学
熊谷 敦也

統計学は、多数のデータが与えられた時に、様々な計算処理によってデータ全体の巨視的な特徴を表したり(記述統計)、部分的に与えられたデータを元にしてデータ全体の傾向を推測したりする(推測統計)ための学問です。

統計学の特徴の一つとして挙げられるのは、応用範囲が極めて広く、ほとんどすべての学問分野において何らかの形で応用が見られる、ということです。例えば何らかの調査を行ってデータが得られた場合、そのデータから客観的・定量的な結論を導くためには、統計学が必要不可欠なものになります。統計学は数学の一分野である確率論に基礎を置いているため、数学のイメージが強いかもしれませんが、決して理工系学部の学生だけが学ぶものではありません。

教材は、記述統計、確率分布、推測統計、の3章からなります。まず、記述統計の章で、データの整理のしかたを学びます。特に、平均と分散の求め方とそれらの意味を理解して下さい。さらに、二つの変量がある場合に、それらの関わり合いを表す共分散・相関係数の求め方とそれらの意味を理解して下さい。

次に、確率分布について学んでいきます。確率分布は、この後で推測統計を学ぶ際に基礎となります。まず、確率変数や確率分布といった考え方をしっかり身に付けて下さい。その後、離散確率分布の例として二項分布、連続確率分布の例として正規分布が詳説されているので、これらの性質をよく理解して下さい。その後、推定や検定に用いられる三つの確率分布が説明されます。中でも最低限、 t 分布の性質は、不偏分散の意味と共に理解して下さい。

最後に推測統計について学びます。まず、標本抽出という考え方を身に付ける必要があります。母集団から標本を抽出するというのが確率試行と考えられる点がポイントです。初めは、標本平均に的を絞って、これが確率的にどう分布するか、注意して考えて下さい。次に区間推定の考え方を学びます。区間推定では、母数がある区間に入っている確率がいくつである、という推定のしかたをします。その後、仮説検定の考え方を学びます。まず、用語とそれらの意味を理解した上で、どのような流れで検定は行われるのか把握して下さい。検定とは、ある仮説に対してその真偽を判定するものではなく、その妥当性のある確率(危険率)をとともに評価するということがポイントです。

全体を通して、電卓やPCを使ったりして、実際の計算練習を多く積み重ねることを強く推奨します。これにより統計学の各トピックの固有の考え方が自然と身に付いていくはずですよ。

参考文献

「統計学入門」稲垣宜生他(裳華房)

「明快演習数理統計」小寺平治(共立出版)

B12300 科学史

日高 千晴

テキストおよび参考書を熟読し、各章の内容を十分理解しておきましょう。各時代背景と社会的状況を把握した上で、科学現象が発見された経緯や後世に与えた影響、科学技術のあり方について考察してください。テキストに詳しく書かれていない歴史的、地理的、社会的状況や科学思想等については各々の参考書をもとに十分調べ理解を深めておくことも重要です。

解答作成においては設問の要点を抑え、明瞭な文章でまとめるよう心掛けてください。そのためにまず、キーワードを列挙しておき、次にその意味を詳細に説明するための言葉を加え、最後に前後の内容に矛盾のないよう文章を組み立てていくよう努めてほしいと思います。

C10100 英語 I

猪野 恵也

まずテキストを文法に気を配りながら正確に読むことである。できれば、ストーリーや登場人物の気持など内容を考えながら読むと読みが深まり、読解力が増す。

気をつけるべき文法事項は句と節、五文型、不定詞、動名詞、分詞、関係代名詞、関係副詞である。

なお、科目修得試験の受験条件であるレポート作成は全力で取り組むように心掛けて下さい。

C10200 英語 II

青木 克憲

テキストの中では3つの作品が扱われています。話の展開を追うとともに登場人物の性格やさまざまな場面に置ける心理状態をよく考えながら読んでほしいと思います。それと併行して5文型を中心とした構文の分析を行い、主語、動詞、目的語、補語を、意識して読み進めてください。単語、熟語、そして語法上の規則は、英和辞典や文法書を常にそばに置いて読み進めてください。1度、2度ではなく何度も読むことにより著者の意図、作品が生まれた背景、文学的な魅力がわかり、登場人物に対する自分の感情も生まれてくると思います。

C10300 英語 III

八木 茂那子

「英語Ⅲ」では学生の英語読解力と文学作品の鑑賞力の向上を目標としています。テキスト掲載の3作品はいずれも優れた作品であり、読む者に感動を与えてくれます。時折難しい単語や表現も見られますが、1回目は辞書を引かずに未知語に下線を引きながら話のあらすじをつかみます。意味のまとめごとに区切って読んでいくスラッシュリーディングをお勧めします。2回目は注釈を読み辞書を丹念に引きながら内容理解を深めます。未知語の意味を調べる際、辞書は意味の見当をつけてから引くようにすると早く的確な意味を見つけることができます。また3回目には段落ごとに書いてある内容の見出しをつけていくようにします。意味の取れないところは主語→動詞→目的語→補語→修飾語の順に、文章構造がどうなっているかを見ていきます。そして最後に音読をします。読めない単語は覚えられません。文学作品は音読してみても、初めて音の美しさが認識できます。繰り返し音読することをお勧めします。回を追うごとに理解が深まっていくことがわかるでしょう。

科目修得試験では「和訳」(it, that, this, theyなどの指示語が何を指しているかがわかるように)、また「五文型に関する問題」を中心にその他空所補充問題などを出題します。辞書その他参照物の持ち込みはできませんので単語の意味やイディオムはしっかり押さえ、わからない単語がないようにしておいてください。

C10400 英語 IV

市川 泰弘

「はじめに」という部分でテキストの構成が書かれていますので、必ず読んでおいてください。各ユニットで学習する項目に関連する単語がPassageで使用されています。まず、内容を理解しながらどのような意味で使われているか、どのような単語の組合せ(Collocation)になっているのかを確認し、Exerciseに進んでください。Exerciseでは解答を見ないで自分なりの答えを考え、その後Common Errorsの説明や参考文献(Longman Dictionary of common Errors)を参考に確認してください。単に確認するだけでなく、自分がわからなかった部分は単語帳を作るなどして再び確認が出来るようにしておくといいでしょう。英作文は簡単なものを入れてあります。辞書などを使いながら解答を確認し、できればさらに英作文の練習を行ったりすることが実力を伸ばす有効な方法となります。Further StudyのパラグラフライティングはPassageが基本の文章となっています。それぞれの内容のまとめ方のこつを理解していきましょう。それぞれのユニットが理解できたら、さらにTOEICなどの問題を確認作業として、またさらなる学習として勉強してみてください。

英語は継続して学習しなければ力が付かないものです。付け焼き刃的な学習は答案にすべてが反映されません。日頃の学習を重視し、こつこつと勉強を進めてください。

試験ではそれぞれの項目に関連した内容を尋ねたり、また実力がついてきたかどうかを確認する問題も出されます。問題は通し番号を打っておきますので、解答するときには必ず番号を示すようにしてください。解答番号がないとどの問の答えであるかわからなくなり、採点上では0点にしなければならない可能性があります。また問題の指示に従って記入をしてください。

C10500 英語 V
小田井 勝彦

文章を読む目的は著者が一番語りたこと、つまりその文のメインテーマを理解することです。英語Vではそこに至るまでに一つ一つのセンテンスの意味を深く理解することが大切です。

第一にはセンテンスが何個の単文から構成されて、それを接続している語（接続詞、関係詞）は何かを考えてください。

第二にはそれぞれの単文がどのような構造をしているのかを述語動詞を中心に考えてください。

第三には著者が使用している語句は具体的に何を言おうとしているのか考えてください。

第四には著者が個々のセンテンスで何を言おうとしているのか考えてください。

最後に文章全体のメインテーマを把握してください。

この教材はユーモアに託した物言いと控えめな物言いの仕方でイギリス人の国民性を語ったもので、著者の真意を理解するためには丁寧に辞書を引き、何度も読む必要があります。

英語Vの科目修得試験では、辞書その他の持込みは認めませんので単語の意味も十分に頭に入れておく必要があります。

C10600 英語基礎
飯野 朝世

通信教育部指定教科書を十分に学習して試験に臨みましょう。各ユニット初ページの文法説明をよく学習し、練習問題レベル1を行って、自身で学習内容の理解度をチェックしましょう。答え合わせをして大部分が正解であれば、レベル2の問題に進んでください。レベル2もクリアできれば、レベル3の問題に進みます。すべてのレベル別問題が大方解けていれば、テキストの欄外に記載されている「注」や「ポイント」にも目を通しておくとよいでしょう。教科書に沿った『学習の手引き』には、和訳だけでなく、その解答に至る説明が詳細に書かれていますのでよく読んでください。

科目修得試験の第一問目は、アメリカ合衆国の文化事情が色々なトピックを通して語られているCulture Noteからの出題です。基本的な英文ルールと英文内容が理解できているかを確認します。

第二問目以降は、各ユニット初ページの解説や例文、レベル別練習問題からの出題です。文法学習ポイントの解説や例文をよく読み、練習問題を何度も解いて準備しましょう。参照物持ち込みはすべて不可です。

D10100 ドイツ語 I
川嶋 正幸

ドイツ語Iでは、基礎文法の根幹を身につけるように心がけてください。まず教科書の文法事項の説明をよく読んで、練習問題を解いてみてください。文法の説明は、先に学んだ事柄を基礎にしていますので、学習事項を未消化のまま先に進んでしまうとますます分からなくなります。そのような場合は、必ず市販の参考書でしっかり理解してから次に進むようにしてください。市販の参考書は、難しかったり、余り分厚かったりするものは避け、自分に向いているものを選ぶことが大切です。

ドイツ語Iの文法で特に重視して欲しい点は、冠詞の格変化、人称代名詞の格変化、動詞の人称変化などの語形変化をきちんと記憶すること、そして文の中での動詞の位置を把握することです。また、教科書の単語は記憶するよう試みてください。ドイツ語は派生語が多いので、ひとつの単語を記憶すると、沢山の新たな単語が理解できるようになります。試験では辞書を参照することができますが、基本的な単語を辞書で引いているような時間はありません。1つの単語には複数の意味があることが常ですが、暗記を試みておけば例え意味を忘れていても辞書で引けばすぐに意味がわかるはずです。

D10200 ドイツ語 II
川嶋 正幸

ドイツ語IIのテキストを読みこなせるようにしておいてください。ドイツ語IIのテキストは、初級から中級への橋渡しのテキストですから、ドイツ語Iで学んだ文法はもう十分と考えがちですが、文法の基礎を完成させるには、同じ事柄でも何度も繰り返す必要があります。したがって、まずは発音から始まる文法事項をしっかりと確認しながら、テキストを読んでいってください。その際使われている単語は、できるだけ記憶しようと試みてください。一度記憶したことのある単語は、例え意味を忘れてしまっても、辞書で調べれば時間をかけることなく適切な意味に到達できるはずですが、このテキストに書かれている文を読みこなせば、普通のドイツ語の文であれば、辞書や文法書が手元があれば大体の意味は読みとれるはずですが。

学習の際には、文の文法的な関係がきちんと理解できているかを確認をしながら読むようにしてください。

なお、科目修得試験の受験条件であるレポート作成には、全力で取り組むように心掛けてください。

D10300 ドイツ語Ⅲ

川嶋 正幸

ドイツ語Ⅲの段階では長文を読む力が求められますが、ドイツ語の場合、長文とはいっても一つ一つの短い文の組み合わせですから、その一つ一つの文が理解できれば、長文も問題なく理解できるはずです。つまりテキストのどの文も、ドイツ語Ⅰ、Ⅱで学んだ文法の基礎に基づいているということです。したがって試験の準備のためにも、文法の基礎をしっかりと確立しておく必要があります。ドイツ語Ⅰ、Ⅱの「学習上のアドバイス」も参照して学習してください。

試験で独和辞典を参照することができるとはいえ、日頃独和辞典に親しんでいませんとなかなか使いこなすことができません。日頃調べた単語に下線を引いておくなどしておくこと、記憶する助けにもなりますし、辞書を効率的に引くことができます。

D10400 ドイツ語Ⅳ

川嶋 正幸

ドイツ語Ⅳのテキストが大体日本語に訳せるようにしておいてください。

ドイツ語Ⅳのテキストは、文学のテキストではあっても、日常使われるドイツ語で書かれていますので、特殊な表現はあまり出てきません。このような文が読みこなせれば、普通のドイツ語の文であれば十分に読みこなせるようになっているはずです。調べても分からない箇所もあるかもしれませんが、そのような箇所はとりあえず置いておいて、分かる箇所をつなぎながら、分からなかった箇所を推測し、その推測が正しいか調べるといった方法もよいでしょう。ただ長文の読解には、基礎の文法力がものをいうことを忘れてはなりません。そこで、ドイツ語Ⅰからドイツ語Ⅲまでで学習した事柄で、まだよく理解できていない箇所があれば、しっかりと復習しておくように心掛けてください。

単語力はもちろん重要ですが、これは一朝一夕に身につくものではありません。しかし日頃辞書に親しんでいると、テキストの語彙なら辞書で探せば大体見当がつく程度になるはずです。

なお科目修得試験の受験条件であるレポート作成には、全力で取り組むように心掛けてください。

E10100 フランス語Ⅰ

大庭 克夫

科目修得試験は、報告課題の内容をベースにそれを応用する形で出します。したがって報告課題にきちんと取り組まれた人なら、あとは範囲内の単語や文法事項を覚える＝インプットするだけで済むはずです（もちろんしっかり覚えるには大変な努力が必要ですが、外国語は覚えることが仕事です）。

1. 出題は、(1)基本的な単語（名詞）の書き取りと(2)和文仏訳および(3)発音記号の文字化とそのうえでの和訳です。
2. なお単語の書き取りでは、「可算名詞」であれば《不定冠詞単数》を、「不可算名詞」であれば《部分冠詞》を付けてください〔報告課題と同じ〕。
3. 重点的学習領域は報告課題の内容全般です〔報告課題で使用している単語・表現などはすべて出題するものと考えてください〕。
4. 数字は1～10までと100 < cent >だけを範囲とします（200なら < deux cents >、300なら < trois cents >）。なお《2.deux》《3.trois》《6.six》《8.huit》《10.dix》は後続の名詞が「母音」で始まるのかによって発音が変わってきますし、《9.neuf》も後続に《an》と《heure》がきたときだけ音が変わります。『指定教材フランス語Ⅱ』と仏和辞典をひいてよく調べておいてください。

E10200 フランス語Ⅱ

大庭 克夫

科目修得試験は、報告課題の内容をベースにそれを応用する形で出します。したがって報告課題にきちんと取り組まれた人なら、あとは範囲内の単語や文法事項を覚える＝インプットするだけで済むはずです（もちろんしっかり覚えるには大変な努力が必要ですが、外国語は覚えることが仕事です）。

1. 出題は、(1)仏作文（和文仏訳）と(2)発音記号の文字化とそのうえでの和訳です。
2. 重点的学習領域は報告課題の内容全般です〔報告課題中の単語・表現などはすべて出題するものと考えてください〕。なお外国語は当然「積み重ね」が基本ですから、報告課題《フランス語Ⅰ》で出題されている単語・表現も当然出題範囲とします。
3. 数字は1～31までとします。なお曜日、月・季節などは、報告課題の中で直接出題していないものも当然出題範囲とします。
4. 仏語Ⅱでは《aller》《venir》《faire》《prendre》《partir/sortir》など非常によく使われる不規則動詞の活用がメインです。時間と労力を割いてしっかりインプットしてください。

E10300 フランス語Ⅲ

大庭 克夫

科目修得試験は、報告課題の内容をベースにそれを応用する形で出題します。したがって報告課題にきちんと取り組まれた人なら、あとは範囲内の単語や文法事項を覚える＝インプットするだけで済むはず（もちろんしっかり覚えるのには大変な努力が必要ですが、外国語は覚えることが仕事です）。

1. 出題は、(1)仏作文（和文仏訳）と(2)発音記号の文字化とそのうえでの和訳です。
2. 重点的学習範囲は報告課題の内容全般です〔報告課題中の単語・表現などはすべて出題するものと考えてください〕。また外国語は当然「積み重ね」が基本ですから、報告課題《フランス語Ⅰ・Ⅱ》中の単語や表現も当然出題します。
3. フランス語Ⅲでは動詞の「時制」として「複合過去形」を覚えてください。意味は単なる過去形ですが、形としては《助動詞》と《過去分詞》を組み合わせで作ります。《助動詞》は通常は《avoir》ですが、《aller》《venir》《partir/sortir》など「場所の移動を表す自動詞」は《etre》を用います〔このとき、「主語」と「過去分詞」が《性・数一致》する点に注意〕。また《naitre》（生まれる）、《mourir》（死ぬ）も例外的に助動詞《etre》を用います。
4. 《se coucher》（寝る）、《se lever》（起きる）などのように英語の～ oneself（例：enjoy oneself）に当たる動詞を「代名動詞」といいます。この「代名動詞」も「複合過去」を作るときは、「助動詞」に《etre》を用います。

E10400 フランス語Ⅳ

大庭 克夫

科目修得試験は、報告課題の内容をベースにそれを・応用する形で出題します。したがって報告課題にきちんと取り組まれた人なら、あとは範囲内の単語や文法事項を覚える＝インプットするだけで済むはず（もちろんしっかり覚えるのには大変な努力が必要ですが、外国語は覚えることが仕事です）。

1. 出題は、(1)仏作文（和文仏訳）と(2)発音記号の文字化とそのうえでの和訳です。
2. 重点的学習領域は報告課題の内容全般です〔報告課題で使用している単語・表現などはすべて出題するものと考えてください〕。
3. 数字は1～31までとします。なお曜日・月・季節なども当然出題します。
4. フランス語Ⅳでは動詞の「時制」として「未来形」と「半過去形」が中心になります。ともに動詞の「語尾変化」で表しますが、「未来形」も「半過去形」も「語尾」はすべての動詞に共通の語尾をもちます。なお「複合過去形」が1回だけの単なる過去であるのに対して、「半過去形」は《過去の継続的な行為》（英語の過去進行形）および《過去における繰り返された行為》（英語の“used to”）を表します。
5. またフランス語Ⅳでは「時制」として「大過去形」と《ジェロンディフ》を含めます。「大過去形」というのは英語の「過去完了」と同じで、通常「複合過去」で表される過去の行為より以前に完了していた行為を表します。
6. フランス語Ⅳではさらに「条件法」と「接続法」という今まで習った「直説法」とは違う新しい《法》（モード）も範囲に含めます。「条件法」というのは英語の「仮定法」と同じです。ただし「未来形」と「半過去形」という《時制変形》も、「条件法」と「接続法」という《法変形》もいっぺんにマスターするのは大変なので、試験では報告課題で取り上げた動詞のみを出題範囲とします。

F10100 中国語Ⅰ

福木 滋久

添付のCDを活用しながら「発音篇」から学習をはじめ、発音の基本とピンインの構造を身に付けてから「本篇」の学習に入る。本テキストは文法解説を載せていないが、収録された言い回しは、どれも基本的なものばかりなので、全て暗唱できるように覚えること。テキスト本篇各課の「基本表現」の例文については、日本語訳が付されている。この部分は、中国語から日本語訳、或いは日本語から中国語訳できるようにしておき、漢字の中国語文をピンインに、ピンインのみの中国語文を漢字あるいは日本語に変換できるようにしておく。本篇各課の「バリエーション」「会話」については、日本語訳が掲載されていない。学習に際しては、「新出単語」や辞書などを参考に、各自で日本語訳に取り組んでおく必要がある。この部分は、正しい日本語訳ができるように、また漢字↔ピンイン、日本語↔ピンインに相互変換できるようにしておくこと。平成27・28年度報告課題で指定された箇所については、特に重要な部分であるため、漢字・ピンイン・邦訳をよく復習しておくべきだ。各課の学習を終えたら、必ず各課末の「ドリル」に取り組み、定着度を確認すること。

◎中国語を漢字で表記する際は以下の点に留意する。

- ・字体は正確な簡体字を用い、筆画や止め撥ねにも注意して、明瞭かつ丁寧に書く。
- ・教科書の漢字部分には単語と単語の間にスペースを挿入するが、書く時は空白を入れず続けて書く。
- ・句読点（。、，、？、！、；、“ ”等）を正しく使い分ける。

- ・数はすべて漢数字で表記する。
- ◎中国語をピンインで表記する際は以下の点に留意する。
 - ・アルファベットは誰が見ても判別できるよう明瞭かつ丁寧に書く。
 - ・声調符号は、四声の違いを明確にして書き、正しい位置につける。
 - ・大文字と小文字を正しく使い分ける。(文頭・固有名詞の頭文字は大文字、それ以外は小文字)
 - ・漢字と違いピンインは、分ち書き(一単語は続けて書き、単語間は話して書く)に留意する。
 - ・数も全てピンインで表記する。ただ CD、DVD などのローマ字語は、そのままの標記でよい。
 - ・句読点(。、? ! : ; “ ” 等)を正しく使い分ける。

このテキストは、「基本表現」「新出単語」部分以外には、日本語訳が付されていないため、辞書は必須である。学習にあたって、必ず辞書(中日辞典)を入手しておくこと。種々の中日辞典が出版されているが、安価なコンパクト辞典よりも本格的な辞書を備えておくほうが、結局は効率的である。一例として……

『中日辞典第2版』小学館

……を挙げておく。電子辞書は携帯には便利であるが、学習用としては書籍版の辞書に及ばない場合が多い。なお日中辞典は初めのうちはなくてもよい。辞書の選び方や引き方、その他学習方法など不明な点は、質問の制度を使って問い合わせること。

F10200 中国語Ⅱ

福木 滋久

必ず第1～5課の発音学習を終えてから、第6課以降の本学習に入ること。本テキスト第6～18課は、「本文」をはじめ、ほとんど日本語訳を載せていない。学習に際しては、「新出単語」や辞書などを参考に、各自で日本語訳に取り組む必要がある。本編各課の学習にあたっては、まず「新出単語」に目を通した後、例文に日本語訳を付す「キーワード」の部分から学習するとよい。「キーワード」の例文は、全て日本語 ↔ 中国語(漢字及びピンイン)、漢字 ↔ ピンインの相互訳ができるようにしておくこと。続いて新しい文法事項の「ポイント」を学び、最初に戻って「本文」「理解を深める」の順で学習する。各課の「本文」及び「理解を深める」「ポイント」の例文については、全て正しい日本語訳ができるように、また日本語 ↔ 中国語(漢字及びピンイン)、漢字 ↔ ピンインに相互変換できるようにしておくこと。CDを聴きながら何度も発音し、書くなどして、収録された言い回しを暗唱できるように覚えてほしい。平成27・28年度報告課題で指定された箇所については、特に重要な部分であるため、漢字・ピンイン・邦訳をよく復習しておくべきだ。各課の学習を終えたら、巻末の「ドリル」を用いて定着度を確認する。各課の学習においては、必ず「ドリル」まで取り組むこと。

- ◎中国語を漢字で表記する際は以下の点に留意する。
 - ・字体は正確な簡体字を用い、筆画や止め撥ねにも注意して、明瞭かつ丁寧に書く。
 - ・教科書の漢字部分には単語と単語の間にスペースを挿入するが、書く時は空白を入れず続けて書く。
 - ・句読点(。、? ! : ; “ ” 等)を正しく使い分ける。
 - ・数はすべて漢数字で表記する。
- ◎中国語をピンインで表記する際は以下の点に留意する。
 - ・アルファベットは誰が見ても判別できるよう明瞭かつ丁寧に書く。
 - ・声調符号は、四声の違いを明確にして書き、正しい位置につける。
 - ・大文字と小文字を正しく使い分ける。(文頭・固有名詞の頭文字は大文字、それ以外は小文字)
 - ・分ち書き(一単語は続けて書き、単語間は離して書く)に留意する。
 - ・数も全てピンインで表記する。ただ CD、DVD などのローマ字語は、そのままの標記でよい。
 - ・句読点(。、? ! : ; “ ” 等)を正しく使い分ける。

辞書は必須である。学習にあたって、必ず辞書(中日辞典)を入手しておくこと。種々の中日辞典が出版されているが、安価なコンパクト辞典よりも本格的な辞書を備えておくほうが、結局は効率的である。一例として……

『中日辞典第2版』小学館

……を挙げておく。電子辞書は携帯には便利であるが、学習用としては書籍版の辞書に及ばない場合が多い。なお日中辞典は初めのうちはなくてもよい。辞書の選び方や引き方、その他学習方法など不明な点は、質問の制度を使って問い合わせること。

F10300 中国語Ⅲ(新教材)

福木 滋久

中国語Ⅲは、中国語Ⅰ・Ⅱで学んだ語彙や文法を基礎として、総合的な応用力を養い、更なるステップアップを目指す科目である。学習時には、初級教材を手元に置いて参照するとよいが、中国語Ⅰ・Ⅱの現行教材は語彙索引を欠いているので、むしろ辞書を用いるケースが多いかもしれない。教科書の分量は、従来の教材に比べ少ない。よって科目修得試験にあたっては、山をはずらず広く準備しておく必要

がある。出題形式は「(1)漢字文の日本語訳」, 「(2)ピンイン文の日本語訳」, 「(3)漢字→ピンイン変換」, 「(4)中国語作文」である。日本語訳は、本文・文法例文・置き換え練習・応用会話等、どこから出題されても訳せるようにしておくこと。「学修指導書」でも指示しているように、特に本文については、巻末の「本文会話一覧」やCDを用いて、繰り返し取り組まなくてはならない。よって、ピンイン関係の問題は、本文の会話文から出題される可能性が比較的高いだろう。テキストは日本語訳を載せていないが、「学修指導書」には「文法」の例文と「応用会話」部分について邦訳例を紹介している。これらの部分については、中国語・日本語訳がそろっているの、日本語から中国語への翻訳もできるように練習しておくこと。また、平成28年度報告課題で指定された箇所は特に重要であるから、再度漢字・ピンイン・邦訳をよく復習しておくことよ。

◎中国語を漢字で表記する際は以下の点に留意する。

- ・字体は正確な簡体字を用い、筆画や止め撥ねにも注意して、明瞭かつ丁寧に書く。
- ・教科書の漢字文には単語と単語の間にスペースを挿入するが、書く時は空白を入れず続けて書く。
- ・句読点（。、？、！、；、“ ”等）を正しく使い分ける。
- ・数はすべて漢数字で表記する。

◎中国語をピンインで表記する際は以下の点に留意する。

- ・アルファベットは誰が見ても判別できるよう明瞭かつ丁寧に書く。
- ・声調符号は、四声の違いを明確にして書き、正しい位置につける。
- ・大文字と小文字を正しく使い分ける。（文頭・固有名詞の頭文字は大文字、それ以外は小文字）
- ・分ち書き（一単語は続けて書き、単語間は離して書く）に留意する。
- ・数も全てピンインで表記する。ただCD、DVDなどのローマ字語は、そのままの標記でよい。
- ・句読点（。、？、！、；、“ ”等）を正しく使い分ける。

辞書は必須である。学習にあたって、必ず辞書（中日辞典）を入手しておくこと。種々の中日辞典が出版されているが、安価なコンパクト辞典では対応できない。2,000ページクラスの辞書が必要だ。一例として……

『中日辞典第2版』小学館・『日中辞典第2版』小学館

……を挙げておく。電子辞書は携帯には便利であるが、学習用としては書籍版の辞書に及ばない場合が多い。辞書の選び方や引き方、その他学習方法など不明な点は、質問の制度を使って問い合わせること。

F10300 中国語Ⅲ (旧教材)

福木 滋久

中国語Ⅲでは、中国語Ⅰ・Ⅱで学んだ語彙や文法を基礎として、総合的な応用力を養い、更なるステップアップを目指す。Ⅰ・Ⅱの応用発展教材であるから、学習時には、常に初級教材を手元に置いて参照できるようにしておくべきだ。ただ中国語Ⅰ・Ⅱの現行教材は語彙索引を欠いているので、むしろ辞書を用いるケースが多いかもしれない。前半P.125までが基本文法を解説する「文法篇」、P.128～P.146は聴解練習用ドリルの「リスニング篇」であり、その後は切り離し可能な「別冊練習問題の解答・解説」となっている。学習時は「文法篇」と「リスニング篇」を交互にやっているとよいだろう。「文法篇」は7つの単元から成る。1つの単元の最終項目は「練習問題」であり、7つの単元を終えた最後は、「総合練習問題」となっている。「文法篇」の例文と「リスニング篇」の「解答」部分には漢字・日本語訳・ピンインがそろっている。これらについては、全て日本語↔中国語（漢字及びピンイン）、漢字↔ピンインの相互訳ができるようにしておくこと。「練習問題」（文法篇・リスニング篇）と「総合練習問題」は、「解答・解説」を参考に、できるようになるまで何度も取り組んでおいてほしい。「練習問題」（文法篇）の講読問題なども例外ではなく、長文を訳せるようにしておくことを望む。また、平成27・28年度報告課題で指定された箇所については、特に重要な部分であるため、漢字・ピンイン・邦訳をよく復習しておくことよ。

◎中国語を漢字で表記する際は以下の点に留意する。

- ・字体は正確な簡体字を用い、筆画や止め撥ねにも注意して、明瞭かつ丁寧に書く。
- ・教科書の漢字部分には単語と単語の間にスペースを挿入するが、書く時は空白を入れず続けて書く。
- ・句読点（。、？、！、；、“ ”等）を正しく使い分ける。
- ・数はすべて漢数字で表記する。

◎中国語をピンインで表記する際は以下の点に留意する。

- ・アルファベットは誰が見ても判別できるよう明瞭かつ丁寧に書く。
- ・声調符号は、四声の違いを明確にして書き、正しい位置につける。
- ・大文字と小文字を正しく使い分ける。（文頭・固有名詞の頭文字は大文字、それ以外は小文字）
- ・分ち書き（一単語は続けて書き、単語間は離して書く）に留意する。
- ・数も全てピンインで表記する。ただCD、DVDなどのローマ字語は、そのままの標記でよい。
- ・句読点（。、？、！、；、“ ”等）を正しく使い分ける。

辞書は必須である。学習にあたって、必ず辞書（中日辞典）を入手しておくこと。種々の中日辞典が出版されているが、安価なコンパクト辞典では対応できない。2,000 ページクラスの辞書が必要だ。一例として……

『中日辞典第 2 版』小学館

……を挙げておく。電子辞書は携帯には便利であるが、学習用としては書籍版の辞書に及ばない場合が多い。辞書の選び方や引き方、その他学習方法など不明な点は、質問の制度を使って問い合わせること。

F10400 中国語Ⅳ

福木 滋久

中国語Ⅳは、中国語Ⅰ・Ⅱで学んだ語彙や文法を基礎として、まとまった文章を読解する力を養い、更に高度なレベルへの到達を目指す。学習時には、初級教材を手元において参照できるようにしておくのが望ましい。ただし中国語Ⅰ・Ⅱの現行教材は語彙索引を欠いているので、むしろ辞書を用いるケースが多いだろう。テキストは第 1～15 課までの構成となっているが、難易度順というわけではない。

学習に際しては、まず「語注」を見て新出単語を確認し、続いて「解読の手がかり」で関連する文型を学習する。ここの例文についても日本語↔漢字、漢字→ピンインに変換できるようにしておくこと。単語と文法の学習を終えたら、本文の本格的学習に入る前に、一度末尾の練習問題に本文を見ながら取り組んでみるとよい。本文理解のヒントになるはずだ。

本文の学習においては、まず全文を翻訳してみる必要がある。「語訳」「解読の手がかり」「練習問題」の内容と辞書を参考に日本語訳を試みる。一度訳文を書きだしてみた後、原文と対照し、不備を補ったり、誤訳を訂正したりして、完成度の高い訳文を目指そう。

訳が一通りできるようになったら、後は練習あるのみである。何度も音読し、何度も書き出すなどして覚え、日本語↔漢字の相互変換、漢字→ピンインへの変換ができるように努める。最後にもう一度、巻末の練習問題に取り組んで定着を確認することも忘れないこと。

科目修得試験の日本語訳問題では、大体の意味を掴んでいても、意識が過ぎれば減点の対象となる。原文の構造を極力変えないように心掛け、文の構造や単語のニュアンスを把握していることをアピールするような訳がもとめられる。中国語訳については、本文や「解読の手がかり」の例文を中心に、語彙や文法事項の理解を問うような短文翻訳問題となる。平成 27・28 年度報告課題で指定された個所については、特に重要な部分を含むため、中国語・ピンイン・邦訳をよく復習しておくべきだ。

◎中国語を漢字で表記する際は以下の点に留意する。

- ・字体は正確な簡体字を用い、筆画や止め撥ねにも注意して、明瞭かつ丁寧に書く。
- ・教科書の漢字部分には単語と単語の間にスペースを挿入するが、書く時は空白を入れず続けて書く。
- ・句読点（。、？、！、；、“ ”等）を正しく使い分ける。
- ・数はすべて漢数字で表記する。

◎中国語をピンインで表記する際は以下の点に留意する。

- ・アルファベットは誰が見ても判別できるよう明瞭かつ丁寧に書く。
- ・声調符号は、四声の違いを明確にして書き、正しい位置につける。
- ・大文字と小文字を正しく使い分ける。（文頭・固有名詞の頭文字は大文字、それ以外は小文字）
- ・分ち書き（一単語は続けて書き、単語間は離して書く）に留意する。
- ・数も全てピンインで表記する。ただ CD、DVD などのローマ字語は、そのままの標記でよい。
- ・句読点（。、？、！、；、“ ”等）を正しく使い分ける。

辞書は必須である。学習にあたって、必ず辞書（中日辞典）を入手しておくこと。種々の中日辞典が出版されているが、安価なコンパクト辞典では対応できない。2,000 ページクラスの辞書が必要だ。一例として……

『中日辞典第 2 版』小学館

……を挙げておく。電子辞書は携帯には便利であるが、学習用としては書籍版の辞書に及ばない場合が多い。辞書の選び方や引き方、その他学習方法など不明な点は、質問の制度を使って問い合わせること。

G10100 日本語Ⅰ

三原 裕子

日本語Ⅰは日本語学習を 150 時間ぐらいまで進んだレベルです。初級から中級へ進む人に適したコースですので、わからないところは基本文法にもどって一つずつ着実に理解して進んでください。

- ・日本語では「が」「は」「を」「に」「の」などの助詞が文の内容を決定します。主語と述語せつごの関係はどのように関係付ける助詞かをしっかりと理解してください。やさしい文型で助詞の接続をおぼえるのも効率的でしょう。
- ・テキストでは目的別に文型が示されています。文型と目的・場面の関係を理解してください。
- ・文を作るときは文体に注意してください。「ます」「です」と「だ」などが混じらないようにします。

知らない漢字や言い回しは必ず辞書でしらべることが効果的な学習方法です。生の教材としての日本語で書かれた新聞や短い文章も読んでみましょう。初めはむずかしいと思いますが、テキストで学習した文型が見つかるはずで、使われている文型と場面との関係がさらに理解しやすくなります。

科目修得試験の出題はほとんどがテキストに即してありますが、文型の習熟とともに、様々な場面での日本語に挑戦してください。

G10200 日本語Ⅱ

三原 裕子

日本語Ⅱは中・上級のレベルを対象にしています。

日本語を学習する上で、たいせつなことのひとつに、文法的な機能をもつ語を知ることがあげられます。ですから、その機能語を①使用場面 ②接続の方法 ③使われる動詞 などとあわせて理解してください。

機能語がわかるようになると、長い文章や論理的な文章を読む力が身についてきます。

作文について勉強するのは「話しことば」と「書きことば」の違いや、他の人に理解してもらう日本語が使えるようになるための大切な学習方法です。

各文型を、じっさい自分でも使って文を作ってみてください。その場合、使った語がどのような場面で、どのように機能するのかも確認することはとても重要です。

さまざまな文章を場面や目的に合わせて作れるようになって下さい。

知らない語はかならず辞書でしらべ、読めない漢字も同様に辞書でしらべて書けるようにすることが、着実な学習に不可欠なことです。

G10300 日本語Ⅲ

三原 裕子

「日本社会を知る」ことも日本語上級の学習の一側面である。このような考えから生教材を使用し、現代日本社会について知識を持つことを目的とした。学習としてはこれらの生教材で使われる表現文型を知って、使えるようになることが第一のポイントである。

- ・ 例文の中からさまざまな表現文型を見つけ、自分でも使用してみる。
- ・ 類似表現を理解し、応用文を作ってみる。
- ・ 接続の表現を使って、短文から長文へと発展させる。
- ・ 常用漢字ではない漢字になれる。

本文を読んで理解するにとどまらず、「日本語」で自分の考えをまとめ、表現する力も身に付けるよう学習することをすすめる。

G10400 日本語Ⅳ

三原 裕子

上級日本語学習者を対象にしたコース用に、日本語と日本事情を兼ねたテキストを選択した。本コースを学習することで、日本語の総合的な運用力を向上させ、同時に現代日本社会についての知識を身に付けられると考える。

本文の内容を理解することが第一のポイントである。本文を理解するための学習ポイントをいくつか挙げる。

- ・ むずかしい漢字には振り仮名がついているので、意味を辞書で確認し、自分でも使えるようにすること。
- ・ 上級レベルの語彙・表現を理解する。どのような場面で使われるかを整理し、実際に作文することは、運用力を身につける上で重要である。
- ・ どのような動詞が接続するか、動詞の種類を整理して確認するように。

意見文については、自分の意見を論理的に述べ、相手に誤解されることなく伝達することが大切である。そのために、明解な文章を構成する接続語や文末表現に留意して、多くの文を作ることが上達の秘訣である。

文の作成と同時に現代日本社会についての知識を増やし、自分の主張をもって日本の社会現象を判断することに挑戦していただきたい。

H10100 保健体育講義Ⅰ

高橋 正則

体育は、横断科学といわれるように多くの学問領域の知識を応用することによって、直接的、間接的に私たちの健康や体力の維持増進に役立てられている。このテキストは、高等教育に学ぶ大学生として多様化した現代の住環境の中で体育がなぜ必要かを理解するために構成されている。

科目修得試験は、学習すべき範囲についての知識を問うものであり、その理解度が評価の対象となる

ことから、テキストに記されている「重要な用語」が解答の中にどれだけ多く用いられているかが重要である。したがって、解答が独自の見解でなされ、テキストに記されている「重要な用語」が含まれていない場合には評価の対象とならない。

H10200 保健体育講義Ⅱ

高橋 正則

体育は、横断科学といわれるように多くの学問領域の知識を応用することによって、直接的、間接的に私たちの健康や体力の維持増進に役立てられている。このテキストは、運動やスポーツが我々の生活にどのような役割を果たしているのか、また、世界的な健康・体力維持のための取り組みや具体的なトレーニングの実践についても解説している。

科目修得試験は、学習すべき範囲についての知識を問うものであり、その理解度が評価の対象となることから、テキストに記されている「重要な用語」が解答の中にどれだけ多く用いられているかが重要である。したがって、解答が独自の見解でなされ、テキストに記されている「重要な用語」が含まれていない場合には評価の対象とならない。

K20100 憲 法

池田 実

テキスト 235 ページ「憲法の学習方法」に記されているように、憲法および関連する法令の条文、重要判例ならびに主要学説をまんべんなく学習することが必要ですが、法学科目としての「憲法」は、①総論的分野、②人権分野、③統治機構分野に大別され、それぞれに学習の際の重点の置きどころが異なります。

① 総論的分野「第1章 国家」「第2章 憲法」「第3章 日本憲法史」「第10章 憲法の改正」「第11章 憲法の保障」

総論的分野では、主として、憲法学の基礎理論や憲法の歴史を学習します。ここでは、「近代的意味の憲法とは何か?」「硬性憲法とは何か?」など、専門用語の定義や内容を説明できるようになることが重要です。テキスト 233 ページに掲げた憲法事典等を併用して学習を深め、用語・概念ごとにカードなどを使って重要事項を整理するとよいでしょう。

② 人権分野「第5章 国民」

人権分野では、主として、「憲法上の国民の権利・義務に関する一般原則」「平等権」「自由権」「社会権」「国務請求権」「参政権」など、日本国憲法に定める諸権利を学習します。ここでは、憲法の人権条項をめぐってどのような問題が生じているのか、判例および学説はそれにどのように答えているのかを理解することが重要です。憲法の条文ごとに、それをめぐる論点と判例・学説の見解を、カードなどを使って整理するとよいでしょう。また、判例の詳しい内容を知りたいときは、テキスト 230 ページ以下に掲げた判例解説書を参照してください。

③ 統治機構分野「第4章 天皇」「第6章 国会」「第7章 内閣」「第8章 裁判所」「第9章 地方自治」

統治機構分野では、主として、国会・内閣・裁判所や地方公共団体の組織や権能を学習します。ここでは、ある機関のあり方をめぐる法令上の「制度」がどうなっているかを理解することが重要です。テキストの説明には、その根拠となる憲法その他の法令の名称と条文番号が記されていますから、必ず六法を参照して、条文そのものをきちんと読んで理解を深める努力をしましょう。

K20200 民法 I

山川 一陽

民法総則の領域は、民法全体に関する通則としての機能を果たすものである。それだけに議論が抽象的になりやすいところがあり、むずかしい学問領域である。そこで、まず民法総則の全体構造というものをよく理解して勉強を始めることが必要となる。①権利の主体、②権利の客体、③権利の変動原因という構造となり、権利の変動に関しては、意思による権利変動（法律行為論）と時効制度がある。意思に基づく権利変動原因となる法律行為論については、意思なき行為や瑕疵ある意思表示が問題となる。さらに代理人による法律行為や代理権なき者による法律行為としての表見代理や無権代理が問題となる。このように権利主体、権利客体、権利変動という構造を理解して勉強をすることが要求される（このあたりの問題については、民法総則教科書第1章第1節第2を参照されたい。同時に同書9頁の図解を参照のこと）。また、同時に民法の構造自体を理解した上で民法総則を勉強しなければなりません（これについては民法総則の教科書第1章第1節第1を参照されたい。同時に同書8頁の図解を参照のこと）。

いずれにしても教科書を丹念に読むことです。その際には、条文をしっかりと読むことが必要となります。教科書で条文が引用されている場合にはその条文を知っていると思っても必ず引いてみておくことです。

K20300 刑法 I

南部 篤

- 1 刑法は、法律学のなかでも特に理論的で難解な内容を多く含む分野である。構成要件理論・因果関係・不作為犯・違法性の本質・誤想過剰防衛・防衛の意思・責任能力・原因において自由な行為・未遂犯・共犯・罪数など難しい課題が初学者の前に立ちちはだかる。なぜだろうか。
- それは、犯罪が成立するか否かの判断が死刑や懲役という刑罰発動に直結するからである。犯罪成否の判断が恣意に流れ不公平が生じたり、不安定なものとなったりしないよう、論理的で厳密な判断枠組みが必要とされるからである。
- そこで、そのような体系的に構築された刑法解釈論、犯罪成立要件を中核に組み立てられた犯罪論を学ぶことが、刑法総論の学習の中心をなすこととなる。そのことから、初学者はその内容を理解することに大きな努力を払わなければならない。そして、ある程度高い理解レベルに達した者のなかに、今度は解釈論の整合性のみに目を奪われ、論理的なつじつま合わせに終始しようとする傾向がしばしば見られることとなるのである。しかし、犯罪が人間の営為であり、リアルな現実の問題であることを見失ってはならない。刑罰制度が人々の社会生活や人生を左右する深刻な権力作用として現れる、という現実感覚を忘れてはならない。論理的な思考の筋道を踏み外さず、しかも妥当な結論を見出すことが目指されなければならないのである。
- バランスのとれた法的思考能力に裏打ちされた刑法の理解・知識を獲得することが、法解釈学のゴールであるとともに、刑事に関する立法論の出発点ともなるのである。
- 2 刑法を学ぶにあたっては、できるだけ具体的な設例や現実の事件、判例などを念頭に学習を進めることが効果的である。具体例の提示により容易な理解を図るといった説明方法に意を尽くした教材を用いることが特に有益である。具体例に即した説明に触れることは、抽象的な議論の理解を助けるほとんど唯一の方法といってもよいからである。
- 自分で教科書を読みすすめる際も、つねに具体的なイメージを想い浮かべ、具体例に即して思考を働かせるよう習慣づけることが有効である。そして、設例、判例の事案に関する法の解釈・適用を検討する際は、そこで行われた規定の解釈がどこまで一般化できるかを探ることが重要となる。
- そして、自分が十分な理解に達したかどうかの指標は、例をあげて自分の言葉を用いて他人に説明し納得させることができるかである。できない場合は、そのテーマを十分に咀嚼し自分のものにするところまで到達していないと考えなければならない。自分が理解していないことを、他人に説明し納得させることなどできるはずもないからである。
- 3 テキスト巻末の「指導書」を学習に役立ててほしい。そこには、テキストの叙述の順に沿って、章ごとに学ぶテーマを設問のかたちで示してある。いきなりテキストを開き、書かれていることを理解しようとするのではなく、まず指導書のこの学習テーマをひもとき、「この設問にどう答えたらよいか？」を頭のすみにおきながら、テキストのページを読み込んでいこう。まず、「〇〇は何のためにあるのか？」「□□と△△とはどのような関係にあるのか？」といった設問をいったん自らの関心として受けとめ、その上でテキストを読みすすめながら、それに対する解答を探っていく、というアクティブな学習態度で取り組む方が、法律学の理解に到達するやり方として効果的と考えられる。
- テキストは、刑法学の基本的理解を獲得し、堅牢な基礎を築くことを目的に編集されている。そこで、さらに詳細な説明や、応用的なテーマ等についての解説、また関連事項へのコメント等が必要になる場合もある。そのような学習の際、①テキスト等を読みすすめるにあたり、専門用語の意味をすばやく知るために法律学辞典、法令用語辞典などが便利である。②あるテーマの理解が困難な場合は、別の著者による別の刑法の教科書の説明に触れて理解できることがある。色々な角度から問題をながめ、また、色々な表現方法の説明に接することにより理解が容易になることもあるのである。図書館や書店で多くの刑法教科書を手にとってみよう。③実際に起こった事件に法を適用して事案の処理を行った先例、つまり裁判例をコンパクトに紹介しコメントを付した「判例集」は、学習をすすめる上でもっとも重要なツールである。前述の具体性を大切に学習方法を助ける便利で強力な参考教材である。
- 4 本来、「すべての学問は素朴な疑問から出発する」ものであろう。やみくもに暗記に走るという思考停止に陥ることなく、常に、なぜだろう、どうしてそうなのか、と問題関心を研ぎ澄ませ、積極的態度で取り組むことこそ、刑法を学ぶ早道であり、真の理解に到達する最短ルートである。

K30100 民法 II

堀切 忠和

本教材は、第1分冊(物権法)は堀切が、第2分冊(担保物権法)は、清水が執筆した。両者は別個の科目であるから、特に執筆者間で調整は図っていないが、いずれも平易な叙述を心掛けた。

物権法については、物権の特質・物権変動論を中心に、独習用の教材であることに配慮し丁寧な叙述を心掛け、担保物権法については、民法だけではなく債権の保全・回収に関わる周辺法規との関連を踏まえた内容になっている。

民法IIに限ったことではないが、法は紛争の解決・予防の指針であるから、どのような形で紛争が生じるのか、また、それについての解決が、どのような理由で導かれたのかということをも具体例に則して

考えると良い。その点では、教科書の引用判例について、最高裁のHPで検索してみるのも良い。また、法曹会から出版されている「最高裁判所判例解説民事篇」などは一般の図書館にも置いてある場合があるので手に取ってみると良い。

また容易に入手でき、普通の学習において手元に置いておくのが良いものとしては、有斐閣から出版されている「別冊ジュリスト判例百選」のシリーズがある。民法Ⅱに関連するものとしては、民法判例百選Ⅰ及びⅡ（いずれも第7版）、民法判例百選（Ⅲ）、不動産取引判例百選（第3版）がある。

また、担保物権法の中でも重要な、譲渡担保に関する比較的新しい判例を網羅的に集めたものとしては、金融・商事判例増刊第1286号近江幸治・西口元編「譲渡担保法判例の分析と展開」がある。

これらを踏まえ、科目修得試験に臨むときには、定義・制度趣旨・要件・効果を整理し、また判例、通説、有力な反対説を押さえておくことができると深みのある答案となろう。

なお、独習にあたっての参考書としては、講義に代わるものとして勁草書房より出版されている民法案内3及び4（我妻榮著、幾代通・川井健補訂）、5及び6（我妻榮著、川井健補訂）がある。また一歩進んだ学習用には、佐久間毅著「民法の基礎2 物権」有斐閣、道垣内弘人著「担保物権法（第3版）」有斐閣などがよい。また辞典代わりになるものとしては、有斐閣の注釈民法、日本評論社のコンメンター民法第2版追補版（我妻・有泉ほか）などがある。適宜参考にされたい。

K30200 民法Ⅲ

山川 一陽

私達が社会生活を送っていく中で、法律上はどうなっているのだろうかという疑問に直面することがしばしばある。何かトラブルが生じたときに生じる疑問であることが多いであろうが、これから行動する際に、どのようにしておけば問題が生じないかを考えていく過程においても生じる疑問である。法学の学習は、これらの疑問に答えるためのものといつて良いであろう。もちろん、法律学研究はこのような実用法学としての法解釈学に限定されるものではないが、まずは、ここから始めることがわかりやすい。このような観点からすれば、学習の出発点は、法律の条文そのものであり、個々の条文の持つ意味内容を把握するとともに、複数の条文の相互関係を検討することにある。その上で、これらを用いて問題解決に当たることとなる。このように考えると、法律を学ぶ上では、常に、事実を思い浮かべて考えることが重要である。そのような学習方法は、法律の条文が、抽象的なものであり、その解説であるテキストを読んでも、漫然と読んだのでは、なかなか理解しにくいことへの対処の方法でもある。

民法Ⅲの分野に関していえば、例えば、土地・建物の売買契約をイメージしてみる。そこでの売主は、売買代金の債権者であると同時に、土地・建物の引渡義務の債務者でもある。このような形で債権者・債務者を具体化させて考えてみると良い。あるいは、売買を八百屋での買い物に変えたらどうなるか、買主が二人いたらどうか。契約を金銭消費貸借に変えてみたらどうなるか。基本のパターンから変化させたときに、用いる条文は同じなのかどうか、考えて行くことによりその規定の適用範囲も理解できるようになるであろう。

テキストを読む場合でも常に六法を手元に置き、条文を参照していくこと、テキストに書かれていることが理解できるまで繰り返し読み込むことが必要であることはいままでの学習の経験からいえる（テキストを1～2回程度読む段階）では、内容がわからなくても、とりあえず先に進んでしまっても良い。全体を通読することによって、最初は理解できなかったことが簡単にわかる場合もあるのである。

最後に、民法Ⅲの理解を助けるための参考書をあげておく。その1は、我妻榮（著）、水本浩・川井健（補訂）の「民法案内Ⅶ～Ⅸ」（債権総論上・中・下）（勁草書房刊）である。全体のページ数はかなりのものになるが、話し言葉で書かれており、事例も豊富に挙げられているので、やさしく読み進むことができる。その2は、民法判例百選Ⅱ債権（第6版）（有斐閣刊）である。これは、重要な判例について、簡単な事実・判決内容・解説が1件あたり2頁程度にまとめられており、民法Ⅲの分野としては41件が取り上げられている。具体的な事件に接することにより、理解がさらに深まるであろう。なお、判決文だけを知りたいのであれば、最高裁判所のサイトから、最高裁判所民事判例集搭載の判決を調べることができる。これは、テキストに「民集」という略号で引用されているので、興味があれば、読んでみるとよい。

K30300 民法Ⅳ

矢田 尚子

民法Ⅳ（債権各論）では、民法典の第3編「債権」のうち、債権の4つの発生原因である「契約」「事務管理」「不当利得」「不法行為」について学びます。

ここで扱う領域は、私たちの普通の暮らしと密接にかかわり、私たちの暮らしの変化とともに発展し、新たな問題をも生み出し続ける現在進行形の領域です。現在、100年ぶりに民法（債権法）が大きく改正されようとしていることは、ご存知の方もいるかと思いますが、この領域は、まさにその改正対象の中心となっています。何が問題となって、いかに法律が変わり、それが私たちの生活に今後いかなる影響を与えるのかを理解することは、私たちの暮らしを法律という角度から眺めてみる絶好の機会です。た

だし、それを理解するためには、その大前提として、まずは、現在の法状況について正確な知識を持っていることが必要です。

皆さんが学ぶテキストは、これら知識のうち、もっとも基本的で、必ず抑えておくべき知識が、簡潔にかかれています。ただし、その分、具体的なケースなどがイメージしづらいこともあるかもしれません。その際は、レポート課題の中で示された判例集などの参考文献もぜひ、活用してみてください。また、この領域に限りませんが、テキストを読む際は、六法を手元に置き、それを参照しながら、勉強してみてください。特に、この領域は、民法の中でも、多くの条文数が割かれている部分であり、条文を引く勉強にもなります。

ちなみに、民法の勉強は、全体像を把握することでようやく理解できる内容もあります。したがって、多少、読み進めていく中で、わからないところがあっても、くじけず、基本がわかれば十分というくらいの軽い気持ちで読むとよいかもしれません。最初は、意義や要件、効果といった法律の勉強をするうえでの基本をここでも押さえることから始めましょう。なお、余裕があれば、すでに学びおわっている民法Ⅰ（民法総則）も併せて復習をすることをお勧めします。当時、抽象的でわからなかった内容も、民法Ⅵの知識と結びつくことで理解が促され、ひいては、民法Ⅵの理解もより深まることとなります。「急がば回れ」、あせらず地道な知識の積み重ねこそが、民法の勉強の早道です。

K30400 民法 V

山川 一陽

親族相続法は、親族法と相続法というかなり異なった領域からできあがっているといっていいでしょう。親族法の方は、比較的常識になじみやすいといえますが、相続法の方は、一種の応用物権法のような性格を有するものです。それだけにこれを勉強する際には物権法の理解がある程度必要となります。

親族法にあっては、家族というものの制度的な法構造を理解して勉強することが必要となります。同時に家族法と家族の公示方法としての戸籍制度を理解しないとなりません。戸籍への登録ということとの関連から各種の届け出義務などを理解することが必要となるし、こうして公示される家族関係の法的効果を検討していく必要があるといえましょう。

相続法にあっては、やはりこれが一種の財産法的なものであるということを考え、ここにあってどのようにして相続人間の公平というものをどのように実現するかということを考えなければならないといえましょう。とりわけ法定相続にあってこれがどのように実現されるかを勉強してほしいところです。

遺言相続にあっては、遺留分との関わりというものを考えることが必要となります。同時に手続法との関係も考えていただきたい。遺言をめぐる問題点については裁判例を広く参照して見る必要があります。また、条文についてはしっかりと参照しなければなりません。

K30500 商法 I

丹羽 重博

商法Ⅰ（商法総則・商行為法）の教材巻末の「学習のしおり」を参考にして勉強すること。商法総則の条文は大幅に改正されたので、「本書の問題点」を新しい六法では該当する条文を1つ1つ確認しながら法解釈することが必要です。

K30600 商法 II

大久保 拓也

経済社会で重要な役割を担う会社について規律する会社法は、平成17年に全面改正（平成18年5月1日施行）され、さらに平成26年6月に重要な改正がされており、実務に与える影響も大きい。その内容を理解するためには、単にテキストや条文を読むに留まらず、日刊新聞紙の経済面を読んで学習しておくことが重要である。

会社法の内容であるが、テキストを熟読することが不可欠である。テキストは、条文数の多い会社法の内容をかなり簡潔に記述している。そのため、テキストを読む際には必ず『六法』で条文に当たり、条文を通じて会社法制度を理解することが肝要である。会社法は、関連規定を含めて改正される頻度が高い。そのため、毎年刊行される最新の六法を用意して学習して欲しい。特にこの科目に関しては、平成26年6月に会社法が改正されているため、それ以降に刊行された六法（平成27年度版以降）でなければならない。

テキストや六法を読む際、一般法である民法や商法、その他の法令の条文が出てくることがある。その際、その条文にも当たり、必要に応じてそれらに関する参考テキストも調べて欲しい。

また、難しい法律用語も多い。そこで、参考書として『法律用語辞典』を用意し、分からない用語は辞典で確認すべきである。会社法は平成17年に改正されたため、それ以降に刊行された新しい辞典でなければ解説されていないので、新しい辞典を揃えることも必要である。今後平成26年6月の会社法改正対応版が刊行されるであろうから、それを活用することが望まれる。

なお、科目修得試験の受験条件であるレポートの作成についても上記の方針で取り組んで欲しい。

K30700 商 法 Ⅲ

丹羽 重博

テキスト「商法Ⅲ」の学習指導書「手形・小切手の学び方」を参考に本文を熟読して、法規と実務との違いを理解して下さい。

法律関係を図式化しながら勉強すると分り易く理解が進むと思います。

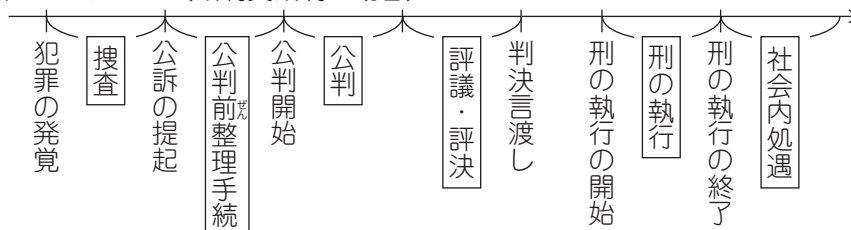
K30800 刑 法 Ⅱ

船山 泰範

1 刑法Ⅱ（各論）は、一般的な常識で対処できるものでないことを最初に伝えておきたいと思います。ですから、格別学習が必要があります。

では、刑法各論は、なぜ常識と離れたところに位置しているのでしょうか。それは、刑法は刑法なりの合理性があるためです。その特色のいくつかを示しておきましょう。

- (1) 法益保護のために、犯罪的結果が発生しなくても危険性に着目して犯罪類型が作られています。たとえば、未遂犯の規定はすべて危険性に着目しているのです。殺害にふさわしい行為がなされれば、被害者がけがをしても傷害罪ではなく、殺人罪の未遂（199条・203条）となるのです。
- (2) 刑事司法のプロセスでうそがつかれた場合、可罰的（有罪）となることはごく限られています。虚偽告訴罪（169条）や、犯人を逃がすために犯人として名乗りでること（103条）などです。うそは証拠裁判主義にとって困ることですが、それを見抜くために供述の裏をとることが当然とされている捜査においては、一般に犯罪として取り上げるべきではないのです。
- (3) 同じような行為がなされても、(イ)その人の身分（立場）、(ロ)背景事情の知不知、などによって可罰性が分かります。
 - (イ) 公務員が賄賂を受けとれば収賄罪（197条以下）ですが、民間人なら犯罪になりません。
 - (ロ) 偽貨を使用しても、最初から知っていれば、偽造通貨行使罪（148条2項）、途中から知ったときは取得後知情行使罪（152条）で、法定刑に大きな差があります。
- 2 刑法各論は事例によって学習してください。犯罪の中に、人間の多面性を垣間見ることができます。
- 3 犯罪の成否は最終的には刑法各論だけではなく刑法総論と合体して理解しなければなりませんので、是非、刑法総論と併せて学習してください。
- 4 刑法に限らず、法律を学ぶ人は常に六法を座右に置いて引くくせをつけましょう。少しずつ親しみがわきますから。ちなみに、大学に来るときには必ず携帯してきてください。
- 5 裁判員裁判がはじまって以来、事実認定のための証拠調べの状況が詳しく報じられるようになりました。刑法各論を学ぶために直接役立つ材料がたくさん提供されています。新聞では裁判員裁判について積極的にとりあげられています。参考にしましょう。
- 6 刑事訴訟法を未修であったとしても、刑事司法過程のあらましは知っておいてほしい。以下の略図を参照してほしい（裁判員裁判の場合）



7 答案は、必ず段落を考え、段落に1, 2, …などの番号をふって下さい。これは、刑法Ⅱに限ったことではありません。

K30900 行政法Ⅰ

池村 正道

行政法は法典がないため、理解するのが大変難しいかもしれませんが、教科書は行政法の全体的な概要を説明したものですので、よく読んでいきますとだいたいの内容が理解できると思います。繰り返し、繰り返し、教科書をよく読んで理解し設問について答えてください。

K31000 行政法Ⅱ

池村 正道

行政法は法典がないため、理解するのが大変難しいかもしれませんが、教科書は行政法の全体的な概要を説明したものですので、よく読んでいきますとだいたいの内容が理解できると思います。繰り返し、繰り返し、教科書をよく読んで理解し設問について答えてください。

なお、行政法Ⅱ・行政法各論については、行政法Ⅰ・行政法総論（分冊2）を参考にすると設問に対する理解が増すと思いますので、参照してください。

K31100 国際法

喜多 義人

1. 学習上の注意

まず、テキストを熟読し、理解して下さい。そのうえで、テキストで取り上げた条文を国際条約集で確認し、事例（判例）についても国際法判例集で調べておく必要があります。

2. 答案作成上の注意

- ① 問題の意図を正確に理解して下さい。
- ② 答案を書き始める前に、全体の構成を考えて下さい。
- ③ 文字は丁寧に、はっきり書いて下さい。
- ④ 誤字・脱字は減点となりますので、注意して下さい。
- ⑤ テキストの各項目ごとに模範答案を作成し、勉強するのがよいでしょう。

K31200 国際私法

野木村 忠邦

国際私法は、法律学の中でも最も難しい分野の一つとされています。米国では衝突法（conflict of laws）とも呼ばれています。

最初は、分からなくても当然です。あきらめずに、テキスト・入門書をくり返しくり返し熟読するうちに徐々に分かってきます（おそらく何と面白い分野ではないかと思うはずです）。最近では、平易に説明した解説書・概説書が多数出版されていますので、図書館・自習室等でチャレンジするようにしてください。3～5か月もすれば最初厚く重く見えていた霧が、おそらくスーッと晴れてくるはずです。

K31300 労働法

加藤 輝夫

1 労働法の勉強をする場合は、教科書及び参考書（菅野和夫著『労働法』第10版弘文堂）を十分読みこんでください。そしてさらに別冊ジュリスト『労働判例百選』などを読み、判例の研究などしてください。

2 それぞれのテーマについての意義や判例などをよく研究すること。

3 それぞれの条文について法の趣旨、目的を理解すること。

〈参考文献〉

『労働法』（第10版）菅野和夫 弘文堂

別冊ジュリスト『労働判例百選 4版・5版・6版・7版・8版』

K31400 知的財産権法

三村 淳一

1. 知的財産権制度は、人間の独創的な知的創造活動について、その創作者に一定期間の権利保護を与えるようにした制度であり、特許法、実用新案法、意匠法、商標法などの産業財産権及び著作権法や不正競争防止法を含む広範囲をカバーする法律です。それぞれの法律が、どのようなものを対象とし、どのように保護しているのか理解することが重要です。知的財産権制度全般を理解するためには、指定教科書の他、土肥一史「知的財産権法入門（15版）」（中央経済社2015）が参考になるので、一読することを奨めます。

2. 日本における特許制度では、書面主義を採用しており、発明品を特許庁に提出しても、特許を取得することができません。従って、特許取得に際しては、発明を文章で表現した明細書や発明を図化した図面と共に、特許を受けようとする発明を明記した特許請求の範囲を願書と共に提出する必要があります。これらの特許出願書類は、特許情報プラットフォームで検索・入手できますので、特許法を学習するにあたって、自己の興味のある発明がどのような特許として成立しているか、サーチをし、特許公報を読んでください。（<https://www.j-platpat.inpit.go.jp/web/all/top/BTmTopPage>）

3. 特許として成立するためには特許要件を満足しなければならず、これには、発明であること、産業上利用できること、新規であること、従来の技術から進歩性があること等多くの要求があります。これらの要件を満たしているか否かの判断は、最終的には裁判所に判断が委ねられることとなります。そのために、特許法習得には、判例を読んで法律を理解することも重要です。裁判所の判決文は、裁判所のホームページで公開されています。特に以下の判決は、重要判例であり、一読してください。（http://www.courts.go.jp/app/hanrei_jp/search1）

- ① 東京高裁平成14.4.11 平成12（行ケ）65人を診察する方法事件
- ② 最小平成3.3.8 昭和62（行ツ）3リバーゼ事件
- ③ 最小平成5.3.30 平成3（行ツ）98数値制御通電加工装置事件
- ④ 最小平成26.6.5 平成24（受）1204号プラバスタチンナトリウム事件
- ⑤ 最小平成10.2.24 平成6（オ）1083ポールスプライン軸受事件
- ⑥ 最小平成12.4.11 平成10（オ）364キルピー特許事件

- ⑦ 東京地裁平成 14.6.27 平成 13 (ワ) 17772 青色発光ダイオード事件 (中間判決)
- ⑧ 東京地裁昭和 56.2.25 昭和 50 (ワ) 9647 一眼レフカメラ事件
- ⑨ 東京地裁平成 13.9.20 平成 12 (ワ) 20503 電着画像の形成方法事件
- ⑩ 最三小平成 11.4.16 判決 平成 10 (受) 153 グアニジノ安息香酸誘導体事件
- ⑪ 最三小平成 9.7.1 判決 平成 7 (オ) 1988 BBS 事件

K31500 税 法

黒川 功

- 1 各章ごとに要点をノートに取る方法で、学習を進めてください。
- 2 各章について何がテーマであるか、そのことを憲法論の視角から考えるようにしてください。問題の本質論・基礎理論を把握するようにしてください。
- 3 テキストをほぼ 4 つに分けて、学習することとした場合、概ね次のテーマを想定して各人の考えをまとめるようにしてください。
 - ① イ 財政学・税務会計学と税法学, □ 租税の法的概念, ハ 納税者基本権, ニ 租税法律主義。
 - ② イ 借用概念, 仮装行為, 租税回避行為などと実質課税の原則の成否,
□ 応能負担原則の法的意味, ハ 税法と信義誠実の原則, ニ 租税立法と税務行政。
 - ③ イ 租税法律関係の性質, □ 連帯納税義務制度と第二次納税義務制度,
ハ 源泉徴収制度の法的構造, ニ 地方財政権の憲法的基礎。
 - ④ イ 税務調査権の種類と法的限界, □ 税理士制度と税理士の使命,
ハ 税務争訟制度の仕組みと問題点, ニ 租税制裁制度の概要と法的問題点。

K31600 民事訴訟法

小田 司

民事訴訟法を学習する際には、民事訴訟の基礎的知識の習得と民事訴訟の基本理論・構造についての理解が必要であるが、民事訴訟手続は鎖状につながっていることから、民事訴訟法についての理解を深めるためには、訴えの提起から口頭弁論を経て判決に至るまでの過程、すなわち民事訴訟手続の全体像を見渡す必要がある。また、民事訴訟について具体的なイメージが描けるように、例えば貸金返還請求訴訟、売買代金支払請求訴訟、建物収去土地明渡請求訴訟、交通事故に基づく損害賠償請求訴訟などの紛争事例を意識して、民事訴訟の基本理論・構造について学習するのが望ましい。さらに、最近の法改正、最新の判例・学説の状況についても、意識するように心がける必要がある。

最後に、各自学習した項目については、テキストの各章末尾の「知識を確認しよう」の問題を解いて、正しく理解できているかどうか、その都度確認することを勧める。

K31700 刑事訴訟法

関 正晴

テキストを読んで勉強するに際しては、捜査、公訴提起、公判、上訴、再審といった刑事手続全体の流れを理解し、それぞれの手続段階の性質・原理・解釈の基準を正確に理解するように努めてください。刑事訴訟法の学習では、制度が設けられている基本的な理由を理解しながら教科書を読むことも重要です。手続全体の流れを理解するために、刑事手続の概略図などを参考にして確認しつつ教科書を読むことも有益です。教科書に記載されている刑事訴訟法の条文は、六法全書で必ず読んでください。その上で、学習がある程度進んだときには、「刑事訴訟法判例百選第 9 版 (有斐閣ジュリスト)」などを参考にして、現実に裁判で問題となった事例とその解決方法を検討することも、刑事訴訟法の理解を深めることに有益ですので、これをお勧めします。

K31900 日本法制史

佐藤 邦憲

法制史は、歴史的事象に対して、法学的視点からアプローチする学問であるから、研究や学習をおこなう際に、歴史学を引き込んでくる (テキスト本・序説)。つまり、研究や学習には、法学の知識と歴史学の知識—歴史学的な処理ができなければならない。そこで学習の際には、当科目のテキスト本と併せて、この他に日本史の概説本、市販の文庫・全書本、廉価な雑記本そして高等学校で使用した教科書などをぜひ読んでいただきたい。

また、当科目のテキスト本には基本的な史料を多く入れた。これは、本文説明の根拠であるとともに、諸君たちの学習や研究の基礎的な材料でもある。史料は書き下しているので何度も読んでいただければその理解は決して困難ではない。法制史の科目修得試験・レポートなどの作成に当たっては、この史料を充分に利用し、かつ法制史は上記の視点とそして「法学のファミリーメンバーである」との姿勢から論述していただきたい。

L20100 政治学原論

吉野 篤

まず、テキストの各章全体の概要を把握してください。次に、テキスト本文を注意深く読み進め、その際、重要と考えられる論点についてノートに整理してください。専門用語については各自で辞典その他にあたって意味を把握しておくようにしてください。これについてはネット上の情報を確認することも場合によっては必要になるかもしれませんが、各章末にある参考文献は、さらに深く研究するために重要な参考資料ですので、とくに興味がある点については、このような参考文献にあたってさらに理解を深めることも重要です。いわゆる「古典」を直接読むことは、大学生にとって非常に大切で、学問の幅が広がるといえます。

その後、各章末の研究課題を、まずは何の参照もなしに解答してみてください。その際、解答の「論理構成」をきちんと組み立てることが大切です。このようなことを繰り返し行うことによって、学習効果も上がり、論理的な考え方が身につくと思います。時間をうまく工夫して、学修に取り組めば、必ず一定の成果が上がるのと同時に、学問の面白さに気付くはずですよ。

L30100 行政学

山田 光矢

行政学を学習する上で、最初に理解しなければならないことは、政治学という行政と法学という行政の相違である。法学は権分立論の立法と行政と司法から行政を考える。法学で行政は内閣と行政機構(省庁等)の役割とされ、主に消極説で考える。それに対して行政学では五権分立論により選挙権と立法権と執政権(executive power)と行政権(administrative power)と司法権から行政を考える。

行政学では、主権者の行使する選挙権と議会が行使する立法権と大統領と長官や補佐官ら(政府)や内閣が担当する執政権(これら三つの権利は意思決定にかかわる行為であり、立法権と執政権は政治家が中心となって行使するものである)が政治とされ、決定された意思の執行を担当する行政機構(省庁や地方公共団体等)や一般職公務員の役割が行政とされるのである。決定された意思を中立的・効率的に執行することが行政の役割であり、行政機関の設立や、担当者である公務員の選任方法、そして公務員をいかに効率的に働かせるかが行政学の主要な課題となっているのである。

それゆえ教科書では、最初に行政の意義と行政学の誕生、時代の変化と行政需要の拡大への対応を中心とした行政学の発達、さらに国家と地方公共団体の関係や役割について論じている。次に官僚制機構を中心として、行政組織と公務員について研修までも含めて記述し理解を求めている。第三に効率的な行政遂行に必要な行政管理や、行政機構内部の意思決定の日本的な特色を彙議制として説明している。最後に情報公開を中心とした新しい時代に応じた行政のあり方や、行政改革の手段としての行政相談や行政監察、そして機構改革の一つの手段であるオンブズマンについて論述している。

行政の役割は小さな政府論と大きな政府論ではまったく異なっている。市民社会は自由主義に立脚し、自由放任による競争社会を前提とし、自己責任を中心とした個人の責任が重視されていた。国家は立法国家あるいは夜警国家と呼ばれ、消極国家すなわち小さな政府が理想とされ、政治は保守主義に基づいて実践されていた。大衆社会では自由競争による貧富の差の拡大が問題視され、社会福祉や社会保障による平等化社会の確立が重視された。国家は行政国家あるいは福祉国家と呼ばれ、積極国家すなわち大きな政府が理想とされた。政治は社会民主主義に基づいて実践された。

自由主義・保守主義に基づく消極国家では、自由競争が経済発展をもたらすが、貧富の差が拡大することが問題とされた。平等主義・社会民主主義に基づく積極国家では、社会福祉制度の拡充が人々に安心した生活を与えることを目的としているが、行政機構の拡大や財政赤字の増大をもたらす、国家や地方公共団体そのものの存立を危うくする可能性が認められる。それゆえ政権交代や行(財)政改革の必要性が顕在化するものであり、その望まれる方向性を考察するものが行政学である。

日本では行(財)政改革の必要性が、ドッジライン、シャープ勧告、臨時行政調査会答申等によって、継続的に強調されてきているが、いまだに実現されていない。この行(財)政改革のあり方や方向性は、教科書の内容を総合的に学習することで理解されるはずである。また、現在の行(財)政の問題点や行(財)政改革の目的や方向性を考えることは、行政に対する理解を深めてくれるとともに、どのような改革がなされるべきかという、個々人の考えの確立の手助けになるはずである。

行政は行政需要の拡大の影響を受けて、時代とともに変質していくものであり、それは留まるところを知らない。それゆえ行政学は時代との関係でどのように行政需要が変化し行政機構や制度も変質してきたかという、歴史や理論の分析だけでは不十分な学問である。現状や将来に向けた考察も求められる学問である。

それゆえ、教科書はかなり厚いが、最初にそれぞれの項目を要約することで行政学の要点を理解する必要がある。それから、現在の行(財)政が抱える問題点を、新聞等の資料を通じて理解し、行(財)政改革の望ましい方向性や内容への理解を深めてもらうことが必要である。試験を受けるに当たっては、教科書を四つに分類したことを参考にして学習してから臨んでください。

L30200 国際政治学／R32700 国際政治論／S33200 国際政治学概論

佐渡友 哲

これから国際政治学の学修をはじめようとする人にとって大切なことは、国際社会を観察する姿勢をまず身に付けることです。複雑な国際政治を学問的に観察するためには、次の4つの視点をその入り口と捉えたらどうでしょうか。すなわち①歴史分析の視点（国際社会がどのように形成されたのか）、②現状分析の視点（国際社会の現状をどう見るか）、③理論分析の視点（現象をどのように理論化するのか）、④課題分析の視点（現在解決すべき国際的課題はどのようなものか）などである。

教材『国際関係論』もこの4つの視点から構成されています。すなわち第Ⅰ編では学び方の後に国際政治についての歴史の捉え方と20世紀の歴史、第Ⅱ編では現状分析を米国の世界戦略、グローバリゼーション、安全保障、日本周辺の国際政治などテーマ別に取り上げられています。第Ⅲ編は現実主義と理想主義、地域統合論、国際レジーム論など、国際政治の現象を理論的に説明する視点を提供しています。そして第Ⅳ編では、現在私たちが抱えている世界的な課題として、南北問題、地球環境問題、紛争解決などが取り上げられており、市民社会がどのような役割を果たすのかについても言及されています。

まず教材の「はじめに」と第1章を熟読して研究方法を理解し、国際政治の「歴史」「現状」「理論」「課題」がどのような構成になっているかを目次で把握しましょう。次に、教材には上記で説明したように第Ⅰ編から第Ⅳ編までありますが、ざっと目を通してその流れを理解しておくことも大切です。教材は全15章で構成されていますが、それぞれの章は独立したテーマで書かれているものとして捉え、関心ある章から精査・熟読することもできます。教材に即して学習上のポイントを列挙すると下記のようになります。

第Ⅰ編 序論と歴史分析（4～34頁）

- ① 国際政治を学修するための基本的な態度や心構えを考えてみよう。
- ② 国際社会の原型である国際システムはいつ頃どこで形成されたのでしょうか。
- ③ 現代の国際システムはウエストファリア体制（1648年～）の延長上にあるのか。
- ④ 冷戦時代（1947～89年）の米ソはどのような関係だったのだろうか。

第Ⅱ編 国際関係の現状分析（38～116頁）

- ① オバマ外交が世界に与える影響は何でしょうか。
- ② 新自由主義的グローバリゼーションは世界をどのように変えていくのだろうか。
- ③ 伝統的安全保障と非伝統的安全保障とはどのような違いがあるのだろうか。
- ④ 世界の中の日本の外交や立ち位置について考えてみよう。

第Ⅲ編 国際関係の理論的分析（120～166頁）

- ① 国際政治を見る現実主義と理想主義とはどのような思想なのでしょうか。
- ② 国際レジームという秩序はどのような原理で形成されているのだろうか。
- ③ 欧州はどのような理由と原理で統合が推進されているのだろうか。

第Ⅳ章 現代国際関係の課題（170～248頁）

- ① 先進国と途上国の格差と関わりについて分析し南北問題の本質について考えよう。
- ② 地球温暖化防止のためにどのような国際的枠組みがどんな取り決めをしているのか。
- ③ 市民社会はどのように世界と関わり地球的諸問題に取り組むことができるのか。

最後に、基本的な概念や専門用語がなかなか理解できない受講生は、資料や参考書（教材の文末に列挙）、そしてネット情報などを積極的に利用してみましょう。

L30300 政治思想史

杉本 竜也

まずは教科書の内容を正確に読み取り、理解してください。そのうえで、取り上げられている思想家の著作にぜひ挑戦してみてください。これらの古典は、文庫本等で容易かつ安価に入手することが可能です。長い歴史の中で評価され続けてきた古典は、人間の叡知の結晶です。現代の政治を理解する際にも、古典から得られた知恵は必ず役に立つはずですよ。

答案の準備にあたっては、様々な参考文献に目を通して、多様な視点から思想内容を理解するように努めてください。テキストの内容をまとめることだけでなく、自分なりの考えを組み立てるように努力してください。

L30400 日本政治史

瀧川 修吾

アドバイス

まずは目次を縦覧してみましょう。本学の日本政治史のテキストは、章の中に2、3の節があり、さらにその中に幾つかの項が設けてあります。場所によって項の数は異なりますが、[1]…[6]と表記されているものがそうです。学修の方法は人それぞれですが、各項で主題とされているテーマを意識しつつ、重要なキーワードを簡単な説明と共にノートに書き出すなどしながら、整理をしておくといいでしょう。

年表を用いて事件等が大きな歴史の流れに占める位置を俯瞰したり、日本史辞典等を用いて特定のキーワードにつき、深く調べてみるのも面白い筈です。「自分が歴史上の人物〇〇であったとしたら、どうしたか…」、「あの時、あんな失敗やこんな偶然がなかったら…」といった、いわば身近な視点で歴史との対話を楽しんでみて下さい。強いて覚える苦役からは解放されるはずですよ。

当科目の科目修得試験では、原則、年月日の暗記までは要望されませんが、事件や出来事等の前後関係、因果関係はしっかり把握しておいて下さい。そして、答案作成にあたっては、事件等の概要を要領よく纏めるだけでなく、必ず「私見」を、概要とは別して述べるように心がけて下さい（難しい場合は学んだ感想でも構いません）。

L30500 西洋政治史
杉本 稔

次の手順に従って学習を進めて下さい。

- ① ノートを探りながらテキストを熟読する
 - ② 各章末にある「知識を確認しよう」の問いに解答する。
 - ③ 十分な解答が得られなかった場合には、再度、テキストで確認する。
- 上記の①～③のサイクルを繰り返すことで、試験対策は万全となるはずですよ。

L30600 東洋政治史
松村 修一

細かい内容や年号などを覚えるのではなく、政治史においては、全体的な流れを把握し、事件や出来事、現象の因果関係を理解してください。

政治制度や政治過程においては、中国の場合は社会主義と共産党独裁との関連、韓国の場合は軍部独裁と民主化との関連を中心に特徴などを理解してください。

そして、最後に各章末にある「研究課題」に取り組んでおくことよいでしょう。

L30700 外交史
信夫 隆司

外交史を学ぶ上で、物事が（What）、いつ（When）、どこで（Where）、だれによって（Who）、どのように（How）、なぜ（Why）起ったのかをつねに確認することが重要である。まったく同じ出来事が二度起ることはない。ただ、似たような出来事は起りうる。そこから、歴史の教訓なりが得られるだろう。

また、通史だけではなく、関心を持ったテーマについて、自ら勉学を進めることが重要である。幸い、個別の外交史のテーマについて、新書の類も数多く出版されている。これらを読みながら、ぜひ、理解を深めていただきたい。

L30800 地方自治論
外山 公美

「地方自治論」の科目修得試験の受験に際しては、まず、テキストを熟読し、各章末（Ⅰ章＝62～63ページ、Ⅱ章＝124～125ページ、Ⅲ章＝182～184ページ、Ⅳ章＝238～239ページ）に示されている「学習指導要領」を参考に各章の目的について正確に理解してください。

その上で同じく各章末の【演習問題と学習のポイント】に掲げられている設問について、テキスト及び【学習のための参考文献】に示された文献や資料などを活用して、各設問についてレポート用紙1～2枚程度にまとめ、準備しておくことよいでしょう。

また、最近の動向については、マスメディアの報道はもちろんのこと総務省や各地方公共団体（都道府県や市区町村）のホームページなどでチェックしてください。地方自治に関する諸問題は常に生成され展開していますので、科目修得試験においても最近の動向に言及することについては高く評価します。

M20100 国文学基礎講義（新教材）
近藤 健史

本教材は上代から近世までの、散文と韻文の主な作品を取りあげているものである。

そこで「各章のポイント」を読み、まず教材の内容を理解することが重要である。また、本教材は、目次が細分化されているのが特徴であり、その目次の項目をポイントとして各章を読むことが大切である。さらに、「知識を確認しよう」も大切である。各自、問題を解いて学修の成果を確認しておいてほしい。

M20100 国文学基礎講義（旧教材）
近藤 健史

基本的には、「古典と近代」とあるように、古典作品と近代の作品とを比較して相違点を明らかにして

おくことが重要である。特に主人公や登場人物の描かれ方や変化などに注意すべきである。また、作品の特徴や作者の作風など解説部分も把握しておくことも大切である。

古典作品は、一度注釈書などを読んで内容を理解しておいて欲しい。

M20200 国文学概論

藤平 泉

4回ある試験は、広い範囲ですが、第1回から第4回まで教科書にそって出題しますので、第一分冊から第四分冊へと順に準備を進めると良いでしょう。(追再試験は、全範囲になります)教科書には、具体的な作品の引用が少ないので、教科書に上がっている文学作品については、近くの図書館や、インターネットなどを利用してできるだけ目を通してください。またその解説なども読んでおくとう良いでしょう。むずかしい用語なども、辞書やインターネットで調べてみてください。

M20300 国語学概論

荻野 綱男

本テキストは国語学(日本語学)の全般がカバーできるように、章に分け概観している。

特に、日本語学とは・音声と音韻、語彙・意味、文法・文章と文体、文字と表記・敬語・方言と共通語は、基礎分野なので十分に把握し、それ以外の章で後ろ盾を得て欲しい。

その先の勉強を望むならば、各章末尾の【参考文献】を手がかりとして専門書や論文を読み進めるのがよいであろう。

M30100 国文学史 I

近藤 健史

基本的には、作品成立事情や基盤、内容、特色、作者の特徴などを知っておくことが大切である。

また、文学史ということから、作品の発生と展開、例えば日記の分野での、発生の基盤や原因、その後の作品への影響、つまり後に続く各時代の作品を系統づけて見ておくことも重要である。さらに付け加えるならば、各時代の代表作者、作品の特徴などを解説した「注」の部分も考えておいて欲しい。

M30200 国文学史 II

高 榮蘭

テキストでは近世、近代の部分がⅡにあたります。

まずその歴史的背景を年表で押さえた上で文学の系統について流れを把握し、実際の作家や作品がどこに位置するのかを確認するようにしてください。さらにその作品がどのように分類され、意味づけられているのかを理解するようにして下さい。また代表的な作家と作品を結びつけ、その時代の社会状況や言語空間の中で説明できるようにして下さい。

用語については文学事典などを調べ理解を深めるようにして下さい。

M30300 国 文 法

杉山 俊一郎

テキストでよく学習すること。

本テキストは統語論としての文法を扱っているため、高等学校までの文法知識を高等学校時の教科書などで再確認しておくのがよい。高等学校までの品詞論としての展開とは全く異なる点で違和感を覚えるかもしれないが、例文が豊富で平易な説明がなされ、例題も適切であるから、十分に活用して、万全を期して欲しい。

M30400 国語学講義

杉山 俊一郎

本科目は国語史を大きく3つに分けており、付録として資料編が添えられている。しかし、資料名など細かな点を覚えても国語史の流れは把握できないので、307ページまでを重点的に勉強して欲しい。本科目のねらいは次のとおりである。

ポイント 1. 国語史概要と奈良時代までの国語が把握できていること。

ポイント 2. 平安時代以降の特徴が捉えられていること。

ポイント 3. 院政鎌倉時代の特徴が捉えられていること。

ポイント 4. 国語史の主要術語について答えられるようになっていること。

M30500 国文学講義 I (上代)

近藤 健史

第一分冊では、古事記、日本書紀の歌謡、いわゆる記紀歌謡の表現技法を中心に述べている。ここでは、記紀歌謡の修辞法だけでなく、記紀歌謡の概説、内容などについても学んでおく必要がある。脚注の口

語訳の利用も忘れずに。

第二分冊では、万葉の相聞歌の表現様式について述べている。ここでは相聞の名義、三種類の表現様式やその効果などを学んでおくべきである。

第三分冊も万葉集についてであるが羈旅歌、いわゆる旅の歌についてである。ここでは、旅の歌の在り方や内容的に分類した旅の歌の内容や表現の特徴などを学ぶべきである。そのときは歌の大まかな口語訳も必要であろう。

第四分冊は、上代文学における農耕説話の意義、類型について述べている。具体的な農耕説話について一読しておくことが大切である。

M30700 国文学講義Ⅲ (中世)

阿部 好臣

とにかく、テキストを熟読するところから始まります。テキスト、特に大判の方は、かなり古いものではありませんが、文学研究の基本となる用件をしっかりと保持していて、今日でも十分にその価値を失ってはいません。ただし、研究は、ある意味では進歩してはいます。その新たな情報は、補わなくてはなりません。その情報は、例えば国文学研究資料館のホームページなどを手掛かりにして得ることが出来ます。それから、何よりも、文学研究は、その作品が命です。作品を読まなくては何もいえませんし、本当に面白いのは、作品それ自体なのです。ですから、たとえ頁をめくるだけでも作品と対面して下さい。今は、良いテキストに恵まれている時代です。例えば、『新編日本古典文学全集』小学館、『新日本古典文学大系』岩波書店、などがあります。また、指定したテキストの『源氏物語の世界』は、作品世界のダイジェスト的なもので、概観を知るのに適切です。そして、それから原文に進むことも忘れないでください。

M30800 国文学講義Ⅳ (近世)

竹下 義人

教科書の内容を十分に理解することが肝心です。概説とともに引用紹介される原文は、作品の一部分に過ぎませんが、必ず精読するようにしてください。各作品の全文は、『日本古典文学全集』『新編日本古典文学全集』(小学館)、『日本古典文学大系』『新日本古典文学大系』(岩波書店)、『新潮古典集成』(新潮社)などに収録されています。注も備わっているため、それらを参考に、解釈・鑑賞上の問題点や疑問点などをまとめてみましょう。書くことによって理解は深まっていくはずですが、全集・大系本はどこの図書館でも所蔵していると思いますが、未収録の作品を調べたい、主要な作家・作品に関する研究史を知りたい、という場合は、『日本古典文学大辞典』(岩波書店)、『日本古典文学研究史大事典』(勉誠出版)、『新版近世文学研究事典』(おうふう)などを参照してください。

教科書の内容は広範かつ多岐にわたっていますが、各単元(第一～第四単位)の要点は章末に付いている「研究課題」と関連しています。学習の区切りがついたところで、それぞれの課題に対する答案を作成してみましょう。「研究課題」ゆえに、正解が一つとは限りません。むしろ諸説あるのが普通です。ぜひ挑戦してください。教科書の記述や参考文献などを活用しながら、咀嚼・理解したことを自分の言葉で表現できるようになれば、科目修得試験の準備は整ったことになります。

M30900 国文学講義Ⅴ (近代)

永岡 健右

国文学講義Ⅴ(近代)のテキストには学習指導書があり、その概略を説明しています。しかし、具体的な作家の作品については文庫本等で皆さんが実際に読むことを想定して記述されています。作品が書かれた時代背景や社会動向に留意して作者の目ざしたものであるいは作品の魅力がどこにあるのかを考える習慣を身につけるよう望みます。また、作家の文学傾向や特性、代表作、それにそれぞれの文芸思潮や結社等についても勉強してまとめるようにして下さい。

M31000 国文学講義Ⅵ (現代)

武内 佳代

テキストでは明治から昭和にかけて幅広く日本文学について概説がされています。その時代時代の歴史的背景を最後にある年表でおさえた上で、代表的な作家や作品を挙げて、その特徴や文学史上の評価・役割について整理をし、詳しく説明できるようにしてください。また、文芸思潮がどのように変化・推移していったかについても説明できるようにしてください。

テキストで取りあげられている作品内容については、実際に読んで深く理解することが望ましいです。

M31400 国語音声学

林 直樹

音声学は暗記科目、という思い込みがあるかもしれないが、それは違う。テキストに書かれた目新しい述語や記号を漠然と眺めていると、「暗記科目」という気持ちになってきてしまうのだろう。その思い

込みからの脱却が音声学に近づく第一歩である。

ここで、音声学に対する見方を変えてみよう。まず、わたしたちが口頭で言語をやりとりするときには必ず、「音声言語」を用いているのだ、ということを出してほしい。多くの人が普段の生活の中で無意識にやり過ごしている音声言語活動を意識的に捉え直す、それが音声学である。注意深く自分自身や身近な誰かの発音を観察する新しい「ものの見方」の獲得である。

つまり、テキストを単に眺めるということから脱却し、テキストで挙げられている具体例ひとつひとつを自分自身で発音してみることが、音声学理解の近道である。記号類もまとめてみると、新しい記号とその組み合わせを山ほど覚えなければいけないような気持ちになるが、落ち着いてよく見直せば、アルファベットと同じ記号や、日本語のローマ字表記と同じ組み合わせのも多くあるはずだ。全くの見知らぬ記号は、ごく少数であるはずである。以下のようなことを心がけてみよう。

- ① テキストの具体例を、ふつうの声の大きさに実際に発音し、口の構えを実感する
- ② 記号はただ眺めずに、その記号がどの仮名相当の記号が常に意識して当てはめつつ、ふつうの声の大きさに発音しながら、ノートに書き写して確認する
- ③ 抽象的な内容も具体例がある。具体例を自分でふつうの声の大きさに発音することによって体で理解する

履修者の多くが第一言語、または第一言語並の運用能力をもつ日本語のことである。恥ずかしがらず、また恐れずに「頭」「口」「手」を使いながら学習をすることを薦めたい。

テキストには、具体例が豊富に挙げられている。「頭（理解・聴解）」「口（発音）」「手（ノート作成）」を使いながら学習を進めるように構成されている。テキスト巻末の参考文献にあげられている教科書類では音源付きのものもある。それらを聞くことも理解の助けになるだろう。その際、やはりただ「聞く」のではなく、自分で発音してみることも大切である。

以下では、テキスト巻末に掲載されていない文献ならびにサイト URL を示す。講座ものはテキストをより深く理解するためにとくに薦める。

鹿島央 2004 『日本語教育をめざす人のための基礎から学ぶ音声学』（スリーエーネットワーク）

上野善道編 2003 『朝倉日本語講座 3 音声・音韻』（朝倉書店）

窪園晴夫 1999 『現代言語学入門 2 日本語の音声』（岩波書店）

小松英雄 1981 『日本語の世界 7 日本語の音韻』（中央公論社）

杉藤美代子監修 1989 『講座日本語と日本語教育 2 日本語の音声・音韻 上・下』（明治書院）

田窪行則他 1998 『言語の科学 2 音声』（岩波書店）

ジェフリー・K・ブラム／ウィリアム・A・ラデュサー 『世界音声記号辞典』（三省堂）

松森晶子他 2012 『日本語アクセント入門』（三省堂）

The International Phonetic Association サイト URL http://www.internationalphoneticassociation.org/redirected_home

M31500 漢文学 I

本間 直人

まず、テキスト全体を概観し、書かれている内容を把握する必要があります。次に、漢文の基礎について、テキストの記述に沿って学習して下さい。続いて、実際の漢文に当たって理解を深めるわけですが、そこで留意すべきは、常に問題意識を持ちながら読むということです。テキストを精読し、科目修得試験の受験条件であるレポート作成に真剣に取り組むことも、その一環であり、漢文の実力養成には不可欠と言えます。

M31600 漢文学 II

本間 直人

まず、テキスト全体を概観し、書かれている内容を把握して下さい。次に、テキストの精読へと進むわけですが、そこで留意すべきは、常に問題意識を持ちながら読むということです。科目修得試験の受験条件であるレポート作成に真剣に取り組むことも、その一環と言えますし、当然、その中で、テキスト所載の「参考文献」に当たる必要も出てくることでしょう。

テキスト中の詩文と典籍についての解説を熟読し、「語釈」等については、是非、積極的に漢和辞典を引いて確認して下さい。又、白文の訓読、口語訳にも力を入れて学習を進めて下さい。

M31900 文章表現法

近藤 健史

基本的にはテキストをよく読むことが大切である。そのときの、キーワードとして、機能、留意点、注意点、原則、基準、特徴、効果などがあり、「次のようになる」などと箇条書きにしてあるところに注意すべきであろう。さらに、「ことば」の機能、「書きことば」「話しことば」、「漢字」「平仮名」などの基本的なことも学んでおいて欲しい。なお、各単元にある「演習」にも目を通しておくことを忘れずに。

N20100 イギリス文学史 I

山下 登子

テキストの前半部は Anglo-Saxon England の文学から第十八世紀の文学までの文学史の講義となっています。いわば講義録ですから、テキストを読むことは授業を受講していることと同じとみなし、各章毎に要点をノートにまとめながら、時代背景、各作家、各作品などについて理解するとよいでしょう。各章における年代、時代背景、各作家と各作品、そして各作品の概要を覚え、説明できるようにして下さい。その際、作家と作品の名前は英語で書けるようにして下さい。また、例えば、Moralityplay のような専門用語にも注意して下さい。わからないところ、くわしく知りたい所は『英米文学辞典』（研究社）、『イギリス文学史』（斉藤勇、研究社）など各種研究書を用いて調べ、テキストの内容を各自で補いながら理解を深めるようにして下さい。

テキストの後半部はアンソロジーとなっています。英文学研究の要は何とんでも作品を精読することにあります（翻訳を読んで済ますのではなく）。注釈を大いに参考にして各作品（ほとんどがその抜粋ですが）を精読して下さい。少なくとも、各作品の引用を読んで、作品名とその作品を書いた作家名は原名で答えられるようにしておきましょう。

いずれの回にいずれの部分から出題されてもよいように、毎回必ずテキスト全体を学習した上で試験に臨む姿勢が必要です。

N20200 英文法

一條 祐哉

教科書を少なくとも2回は通読すること。まずは目次を見て、学習する文法事項を概観する。

1回目の通読では、例文を活用しながら各文法事項の概念や用法などを理解することに努める。初めて知ったことや読んでも理解できなかったところはマークをしておいて、後で読み返せるようにしておく。各セクション最後の「忘れないで下さい！」コーナーを読み、そのセクションで学んだことを確認する。そこに記載されていることで、分からない項目があれば、該当する箇所の説明に戻って読み直す。ただし、丁寧に読みすぎて途中で挫折しないこと。1回目の通読では、分からないところはとりあえずマークをしておいてどんどん読み進め、最後まで読み通すことを目指す。

ひと通り読み終えたら、マークしておいたところを重点的に、2回目の通読をする。併せて自分なりの言葉で、かつ中学生・高校生でも分かるような言葉で文法項目（概念、種類、用法など）についてノートにまとめる。また品詞横断的に、例えば、名詞相当語、形容詞相当語ごとにまとめてみるのもいい。その際、例文（教科書以外の簡単な例文でもよい）も併せて書くこと。この段階でもまだ分からないところがあり、教科書だけでは解決できない場合は、文法書等で確認すること。また基本的な文法用語の英語も確認しておくこと（subject, noun など）。

最終的には、各文法事項の概念や用法について、例文を用いながら、分かりやすく説明できるようにしておくこと。

N20300 英米文学概説

山本 由布子

テキストでは、第1章「文学と言語」、第2章「文学と社会」、第3章「詩」、第4章「小説」、第5章「演劇」が論じられている。それぞれに具体的な例が豊富に挙げられ、英語を母国語としない学生にとって、優れた英米文学入門書となっている。入門書と言っても、そこで平易に語られている言葉・文学・社会などの問題点はいずれも奥が深く、今後の学習・研究の大きな助けとなるものばかりである。それぞれの章は、例えば詩なら、比喩的用法、リズム、形式、雰囲気、というように、幾つかのテーマに分かれて説明されているので、テーマごとに理解していくことが大切である。

試験では、各章の内容をどの程度理解しているか、主として英文を読み、それに問いを加える形式で出題する。それぞれの章の重要な箇所を英文でしっかりと読んでおくことが求められる。

N30100 イギリス文学史 II

山下 登子

イギリス文学史 II の科目修得試験の準備は、他の科目と同様、テキストをどこまで理解・把握しているかにかかっている。テキスト後半のアンソロジーの部分は、それまでの概論を具体的に理解するためにぜひ目を通しておきたい。第1回から第4回の重点的学習範囲は、テキストの各時代に相応するから、あらかじめ当該箇所をよく読んで、試験に臨んでもらいたい。具体的には以下のような準備をしてほしい。なお、固有名詞はすべて英語を用いるよう指示しているので、日ごろから作者名、作品名を英語で書けるようにしておくことが必須である。

〔ロマン主義の時代〕

テキスト本文に引用されたロマン派詩人の作品の一部をよく読み、作者名と作品名を確認すること。なお、代表的なロマン派詩人の解説の把握と、ロマン主義復興という現象の意味も考えてほしい。

〔ヴィクトリア朝時代〕

ヴィクトリア朝を代表する思想家と小説家について、その名前と代表作を確認すること。また、彼らが時代に対してどのような批判をしたかについても、テキストから把握しておくこと。この時代がイギリスの歴史の中でどのような意味を持ったかを、考えることが重要である。

〔世紀末から第一次世界大戦まで〕

19世紀末から第一次世界大戦にいたる代表的な作者と作品を、テキストの記述にしたがって把握してほしい。

〔第一次世界大戦から現代まで〕

第一次世界大戦から現代にいたる代表的な作者と作品を、テキストの記述にしたがって把握してほしい。とりわけ、ウルフ、ジョイス、ロレンスの3人については、十分にテキストの解説を読んでおくようにしたい。また、この時代を代表する詩人についても、代表作とともに確認すること。

N30200 アメリカ文学史

北原 安治

「学習指導書」の手順に従い学習し、テキスト各章の要点をまとめてください。自らがまとめたノートに言及されたアメリカの主要作家・詩人・批評家・戯曲家・思想家の代表的作品・著作に自らができるだけ多く直接触れておくようにしてください。またテキストの Glossary of Literary terms で述べられているような「用語」「語句」を、それらが用いられる箇所の作家・作品を例にとって定義ないし説明できるようにしておいてください。

テキスト各章の冒頭は、各時代の思潮があるいは社会状況が簡潔に言及されるだけでなく、具体的作家・作品導入として要領よくまとめられています。時代および社会性という視座から作家・作品を考えてみることも大切でしょう。

N30300 英語史

真野 一雄

過去の問題を検討してみましょう。問題にされているところが、いつ、どのようになっているでしょうか。よく問題とされているところを参考に、以下の部分をよく学習してください。

第Ⅰ章 インド・ヨーロッパ語族／祖語、ゲルマン語派、アングロ・サクソン族の渡来、英語の時代区分、ノルマン人の征服とその影響、英語の復活、ME から ModE への移り変わり、ModE 期の借用語（※ノルマン人の征服に関してはテキスト本文には説明がありませんが、それは英国人には常識だからです。私達日本人はその出来事がいつ（何年に）、誰が、何をしたか〔テキストの注参照〕、そして、言語的にどうなったか、その影響を知っておく必要があります。）

第Ⅱ章 アプラウト、グリムの法則（特に(2)(3)の変化）、ウムラウト、大母音推移、ModE 期の二重子音

第Ⅳ章 名詞の（不規則）複数形、二人称代名詞、強変化動詞、弱変化動詞、特別動詞

第Ⅴ章 属格（群属格）、It is me、関係代名詞、非人称動詞、未来の表し方、do の用法、接続法、不定詞

過去の現象・出来事でも現代にその影響・結果が残っているもの、そしてそれがよく用いられるものであれば、重要なものと言えるでしょう。それらを知っていれば英語という言語についての知識が豊かになり、試験だけでなく、実生活においても「役に立つ英語史」とすることができるようでしょう。

それらの現象・出来事が的確に説明できるように、テキストの英文をしっかりと読み、キーワード・キーワードを正確に捉えておきましょう。また、語例・文例がある場合には、その代表的な語例・文例をも正しく覚えておきましょう。例を知っていなければ役に立ちません。

今年度はテキストの英文に記されていることをまとめる問題4問です（和訳ではありません）。何がポイントとなるのかをよく見極め、そこを重点的に述べてください。些細なことは言及する必要ありません。

参照物持込は全て不可です。

N30400 英作文 I

ダレル・ハーディ

“English Composition 1” focuses on writing at the sentence level with an emphasis on sentence formation and the use of idioms. The textbook is basically divided into two parts. First, there is a focus on style, especially in regard to ways to begin a sentence using a variety of subject forms. Next, there is a focus on idioms which are commonly used in English writing. The textbook provides an explanation in Japanese for each language point and idiom along with a model sentence in English followed by a Japanese translation.

Students are expected to have read through the textbook and be familiar with the various sentence formations and idioms. The test will focus on the idioms presented in the textbook

and students will be given a list of ten idioms and are expected to write one sentence in English for each idiom.

Make sure to carefully study the idioms in the textbook and do the practice activities. It is also recommended that students investigate further into the usage of the idioms by looking at further examples in a good dictionary or do a search on the internet.

N30500 英作文Ⅱ

ダレル・ハーディ

“English Composition 2” continues from “English Composition 1” with the study of some common idioms found in English writing. The textbook then introduces paragraph writing followed by the concept of a five paragraph essay.

Students are expected to have read through and have a good understanding of the concepts introduced in the textbook. Students should be able to write a concise paragraph and understand the organization of a standard five paragraph essay in English.

Students are required to write a five paragraph essay for the test. You will be given two general themes to choose from in order to decide on a topic and compose your essay. Your essay should have a title, an introduction with a clear thesis statement (paragraph 1) ; body paragraphs which should support your thesis (paragraph 2-4), and a conclusion (paragraph 5).

The style of writing should be formal. Avoid using slang and writing in the first person (“I”). Also, do not write extensively about yourself or your personal experience even if it relates to the topic.

N30600 英語音声学

森 晴代

英語音声学の学習目標は2つあります。それらは、「英語の音声・音韻体系の主要な特徴を理解すること」と「英語音声を自覚的に運用するための音声学的視点を身につけること」です。これら2つの目標を念頭において、計画的に学習を進めてください。

英語音声の特徴を2つに大別した上で学習を進めましょう。ひとつは分節的特徴で、母音や子音と呼ばれる個々の音を対象とします。もうひとつは、超分節的特徴（プロソディ）で、音の連続、強勢アクセント、イントネーション、話しことばにおける発音の変化を対象とします。テキストでは、日本語音声の解説が随所にありますから、身近なところから観察を始めて、英語音声の理解に結び付けてください。

話しことばとしての英語の様々な特徴を学ぶことは、英語の発音習慣を身につけるという側面もあります。テキストに付属するCDを利用して、実際の音声を必ず確認し、様々な発音練習と聴き取りの問題に取り組んでください。CDをジッと聞いているだけでは、英語音声を体験することはできません。皆さん自身がモデル・スピーカーの発音を再現することを目標に、ひとつひとつ注意深く観察しながら、大きな声で発音練習をしてみましょう。また、「テキストの音声表記と実際の音声との対応」や「スペリングと音声との対応」についても理解を深めてください。

皆さん自身の英語発音を注意深く観察してみましょう。例えば、次のような事柄について考えてみてください。日常的に使われている外来語は、英語ではどのように発音するのでしょうか。英語らしいリズムやイントネーションには、どのような特徴があるのでしょうか。「しっかり／ハッキリと発音している」などの印象は、音声学・音韻論の観点から、どのように特徴づけることができるのでしょうか。皆さん自身の英語発音をじっくり内省・観察して、何らかの感想を持ち、それを音声学の言葉で表現（説明）することは、音声学の学習にとっても、英語音声を自覚的に運用するためにも大切です。

参考文献はテキスト末に解説付きで紹介されています。ここではそこに紹介されていない文献を挙げます。

【国際音声学協会ホームページ】 <http://www.langsci.ucl.ac.uk/ipa/>

【英語発音辞典】

Roach, Peter, James Hartman, and Jane Setter. (eds.) (2003) English Pronouncing Dictionary. 16th Edition. Cambridge : Cambridge University Press. (CD 付)

Wells, John. (2008) Longman Pronunciation Dictionary. 3rd Edition. Harlow: Pearson Education Ltd.

N30700 英語学概説

田中 竹史

1. はじめに

地球上に存在する約874万種の生物のうち、唯一ヒトのみがことばを使用することが可能であり、ことばはヒトという生物種を際立って特徴づけています。たとえ進化の隣人であるチンパンジーのように、学習能力が高く様々な点でヒトに比肩しうる認知能力を持つ生物種でも、音声言語であれ手話言語であれ言語を身につけることはできませんし、どんなに優れたコンピュータであっても自然言語を理解することはできません。

指定教材の安藤・澤田(2001:1)でも触れられているように、言語学・英語学は、認知科学の一分野として、生物学、医学、心理学、文化人類学、コンピュータ科学、など他の様々な研究分野と密接に関わり合いながら、古くからの疑問である「なぜヒトのみがことばを使用できるのか」という問いに解答を与えつつ、「人間はどんな存在であるのか」という人間の性質について理解することを目指しています。

2. 問題について

科目修得試験の英語学概説では、どの英語学の入門書でも必ず中心的に扱われているような内容(つまり、ことばという他の生物種には見られない特殊な知識体系に内在する基本的な性質)が主に問われます。したがって、特定の研究者の分析の詳細や、ある構文の微妙な意味差や文法的振る舞いあるいは語法の説明、ということよりも言語学・英語学の分野で一般的で広く受け入れられている諸概念の理解度を重視したものとなります。

出題形式は、主として用語説明と論述から構成されています。用語の説明は、指定教材の太字部分が主な対象となります。解答に際しては、必ず対応する言語事実・具体例を挙げ説明することが求められますので内容の十分な理解が必要です。論述問題も用語説明と同様、指定教材で扱われている内容が主な題材となります。英語学においては、「なぜそのような言語現象が存在するのか」、「なぜそのようであってそれ以外ではないのか」、「そこにはどのような仕組みが働いているのか」、などを考えることが重要です。したがって、問題の解答においても、言語事実に対してなぜそのようであってそれ以外ではないのかを説明(explain)しようとするのが求められます。単に英語を理解しているというだけでは満足に解答できず、ことばの分析で必要となる諸概念を理解しある程度使いこなせるようになっていなければなりません。

学習の基本は指定教材(主に4章から10章の音声学・音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論、情報構造、日英語の比較)を活用することですが、各々の必要に応じ関連する文献・資料を参照するなど積極的な姿勢で学習を進めることが肝要です。特に下記に示すような文献はより良い理解の一助となることでしょう。

- 安藤貞雄(2005)『現代英文法講義』開拓社
- 北川善久・上山あゆみ(2004)『生成文法の考え方』研究社
- 松沢哲郎(2011)『想像するちから チンパンジーが教えてくれた人間の心』岩波書店
- 中島平三(2011)『ファンダメンタル英語学 改訂版』ひつじ書房
- 中島平三(2005)『言語の事典』朝倉書店
- 中村捷・金子義明・菊池朗(2001)『生成文法の新展開』研究社
- 西光義弘(1999)『日英語対照による英語学概論 増補版』くろしお出版
- 大津由紀雄(2004)『探検!ことばの世界』ひつじ書房
- 大津由紀雄(2008)『ことばに魅せられて 対話編』ひつじ書房
- 湯川秀樹(1974/2014)『宇宙と人間七つのなぞ』筑摩書房/河出書房新社

3. おわりに

湯川秀樹(1974)『宇宙と人間七つのなぞ』では、人間にとって不思議であり答えを出すことがとりわけ難しく、それゆえ取り組む価値のある問題を「なぞ」と呼び、宇宙のなぞ、素粒子のなぞ、生命のなぞ、数と図形のなぞ、知覚のなぞ、感情のなぞ、などと共にヒトのことばが「ことばのなぞ」として取り上げられています。したがって、ことばの分析方法や英語の分析方法を理解することは、一見したところの簡単さとは異なり、物理学の考え方、分子生物学の考え方、数学の考え方などを理解するのと同様そう簡単なことではありませんし、ある種の敷居の高さもあります。それはその性質上仕方のないことであり、理解するためには相応の努力が必要となります。しかし、ことばの分析方法を身につけることにより、私達は古代から続くなぞを解く鍵を手にし“final answer”に向け一歩を踏み出すことができるのです。

N30900 スピーチコミュニケーション I

アレックス・ブラウン

“Effective Communication I” is a task-oriented program that will take you through a number of real-life situations that you may encounter on a daily basis.

The situations you will encounter such as “meeting people” and “going shopping” take

place in scenes that can easily be imagined. Therefore, it helps to have a good imagination so as to visualize yourself in each scene as you actively work through the text. Enjoy the journey as you develop your skills along the way.

1 ~ 44

It is important to take your time and not rush through the book. Before engaging in active communication, it is important to meet and engage effectively; even when simply saying "hello". Be sure to have a good command of this section before moving on.

45 ~ 93

After you successfully meet and engage in communication you will then visit a foreign country. It is important to have a solid understanding of each part in this section before you embark on your journey.

Testing

The test is related to the sections in your text. I will be looking to see that you have a good, sound understanding of the book.

Dictionaries, especially an English to English dictionary, will prove to be helpful as well as a vivid imagination.

N31000 スピーチコミュニケーションⅡ

アレックス・ブラウン

"Effective Communication II" is designed to improve your understanding of communicating in English. The text is made up of helpful fill-in sections that are designed to assist you with putting words and phrases together in order to express yourself effectively. It is important that you take the time to break down the parts in each unit and work through them fully before moving on to larger conversations.

1 ~ 49

You will be introduced to tasks in "requesting assistance" before moving on to experiencing ways to "control people's" speech. Be sure to have a good grasp of this section before moving on to the next.

50 ~ 109

In this, the second part of the text, you will work through "asking and giving opinions" "comparing things" and "using numerals". This section is a little more challenging than the previous section. Do take your time.

Testing

The test is related to the sections in your text. I will be looking to see that you have a good, sound understanding of the book.

Dictionaries, especially an English to English dictionary, will prove to be helpful as well as a vivid imagination.

N31200 英米文学特殊講義

角田 裕子

まず、テキストの要点をメモしながら熟読することが大切である。次に各テキストの「学習指導書」で言及される問題点の検討が必要になる。そして、各編で取り上げられる作家・作品について、編著者の解釈を理解した上で、自らの作品解釈ができるようにしておくべきである。また、原文の引用を読むようにすることも重要となる。

なお、科目修得試験の受験条件であるレポート作成に全力で取り組むべきである。

N31200 英米文学特殊講義

當麻 一太郎

テキストで扱っている作品を読み、テキストが伝えようとしていることを把握することです。テキストの「学習指導書」および本文を何度も読んでください。さらに、原文の引用は、作品批評の上で重要な意味をもつので、撞着語法やコントラスト、直喩や比喩などのレトリックを含め片言隻語まで軽視しないように努める必要があります。

なお、レポートのために示された参考文献も読み、科目修得試験の受験条件であるレポート作成は全力で取り組むように心掛けてください。

N31200 英米文学特殊講義

北原 安治

テキストの要点をメモしながら熟読することがまず大切です。テキスト各編に付された「学習指導書」

の手引きで言及される事項、問題点等を検討することが、次に大切な点です。また何よりも大切なのは、各編で取り上げられる作家・作品に自らが直接接し、編著者の解釈視座を理解した上で、自らの作品解釈ができるようにしておくことです。テキストの中で引用される原文もしっかり読めるようにしておいてください。

N31300 放送英語

石黒 恭代

テレビでもラジオでも、毎日、放送英語ニュースを聴取し、世界各地で発生していることに大いに関心をもつよう心掛けることが大切である。放送英語の特徴の理論については、テキストの1～25ページに news script writing に関するを中心に、また137～154ページには news announcing の技術に関する事項がそれぞれ解説してある。

テキストにあるニュースは up-to-date なものではないが基本となる放送文体を学習するために選ばれたものであり、反復学習によって基本文体に慣れていただきたい。また、試験の際には、英語ニュースを日本語の放送ニュース文体で訳出することが求められるので日本語の口語表現にも日頃から注意して研究することが大切である。さらに日常生活の中で BBC, ABC, CNN などにより、できる限り up to-date な英語ニュースに接するよう努めることが肝要である。巻末の学習指導書 GUIDANCE FOR BROADCAST も活用して研究していただきたい。

N31400 新聞英語

桑山 啓子

新聞記事とはニュースを迅速かつ正確に、また簡潔かつ具体的に伝えるため、独特の文体、語法や構成をとっている。したがって、多用される分詞構文・無視される時制の一致というような個性的な英文を通して、記事の概要を的確に捉える訓練をしておくことが望ましい。パラグラフは、情報の重要度の高いものから、重要度の低いものへと展開する逆ピラミッド構造をとる。無論、全ての要素が含まれない場合もあるが、Leadの部分に5W1Hが含まれるのが基本である。英字新聞を読み始めるにあたっては、まず Headline と Lead のみに目を通して記事の概略を把握する練習を積むとよいであろう。また、Headline は、記事内容全般を網羅的に把握でき、かつ短くて効果的そしてインパクトのある表現にするため、省略のルール・時制のルールや特有の語彙といった様々な工夫がなされている。これらの予備知識をふまえ、報道ジャーナリストになったつもりで、「如何に読者の興味を喚起する Headline をつけるか」「読者の関心を引き寄せるためにはどのようなストーリーを展開させるべきか」を吟味することが重要である。このような視点から日常的により多くの記事に触れる訓練を重ねることで試験に備えてもらいたい。記事の構成要素や Headline の特徴に関しては、特にテキスト巻末の「学習指導書」を熟読することが不可欠な学習となろう。尚、当然のことであるが、科目修得試験の受験条件であるレポート作成は全力で取り組むよう心掛けるべきである。

[参考文献]

『英字新聞がよく使う表現』森浩二(1998年 創元社)

『英字新聞の読み方』村田聖明(1982年 ジャパンタイムズ)

『英字新聞を読む』清水義次(1999年 丸善ライブラリー)

N31500 英米事情 I

茂木 健幸

試験は教科書の内容について答える論述問題です。よって、教科書の熟読が最低限必須となります。教科書では、アメリカを時代によって区分し、その時代の特徴を論じています。それぞれの章で、どんなことが書かれているのか、特に重要だと思われるトピックについてまとめておくと良いでしょう。

N31600 英米事情 II (新教材)

小山 誠子

本科目は一定の「イギリス(英国)」理解を目標とします。出題範囲は 'Going Further' 以外のテキスト全般 (Part1～3の本文、'Structure Practice' 及び 'Listening Challenge') とします。'Listening Challenge' の空所については『学修指導書』を参照してください。全般に関して英文を単に日本語に変換(逐語訳)するだけでなく、抽象的な事柄については理解を確認するために説明/言い換えを求めます。'Reading Comprehension' についても解答の根拠を本文から参照し、'Structure Practice' については文脈から判断して各自で解答をしておいてください。加えて、言及されている事項(人物や固有の出来事など)についても理解の確認を求めますので、他の文献等にもあたり、(5W1Hを意識した)一定の説明が出来るよう情報整理に努めてください。

N31600 英米事情Ⅱ (旧教材)

小山 誠子

和訳の問題に関しては、構文に忠実な正確な和訳となっていること、加えて内容の理解が確認されることにより得点となります。また、紹介されている事柄や人物についても、具体的に情報を整理し、説明できるようまとめておいてください。

N31700 異文化間コミュニケーション概論

岡田 善明

テキストを精読し、わからない単語や熟語はきちんと辞書で調べて内容をしっかりと理解するよう努力しましょう。テキストを読む際には代名詞が何を指しているかを常に意識するようにしてください。各Partの各ChapterのExercisesを学習しておいて下さい。

また、テキストに書かれている日本の文化と北米の文化の様々な違いを理解した上で、自分が異文化の人々と接する場合、コミュニケーションにおいて比較文化がどのように役立つかを考えておいてください。

P20100 哲学基礎講読

石井 友人

教科書所収のアルノー、ニコル共著『論理学、別名思考の技法』において、論理学は、どのような学問であるとされているのでしょうか。「前文」で著者たちは論理学を「理性をよく導くための技法」とであると定義しています。彼らの言う論理学は、論理規則のみに関わるものではなく、思考するとはどのような事であるのか、過ちはなぜ生じるのか、どうすればそこから抜け出せるのかについて、観念、言葉、人間の有り様、理性と信仰との関係、学的知識と蓋然的知識との区別などに着目しながら、考察を重ねていくものです。大部の著作であるので、いきなり全体を通読するのは大変かもしれません。その時には、デカルトからの影響あるいは差異が明らかな第一部「観念について」および第四部「方法について」に、まず目を通して見て下さい。デカルトとの関係を意識し、キーワードを取り出しながら読んでいけば、『論理学』の特色が明らかとなってくると思われます。付されている訳者の解説が手引きとなるでしょう。『論理学』は、多様な要素を含み、それ故、多様な方向からの理解が可能な著作です。各所が、どのような文脈や問題意識から書かれているのかを考えながら、読解を進めてみて下さい。デカルトの影響下に書かれた著作なので『精神指導の規則』や『方法序説』『省察』を傍らにおいて読むことで、いっそう理解が深まると思われます。

P20200 西洋思想史Ⅰ

嘉吉 純夫

いわゆるデータだけを丸暗記しても哲学や思想を理解したことにはなりません。試験で問われるのは、思想史の流れに即して、そこに登場する哲学・思想のそれぞれをどれだけ深く理解したか、さらには、それらの哲学・思想に対して、あなた自身が何を考え、どのような見解や見識を得るにいたったのか、なのです。そのためには、できる限り自ら実地に各々の哲学者・思想家の著作や資料にあたって考究するという姿勢が肝要です（原典を原語で読むのは不可能だとしても、今は良質な翻訳が次々と刊行されており、そのうちの重要なものは各社文庫・新書に収められています）。配本テキストの記述・解説は、言わば旅行の際に携える地図やガイドブックにあたるものであって、自力で踏査することなしには、すなわち「哲学者や思想家の著作を読んで彼らといっしょに考える」という体験なしには、ほんとうの意味で旅をしたことにはならないのです。大切なのは、配本テキストの記述を読んで、個々の哲学者・思想家の問題意識や内的世界（世界観、人生観、価値観等）に対する探求心をもつことなのです。

P20300 東洋思想史Ⅰ

本間 直人

まず、テキスト全体を概観し、書かれている内容を把握し、次に、テキストの精読へと進んで下さい。その際、留意すべきは、常に問題意識を持ちながら、各思想家の学説を考えていくということです。それぞれの思想の背景にあるものを探るといった視点を持つことも、その一例と言えます。

参考文献として、テキストの著者の『老荘の思想を読む』を読むことにより、老荘思想についての理解度が深まり、更には、中国思想全般への興味・関心が高まることでしょう。

P30100 宗教学基礎講読

小林 紀由

テキストは諸宗教がその歴史的展開の中で、変容をとげてきた様をつづっています。宗教といえども、不変なものではないし、歴史の流れと無縁で民族などの集団に固有なものなわけでもありません。私たちが現代世界に見るいまの宗教の姿として、現代の社会状況に適合してあります。

レポート課題がキリスト教と日本の宗教の近現代における変化を理解することに置かれているのも、

そのような宗教の歴史の変遷の姿を、とりわけいま私たちが見るものがどのように生まれてきたのかを理解して欲しいと思ったからです。

テキストを諸宗教の歴史の変遷を記すものとの視点に注意して学んでください。とりわけ、私たちがいま目にする、近現代の姿に注目して学んでいただきたいと思います。

P30200 倫理学基礎講読

関谷 雄磨

なによりもまず、指定テキストの三作品をじっくり読んで下さい。そして、テキストの流れに沿って対話の筋道をしっかりと把握してください。「書き手」であるプラトンは、これらの作品において一体どのような問題をわれわれに投げかけ、どのようなことを主張しようとしているのでしょうか。まずはそれを把握することが重要です。その際、この科目の「学習指導書」に挙げられている諸論点に留意して学習を進めるとよいでしょう。それらの中で、学修上特に重要なのは、『ソクラテスの弁明』については③と④の点、『クリトン』については②と③の点であり、『ゴルギアス』については(2)－③および④、(3)－①および③の点です。

また、最も重要なことは、それぞれの議論を自分自身の価値観・人生観に照らしてじっくりと考えることです。賛成できるのであれば、どのような点が賛成できるのか。納得できないのであれば、どのような点がどういう理由で納得できないのか。そういったことを自分自身でよく考え、それぞれの議論に対して自分なりの評価を与えられるようにしておくといよいでしょう。

なお、この科目は試験時の持ち込みは一切不可で、また出題範囲も示されないのので、上記の事柄についてあらかじめよく考えておかなければ試験で解答することはできません。その点に注意して下さい。

P30300 哲学概論

笠松 幸一

以下の諸点を念頭に入れつつテキストの理解に努めてください。

- (1) まず政治（フランス革命）と経済（フィジオクラット）に見出される自由の展開に着眼してください。次に近代哲学（デカルト、カント）における主観主義（主観の側から考えること）を理解すること。
- (2) デルタイの以下の言説を十分に理解すること、「生は合理以上のものである」「思惟（思考）は生の一機能にすぎない」（第四章・六、ハイデッガーと存在論を参照されたい）。以上を踏まえてハイデッガーの「現存在」を把握すること（第六章・二、マルチン・ハイデッガーも参照されたい）。
- (3) フォイエルバッハの思弁哲学および神学に対する批判は、とくに「依属の感情」とともに「神とは人間自身の本質である」に着目し理解すること。
- (4) ジェームズとデューイ、両者の真理論の違いを理解すること。

P30400 宗教学概論

合田 秀行

宗教学は19世紀に生まれた比較的新しい学問ですが、一応の体系をもっています。テキストは宗教学の全体像を代表的な体系だてにしたがって概説したものです。宗教学概論はこの体系の全体に対する広い知識を修得し、以後の宗教学の学習に備えるためのものですから、学習にあたっては各部分の全体とのつながりを意識して学んでください。

宗教学は特定宗教の研究と無縁ではありませんが、特定宗教の深い理解を目指すというよりは、類としての宗教、言い換えれば宗教一般の理解を目指す学問です。テキストでも個別の宗教に関する事例は当然記述されていますが、それでも仏教、キリスト教などと分けて記されているわけではありません。まずはテキストのはじめの部分（「宗教学の立場と分野」）から宗教学という学問の成立、特徴をよく理解してください。その上で、宗教一般に共通する諸要素、たとえば宗教思想の特徴とか、儀礼の類型とかいった課題が扱われますので、特定の宗教の個性を学ぼうとする姿勢ではなく、宗教一般を学ぶのだという意識をもって読んでください。

分厚いテキストではありませんが、全体を理解するのは大変な努力を要するものと思います。それでも、科目の目的を達成するには全体をまんべんなく学ぶほかにありません。繰り返し読んでみてください。

なお、下記の書籍はテキストとほぼ同様の体系に従って記されており、テキストのよりよい理解の助けになると思います。文庫で入手しやすいものですのでお勧めします。

脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）1997。

P30500 倫理学概論

嘉吉 純夫

読解に骨の折れる難解なテキストですが、「渋滞」にめげることなく、挫折を恐れず、各章・各節ごと、とにかく最後まで読み進めてください。その際大切なのは、叙述されている事柄や問題について、自分自身の体験や想像力を言わば総動員して自ら思索をめぐらせ、自分自身の生き方や倫理の問題として把握しておくことです。試験では必ずそこが問われます。

P30600 西洋思想史Ⅱ

瀧田 寧

テキストを手にとったら、まず目次を開いてみましょう。本テキストに登場する哲学者たちの名前が、次々に目に飛び込んできます。さて、それぞれの哲学者は、どのような個性の持ち主なのでしょう。哲学の長い歴史の中に、現在に至るまで名前を留めている以上、各哲学者には何か哲学史的意義があるはず。『いったいこの哲学者は、なぜ哲学史に名を留めているのだろうか』—まずはこのような問題意識を持って、本テキストを読み進めてはいかがでしょうか。そして、「これはぜひとも本人の言葉を知りたい!」と思ったら、すぐに原典（翻訳書でも可）に触れてみてください。そうすれば、哲学者の言葉がさらに身近に感じられ、そこで提起されている問題を自分なりに考えてみたくなるのではないのでしょうか。

哲学的思索は、こうして原典と対話あるいは格闘していくことを通じて成立するように思います。

P30700 東洋思想史Ⅱ

本間 直人

まず、テキスト全体を概観し、書かれている内容を把握し、次に、テキストの精読へと進んで下さい。その際、留意すべきは、常に問題意識を持ちながら、各思想家の学説を考えていくということです。それぞれの思想の背景にあるものを探るという視点を持つことも、その一例と言えます。

そのためにも、易哲学、老荘思想について十分に理解した上で、竹林の七賢や何晏・王弼の思想等について考える必要があります。テキストの【学習指導書及び参考文献】も一読し、『東洋思想史Ⅰ』、又テキストの著者の『老荘の思想を読む』等も座右に置きながら、学習を進めて下さい。

P30800 日本思想史Ⅰ

島田 健太郎

テキストの各章で扱われている論争を学習する際に、特に気をつけてほしいのは、以下の三点である。

- ① 論争の争点は何か。
- ② それぞれの立場の思想的相違はどこにあるか。
- ③ その論争が、どのような思想的影響を与えたか。

これらの要点を確認しながら、ノートにまとめていくとよい。

また、テキストに引用されている文献には、現代語訳が付いていないので、特に大事と思われる引用文などは、辞書などを参考にして、現代語訳を「書いて」おくようにすると、より上記の三点が見えやすくなると思われる。

試験の際には、単なるテキストの要約では解答にならない。十分に考えて自己の論点が設定され、それが自分の言葉で述べられているかどうかの評価の基準となるので注意してほしい。

P31000 哲学特殊講義

石井 友人

教材所収のアルノー著『真なる観念と偽なる観念』は、哲学史上有名な論争であるアルノー＝マルブランシュ論争の先駆けとなった重要な著作です。同著で批判されるのは、アルノーが、マルブランシュによる恩寵論の要諦と見なした、マルブランシュの、私たちは「全ての事物を神のうちに見る」というテーゼであり、テーゼを支える、知覚と観念の特異な定義です。

同書の読解にあたっては、両名による観念の定義の違い、マルブランシュによる観念の定義の変遷とその問題点、上記テーゼから彼が引き出した諸帰結への各批判点に注目して下さい。

とはいえ、実際に、はじめてテキストを読む際に受ける印象は、煩瑣で、同じ議論が繰り返されているというものではないかと思えます。読解にあたっては、解説論文も参照しながら、諸章を、トピックごとに、一まとまりにしていくといった作業を繰り返してみてください。例えば、テキスト後半（109頁以降）の諸章は、目次の上からだけでも、大雑把に3つに分けられることに気づくのではないのでしょうか。そうすれば、多くの論点の中でも、「無限な叡知的延長」をめぐる部分と、二十一章から最終章までを占める、マルブランシュの4つの認識方法をめぐる部分とが重要であると気づくはず。また各章も、やはり、いくつの論点で出来上がっているのかを考え、段落分けしながら読んでいくという作業を繰り返してみてください。最初は、細かい論点は置いておき、大きな枠組みをつかむことに集中してみてください。そうすることで、論点が整理され、単純化が可能になってくるはず。その上で、今度は、全体を通して、なぜアルノーが、マルブランシュの観念についてのテーゼを問題にしているのかを考えてみてください。やはり解説論文が手引きとなるでしょう。いずれにしろ、何が論争のポイントであるのか、そして、何故それが争点になるのかを意識しながら、テキストを読解してみてください。

尚、マルブランシュの『真理の探究』の当該部分の翻訳（「観念の本性について」）が、山田弘明『真理の形而上学』（世界思想社）に収められているので参照してみてください。

P31300 科学哲学

江川 晃

科学哲学は、人間の認識活動の全体を研究の対象としています。まずはじめは、哲学的な観点からどのようにして科学哲学にたどり着いたかを考えます。次に、現実の認識はどのようなシステムから成り立つのかということについて思索します。さらに認識の機構について現代科学的な観点から深く考察していきます。科学とともに生きる我々にとって、現代科学の精密な認識を哲学的に思索することは、科学に支配されるのではなく、むしろ科学を使いこなす英知を磨くことにより、人類の未来を開く糧になると思います。

教材は各章ごとに述べられている具体的なテーマがあります。このテーマがどのようにして展開して述べられているかを理解してください。テーマの結論は各章末に要約されていますので、必ず理解しておくようにしてください。

Q20100 日本史入門

八馬 朱代

本科目の目的は、自身の研究テーマをどのようにして発見し、それをさらに歴史研究へといかに高めていくかの方法を学ぶ事にある。

教材は、5章・15本の文章で構成されており、それぞれに内容を異にするが、共通する点は、各文章が全て「身近な体験」から始まり、それをいかに「歴史研究」へと発展させるかを論じている事である。

本科目受講生は、教材に収められた文章一編一編の内容を読む中で、常に、自身のテーマは何か、いかに研究するかを考えつつ学習を進めてもらいたい。

教材をよく読み、本科目のレポート課題、教材要綱にも必ず目を通し、教材中の不明語句や記述内容については読み飛ばさず、必ず辞書などを引いてその意味を確認しておく事。また、各文章の文末、欄外に紹介されている文献も可能な限り参照するのが望ましい。

Q20300 西洋史入門

藤井 信行

テキストは全6章ですが、それぞれの章でひとつのテーマを、つまり全部で6つのテーマを取り上げています。それが何か？ということを理解すれば、テキストを読んで理解することは6つだけということです。6つのうち4つがレポートの課題です。従って、とにかくテキストをよく読むことです。科目修得試験はその延長線上にあります。

Q20400 考古学入門

西野 吉論

まずはテキストをよく読むことが重要です。テキストを理解するためには、テキストに挙げられている参考文献を可能な限り読む必要があります。また、学習指導書はいくつかの項目を設けて、特に重要なポイントを指示しています。事典・辞書類やテキスト以外の入門書、概説書、遺跡についてわかりやすく書かれている文献（『シリーズ遺跡を学ぶ』など）を時間を作って読んでいくようにしましょう。

Q30100 史学概論

横山 則孝

このテキストの著書の石田幹之助・肥後和男の両先生とは、日本を代表するような歴史学者でした。したがってテキストの文章が少し古くて、表現が難しく、又めったにお目にかからない漢字が使われていて、とっつきにくい面がありますが、両先生の蘊蓄をかたむけた世界に入っていって損はありません。ただ読み進めていくには幾分準備が必要です。それは手許に優れた漢和辞典を置いておくことです。わからない字があったら必ず辞書にあたってみましょう。こうして読み進めていくうちに難しい文章も楽に読めるようになります。なにしろ歴史の研究は昔の人の残してくれた史料を読まないことにははじまらないのですから、このテキストで音（ね）をあげていたらとてもとても卒業論文作成までいきません。なかなか頁が進まなくて苛立つかもしれませんが、少し辛抱してください。読み終えた時は、さらに得るところの多い成果がまっています。

Q30200 日本史概説 / K32200 日本史概論

横山 則孝

テキストの「はじめに」で述べられているように、本書の特色のひとつは「最近の研究成果をできるだけ生かすこと」という執筆方針にあります。そのため日本歴史学界が戦後進めてきた多方面の研究成果が盛り込まれて、ごった煮の一見とっつきにくさも感じられます。しかしくり返し読むことによって、興味はつきない内容豊かな記述に気がつかれ、徐々に理解が深まっていくことでしょう。脚注が充実しているので、これを大いにたよりにして読み進めれば本文理解が容易になると思います。それでもなおとっつきにくさが残れば、高校の教科書の同内容の部分をあわせて読んでみてください。これ位の努力

は必要です。できれば手許に、岩波書店刊行の『日本史辞典』や角川出版社の『日本史辞典』（これは電子辞書の中に入っているものがある）を置いて必要に応じて引くこともいとわないでください。又図書館にでかけて、吉川弘文館の『国史大辞典』（全17冊）、平凡社の『日本史大事典』（全7冊）、小学館の『日本歴史大辞典』（全4冊）も時々はひもといってください。また系統だった知識を身につけたいとなったり、より詳細に内容が知りたくなったら311頁から316頁の参考文献を手にして読んでみてください。史学専攻の学生だったら卒業論文のテーマが見つかるかもしれません。

とにかく読み進めていくごとにどのくらい手をかけてみるかということ、成果が違ってくると思います。くれぐれも一度読んだらおしまいということにならないようにしてください。

Q30300 東洋史概説 / K32300 東洋史概論（新教材）

齋藤 史範

まず、第一に中国の歴史の流れを把握するように心がけて、学修することがなによりも求められます。特定の王朝や歴史的事件、制度といった個別な事項についてのみに限って学修するのではなく、歴史の展開ということに忘れないで下さい。

前近代史、中華文明の成立から清朝までは、歴代王朝の変遷をたどりながら、皇帝支配の成立からその推移、社会や国家の変容の意味するところを明確にするといいでしょう。

近現代史、アヘン戦争から中華人民共和国の成立、改革開放の時代では、どのような歴史的な展開があったのかを、歴史の流れの中で位置づけるようにするといいでしょう。

Q30300 東洋史概説 / K32300 東洋史概論（旧教材）

齋藤 史範

テキスト「魏晋南北朝と貴族制」をきちんと学んでください。この章は5節から構成されています。それぞれの節は、さらにいくつかの項目から成り立っています。学習に際しては、それぞれの項目についてきちんとまとめてください。項目の内容にもよりますが、おおむね100字・200字から400字程度にまとめるといいでしょう。そしてそれぞれの項目の内容を頭の中でめぐらしてください。次に節ごとの内容をイメージしてください。この作業を繰り返すことにより、この章の内容が把握できていくでしょう。あとはイメージする内容が確実なものになるように、時間と労力をかけてください。なお、学習に当たっては巻末の参考文献も使うと、より理解が深まります。是非、実行してみてください。

テキスト「宋元君主独裁国家の成立と地主佃戸制」をきちんと学んでください。この章は4節から構成されています。それぞれの節は、さらにいくつかの項目から成り立っています。学習に際しては、それぞれの項目についてきちんとまとめてください。項目の内容にもよりますが、おおむね100字・200字から400字程度にまとめるといいでしょう。そしてそれぞれの項目の内容を頭の中でめぐらしてください。次に節ごとの内容をイメージしてください。この作業を繰り返すことにより、この章の内容が把握できていくでしょう。あとはイメージする内容が確実なものになるように、時間と労力をかけてください。なお、学習に当たっては巻末の参考文献も使うと、より理解が深まります。是非、実行してみてください。

テキスト「東アジアの半植民地化」をきちんと学んでください。この章は6節から構成されています。それぞれの節は、さらにいくつかの項目から成り立っています。学習に際しては、それぞれの項目についてきちんとまとめてください。項目の内容にもよりますが、おおむね100字・200字から400字程度にまとめるといいでしょう。そしてそれぞれの項目の内容を頭の中でめぐらしてください。次に節ごとの内容をイメージしてください。この作業を繰り返すことにより、この章の内容が把握できていくでしょう。あとはイメージする内容が確実なものになるように、時間と労力をかけてください。なお、学習に当たっては巻末の参考文献も使うと、より理解が深まります。是非、実行してみてください。

テキスト「東アジアの変革」をきちんと学んでください。この章は3節から構成されています。それぞれの節は、さらにいくつかの項目から成り立っています。学習に際しては、それぞれの項目についてきちんとまとめてください。項目の内容にもよりますが、おおむね100字・200字から400字程度にまとめるといいでしょう。そしてそれぞれの項目の内容を頭の中でめぐらしてください。次に節ごとの内容をイメージしてください。この作業を繰り返すことにより、この章の内容が把握できていくでしょう。あとはイメージする内容が確実なものになるように、時間と労力をかけてください。なお、学習に当たっては巻末の参考文献も使うと、より理解が深まります。是非、実行してみてください。

Q30400 西洋史概説 / K32400 西洋史概論

坂口 明

歴史の学習では、大きな歴史の流れをつかみ、そのなかで鍵となるような出来事がどのような意味を持ったかを、しっかりと理解することが必要です。

科目修得試験では、いくつかの事項を説明する、というかたちで出題しますが、限られた量のなかで、その事項の内容、それがもった意味などをいかに的確に記述できているかを基準に採点します。教科書の丸暗記ということではなく、ポイントをつかむ学習が効果的だと思います。

Q30500 考古学概説

西野 吉論

科目修得試験は主にテキスト後半の旧石器時代から古代までの範囲で出題されます。

テキスト後半の理解を得るためには、前半の「考古学の考え方と方法」を読む必要があります。各時代の紹介を学びつつ、考古学の研究方法を理解していきましょう。

Q30600 考古学特講 I

西野 吉論

科目修得試験は縄文時代から 2 回、弥生時代、古墳時代から各 1 回出題されます。

縄文時代はテキストをよく読み、どのような方法で分類され説明されているか学びましょう。

弥生時代は、宮ノ台式期について出題されます。テキストに書かれている単語を羅列しただけでは不可ですので、知らない単語や遺跡は適宜調べていきましょう。

古墳時代は古墳について問われます。古墳の位置、形態、内部主体、副葬品、時期、大和政権との関係など、古墳ごとにまとめると理解が進むと思われまます。

Q30800 日本史特講 I

楠家 重敏

テキストの第二編、近代の「学習指導書」をよく読み、日本と世界との関わりについて、その形成や変遷なども含めて調べてみることに。

各種の『日本の歴史』シリーズや新書などの概説書を読み、通史的理解を深めるだけでなく、関心を持つ問題、テーマに関して研究書（学術書）を少なくとも 1 冊読み、研究の方法や到達点を学ぶことが大切である。

Q30800 日本史特講 I

関屋 雄一

テキストの熟読を大前提とする。テキスト中には「学習指導書」が各章ごとにあり、掲載されている各論文の意図が示されている。それを読みこんだ上で本章を精読してもらいたい。参考文献の示し方、論述の方法などを、そこからくみとってもらうためでもある。得た知識を、いかに「根拠」立てて、自説と他人の説を区別しつつ、述べていくのかを留意すべきである。

Q30800 日本史特講 I

中村 順昭

テキストの第一編「古代」の第 1 章、第 2 章および「学習指導書」(p.75 ~ p.82) をよく読み、日本の律令による諸制度について、その形成や変遷なども理解を深めておくこと。

各種の『日本の歴史』シリーズや新書などの概説書だけでなく、「学習指導書」で主要参考文献として掲げられた研究書（学術書）を少なくとも 1 冊読み、研究の方法や到達点を学ぶことが大切である。

Q30800 日本史特講 I

横山 則孝

第三編近世の学習指導書（287 ~ 288 頁）でのべられている内容や、そこで紹介されている参考文献もあわせてみることをおすすめしたい。さらに興味が増すことであろう。

Q30900 日本史特講 II

鍋本 由徳

本科目の印刷教材は、「概説」と「各説」との 2 つの部分で大きく構成されています。これらを独立して勉強するだけでは学修効果は十分に発揮されなくなります。

まず、「概説」では、近世という時代の特徴を、主に身分を基準にして説明しています。今まで「士農工商」という用語で理解してきたことも、それぞれの身分が抱えた問題や特徴までしっかりと学ぶ必要があります。「士農工商」の用語については現在使用されなくなってきた現実がありますが、武士のあり方、農民のあり方、商人をめぐる解釈の基本は大きく変化していません。印刷教材を使って、その基本的な状況を知り、そして彼らは幕府によってどう支配されたのかをしっかりと学修してください。

「概説」で近世を支える人々のあり方を学修したら、次は「各論」で時代の特徴をつかんでください。近世は 300 年ほど続く長い時代ですが、その約 300 年の間に、政治も社会も経済も文化も大きく変化します。「概説」で学んだ、各身分は、時間の流れのなかでどう変わるのか。政治体制はどのように変化したのか、なぜ改革を行わねばならなかったのか。17 世紀から 18 世紀への変化は、各論の第 3 ~ 第 5 章を比較することでイメージできるかと思えます。

試験を受けるにあたり、印刷教材の内容を十分に理解することが何よりも大切なことです。より深い学修をする際、参考文献を併用しながら学ぶこともあるでしょう。参考文献を読むと印刷教材と解釈が

異なることがあります。学修成果として、近年の状況を答案に反映させる際は、「近年では～と解釈されるようである」としておくといでしょう。いずれにせよ、印刷教材の内容をしっかりと把握することが大切であることは言うまでもありません。

専門教育科目という特性上、本教材には歴史資料（史料）が随所に引用されています。江戸時代の史料は「漢字仮名交じり文」で比較的読みやすいとされていますが、読みこなすためには、ある程度の慣れが必要です。通常の記事だけではなく、史料を読んでみる、その内容を理解していくことを意識してください。分からない文字は辞（字）典類で一つ一つ調べ、用語は専門性の高い辞典（『国史大辞典』など）によって調べるようにしてください。

Q31000 東洋史特講 I
加藤 直人

最初から本文に入ると難しいので「解説」を熟読してください。そして、清代の「起居注」制度の展開、また19世紀後半の大興安嶺地区に暮らす人々の状況について基本的な事項を理解しましょう。そして本文に入り、①清代「起居注」の成立、展開、衰退について、②19世紀後半の大興安嶺地区に暮らすブトハ、オロチョン等の状況、ならびに当時の清朝とロシアとの関係について、重要な点をノートに整理するようにしましょう。難しい漢字や聞き慣れない用語は、辞書等で確認しておく必要があります。ローマ字部分は満洲語ですので、和訳を参照ください。

Q31000 東洋史特講 I
須江 隆

まず、テキスト『東洋史特講 I』の第一編の解説部分を繰り返し熟読し、本論の理解に必要な基礎的知識を学習してください。その上で、つぎに、第一編の本論に当たる第一章と第二章を読んで、それらの内容をふまえて、宋代中国の社会像を「唐宋変革」と「両宋変革」という二つの視点から具体的に把握できるようにしておいてください。また、第二章で焦点を当てた、北宋時代を生きた朱長文という知識人に着目する意義や、その生涯や生き方、彼が生きた時代や社会の特色への理解を深めておいて下さい。なお、中国史上の宋という時代や社会の特色への理解をより深めるためには、テキスト第一編の解説部分で言及した参考文献にも目を通しておく必要があります。

Q31000 東洋史特講 I
松重 充浩

第三編では、まず「解説」を精読して、戦後日本における張作霖・張学良研究が、如何なる展開を経て、如何なる成果と課題を生み出したかを理解し、第一章と第二章の論文が、如何なる研究状況の中で作成されたのかを確認しておくことが大切です。続く第一章では、張作霖奉天省地方政府による吉林省征圧（同地方政府の言わば「空間的拡大」）の背景と、その歴史的意義が地域社会の側から検討されています。また第二章では、張作霖奉天省地方政府が現地での金融恐慌を自らの現地支配浸透の契機として利用していく経緯（同地方政府の言わば「垂直的浸透」）が検討されています。両章共に、張作霖奉天省地方政府の発展が、単なる「軍閥の野心」の発露ではなく、結果として現地の金融・財政的問題解決に向けての方向性を包含していたことが確認されており、1980年代以前に主流だった張作霖地方政権をいわゆる「軍閥」的範疇（＝中国近代史発展の阻害要因）とする研究を批判的に継承・発展させる成果となっています。なお、両章註記に示されている通り、近代中国東北地域史研究においては、いわゆる「満鉄史料」や「日本外務省記録」をはじめとした日本側史料も重要な史料として利用できることにも留意しておきたい点です。

Q31200 西洋史特講 I
坂口 明

特講では、かなり専門的なテーマが扱われており、学術論文に近い書き方がされています。テーマの設定、史料の扱い方、論旨の組み立て方など、皆さんが将来卒業論文を書く際の参考になると思います。暗記することではなく、そういった点をしっかりと読み取って下さい。もちろん、試験の際には、重要な事項を頭に入れておくことが必要となります。

Q31200 西洋史特講 I
藤井 信行

特講は、専門的な研究を扱っています。問題の設定、研究中の整理、史料に基づく論証の手続き、論旨の展開、関連の研究の扱いなど、皆さんが卒業論文を作成する際の基本になることを、ここから読み取っていただきたいと思います。

科目修得試験では、大きなテーマで出題します。テキストの暗記というよりは、上に述べたことを念頭において、ポイントをつかむような学習をしてください。

Q31700 古文書学

関 幸彦

佐藤進一著「古文書学入門」のテキストのⅠ章～Ⅲ章をしっかりと読み進め要点をまとめておくこと。特に公家様文書や武家様文書の種類や特色を理解しておくこと。

R20100 経済原論／L20200 経済学原論

藤本 訓利

経済学は、労働力も含め天然資源などの希少な諸資源をいかに効率的に配分するかを研究する学問であるといえますが、現実には、家計や企業などの経済主体の行動や、そこから起こるさまざまな経済現象などを対象として分析する学問です。そして、経済学の研究は多岐にわたり、理論の分野、政策の分野、歴史の分野に分けられます。

「経済原論」(R20100)あるいは「経済学原論」(L20200)は、経済学の理論の分野を分析対象としています。「経済原論」・「経済学原論」は、さらにミクロ経済学の分野とマクロ経済学の分野に分けられます。この理論分析では多くの図表や数式を用いますが、単に図や式を暗記するのではなく、この図や式がどのような意味を持ち、またそれが現実の経済にどう対応しているかを理解することが必要です。そのためにはテキストや参考書を丁寧に読み、一つ一つ理論を積み重ねていくことを心がけてください。理論の修得には近道はありません。基礎からしっかりと学習していくことが肝要です。ミクロ経済学およびマクロ経済学に関する参考書は数多く出版されていますので、それらを積極的に活用して欲しいと思います。

ミクロ経済学の分析では、家計は限られた予算(所得)で財やサービスの購入をどのように組み合わせれば満足度が最大になるか、また企業は一定の費用のもとでどのように生産をすれば最大の利潤が得られるか、などを自分の身近な観点で考察してみてください。そして市場における価格や取引量の決定やその変動、また社会的厚生についても、実際の経済に即して考察すれば理解が深まるでしょう。

マクロ経済学の分析では、国内総生産(GDP)がどの水準で決定されるか、貨幣市場はどのように均衡するのか、財市場の均衡(IS曲線)と貨幣市場の均衡(LM曲線)はどのように同時に均衡するか、あるいは政府が行う財政政策や、中央銀行が行う金融政策がどのような効果をもたらすか、など現実のわが国の経済状況と関連づけて考察すればより興味深いものになるでしょう。

R20200 経済史総論

飯島 正義

通信のテキストには、一部難しい表現が使われていたり、また専門用語も現在と若干異なる表現(訳語)が使われていたりするところがありますので、テキストは繰り返し熟読して下さい。テキストの内容は、原始・古代から近代まで扱われていますので、各時代をきちんと整理しながら歴史の大きな流れをつかむことが大切です。各時代を理解するにあたっては、世界史の知識を必要とする場合があります。高校の教科書や参考書、世界史辞典、これまでにシリーズで出版された「世界の歴史」など自分のレベルにあった書籍を利用して知識を深めて下さい。

高校時代に世界史を学習していない方は、これを機会にまずテキストの各時代をきちんと整理することから始め、それを積み重ねて下さい。理解しづらいところが出てくるかと思いますが、あまり細かいところにこだわらずに大筋をしっかりとつかむようにして下さい。

R20300 経済学概論

関谷 喜三郎

経済学概論では、ミクロ経済学の基本的な体系を理解することが必要です。まず、消費者行動の理論を理解することが重要です。ここでは、財の消費によって得られる効用についての理解をベースにして、無差別曲線と予算線を用いて効用最大化を説明できるようにすることが大切です。これが右下がり需要曲線の導出に繋がります。

次に、完全競争市場における企業の利潤最大化行動をみていきます。ここでは、収入と費用の差としての利潤最大化を理解します。この場合、完全競争の条件のもとでは企業にとって価格が所与になることに注意する必要があります。また、費用について、総費用、平均費用、限界費用の概念を理解しておくことが重要です。ここから供給曲線が導出できます。

需要曲線と供給曲線が導出できると、そこから均衡価格の決定と均衡の安定条件が得られます。これについては、ワルラスとマーシャルの両面からの理解が必要です。さらに、消費者余剰と生産者余剰を用いて資源の最適配分が説明できます。

次に、市場の競争が不完全な場合の生産量と価格の決定についてみていきます。市場が1社の企業からなる独占企業に関して、そこにおける利潤最大化条件を確認し、それを図によって表示できるようにしておくことが必要です。

さらに、市場における現実的な問題の一つとして、市場の失敗のケースを考察しておく必要があります。ここでは、代表的なものとして公共財と外部不経済について理解をすることが重要です。

R30100 経済学史 / L31300 経済学説史

塚本 隆夫

「経済学の歴史」という視点からみれば、「経済学」は、それぞれの時代に社会が抱える経済問題に対し、経済学者がいかに対応したかという知的な闘いの歴史でもある。経済学者が提唱したさまざまな学説と、その当時の社会・経済問題との間に、深い関係が見られる。それゆえに、経済理論の精緻化と洗練化の過程は、その「副産物」であった、とも言えよう。

重商主義の時代には、国富増強策として「貿易差額」が提唱された。しかしこれは「流通過程」の分析に留まった。フランス重商主義政策がもたらしたフランス国民経済の疲弊に対処すべく、フランスでは、F. ケネーらによって重農主義が提唱され、「経済循環」が究明された。重農主義者たちによって「生産過程」が注目された。

18世紀の第4四半期から始まるイギリス産業革命期に、A. スミス、T.R. マルサス、D. リカードらのいわゆる古典派経済学者たちは、資本主義経済の展開過程を究明した。資本主義の運動メカニズムが次第に解明されていった。

しかし各国の間で経済の発展に格差が存在する場合、政府による何らかの介入が必要である、とドイツのF. リストらは主張した。産業革命による急激な経済成長が引き起こした問題は、古典派経済学者たちが言うような「自由放任」では解決されないことが判明してきた。それどころか、「資本主義には本質的に矛盾が存在する」ことを明らかにしたのが、K. マルクスであった。

一方、主流派経済学にも、1870年代に「限界革命」が起こり、古典派の労働価値論から主観的な効用理論へと転換し、一般均衡論への模索が進められた。そして1930年代の不況に対応すべく「ケインズ革命」が引き起こされた。

このように17世紀から20世紀へと、経済学者は時代の問題と知的格闘戦を繰り広げてきた。21世紀に入っても、この戦いは進められている。この「知的格闘戦の歴史」こそが、「経済学の歴史」である。

「経済学の歴史」から学ぶべきものは、「同じ現象についても異なる解釈が成り立ちうる」、という教訓である。それぞれの学派の主張する学説に優劣があるのではない。それぞれが異なる次元にたって、経済社会をみている。これが同時に異なる経済学説が提唱されるゆえんである。

こうした経済学の歴史の流れを掴んだうえで、テキストを研究しましょう。これまで高校や大学で学習した世界史の知識が、「経済学の歴史」を理解するのに役立ちます。そして「経済史」をはじめ、「ミクロ経済学」と「マクロ経済学」で得た学習成果は、過去の経済学者たちが唱えた学説や思想の理解を助けます。

R30300 価格理論

有馬 守康

経済学は、暗記をして習得できる科目ではありません。論理を1つ1つ丁寧に積み重ねて理解してゆくことが肝要です。どのような教材でも良いですから、練習問題などを行って、理解度をチェックしながら学習することを強く勧めます。

価格理論（ミクロ経済学）のポイント、家計や企業が、個々のインセンティブ（誘因）に従って行動すると、その結果として社会は最も望ましい状態になる点を理解することです。そのために、専門用語や図等を正しく理解することに努めてください。実際に、様々な図を描いてみると理解が深まります。完全競争市場では家計や企業の行動、最適資源配分について、不完全競争市場では独占や寡占行動について理解を深めてください。また市場が最適資源配分を達成できない「市場の失敗」もミクロ経済学の重要なテーマです。

科目修得試験は、第一、第二分冊を通して出題されます。家計（消費者）行動、企業（生産者）行動および市場メカニズムによる資源配分の効率配分の効率性が価格理論（ミクロ経済学）の中心テーマですから、この論点を章末の練習問題を自力で解くなどしっかり理解してください。

R30500 日本経済史

岸田 真

本科目の採点においては、①設問の趣旨を理解し、それに適合した解答となっているか、②設問に対し具体的なかつ論理的な説明がなされているか、③単なる教科書や参考文献の丸写しではなく、その内容を理解した上で答案を作成しているか、を中心に評価する。

持ち込み条件は【全可】であるが、その分、解答の「質と量」が問われることとなる。自宅学習においては、指定教材の内容理解はもちろんのこと、下記に示した参考文献も活用してほしい。自分で学習ノートを作成し、それを試験に持ち込むという方法も有効であろう。

近年の科目修得試験では、解答欄の片面に満たない答案が多いが、受験する学生は十分な準備をした上で試験に臨むようにしてほしい。

【参考文献】

- ・杉山伸也『日本経済史 近世 - 近代』岩波書店、2012年。
- ・中西聡編『日本経済の歴史 列島経済史入門』名古屋大学出版会、2013年。

- ・三和良一『概説日本経済史 第3版』東京大学出版会, 2012年。
- ・三和良一・原朗編『近現代日本経済史要覧 増訂版』東京大学出版会, 2010年。

R30600 西洋経済史

上村 能弘

先行研究を批判的に摂取すること自体はもちろん重要である。しかし、ここでさしあたり研究したいのは経済史であって、経済史学の歴史ではないので、研究上の一番の力点は、あくまでも史実の検証・確認と、それがもつ経済史的意義の考究においたほうがよい。

R30700 経済政策総論／L31500 経済政策(新教材)

周藤 利一

経済政策は、政府という政策主体が経済、特に市場に対して介入することです。

日本を含む世界の大半の国は、市場に基づいて経済が成り立つ「市場経済体制」を採用しています。それは、市場メカニズムは経済全体で見たときに、大きなメリットがあるからです。それを前提とした上で、政府が介入するのは、市場にはデメリットもあるからです。

したがって、経済政策を理解する上での第一歩は、「市場メカニズムのメリット」と「市場の失敗」を理解することです。

そして、どのような問題に対して、どのような経済政策が求められるのか、経済政策の目的と必要性、内容と効果について各分野ごとに学んでいきましょう。

特に、最近の重要な課題については、学習指導書で説明しているので、合わせて学習してください。

教科書以外の参考文献としては、「経済白書」のほか、各省庁の白書があります。また、教科書の各章末に参考文献が掲げてあるので、参照してください。

R30700 経済政策総論／L31500 経済政策(旧教材)

周藤 利一

経済政策は、「政府が経済目的のために市場に介入すること」と理解できる。

それでは、なぜ、政府の介入が必要なのだろうか。現在、世界の大半の国は、市場に基づいて経済が成り立つ「市場経済体制」をとっている。それは、市場メカニズムには経済全体で見たとき、何らかのメリットがあるからである。

経済政策を学ぶ上で、まず第一は、この「市場メカニズムのメリット」を理解することがある。そして、これは、マクロ経済学、ミクロ経済学の基礎を学ぶことにより、理解できるはずである。

現実の市場は万能ではない。市場には解決できない問題がある。これを「市場の失敗」と呼ぶ。したがって、第二は、「市場の失敗」を理解することである。市場がどんな問題に対処できないのか、あるいは、どんな条件下で市場がどのように失敗するのかである。

教科書以外の参考書として以下を挙げておく。

○井堀 利宏「経済政策」新世社

○正村 公宏・山田 節夫「経済政策入門」東洋経済新報社

R30800 農業経済論

新海 宏美

テキストを熟読し、食料・農業・農村について農業経済学に関する知識と理論を習得すること。テキスト中に、ミクロ経済学の理論を用いて説明されているところ箇所があるが、その部分は大筋が理解できれば問題ない(細かな理論で分からない部分があっても、まずは最後まで通読すること)。大事な点は、食料・農業・農村の現状と課題、その背景について、自身の関心領域を広げ理解することである。テキストで、初見の用語が出てきたら、手間を惜しまず辞書を引くこと。

R30900 工業経済論

草原 光明

工業経済論の学習の目標は、工業の発展の要因とその発展の形態・特徴を理解することの二点にあります。テキストの各章、各節の記述はこの目標を理解できるようになっていますので、各々の標題になるように本文をノートにまとめてみることです。特に各章、各節の冒頭の文章は要約したものになっています。

テキストは分量が多く、学習上、困難な様に思われるかもしれませんが、それは説明を詳しくした為と、事例を掲げた為に多くなったものですからこのことを理解して学習してください。

なお、特殊な学術用語が出てきますので、次の事典を参照して学習することがベストですが、まずは、テキストそのものを読み直すことをお勧めします。

伊東光晴編『現代岩波経済学事典』(岩波書店)(6,000円)

R31000 日本経済論

飯島 正義

まずテキストを繰り返し熟読して、これまでの日本経済のポイントについて理解を深めて下さい。テキストが刊行された年以降の最新事柄や統計については、他の著作や「経済財政白書」などの白書類、新聞の経済記事、「東洋経済」や「エコノミスト」などの週刊誌などを利用して下さい。白書や経済統計などは、各官庁のホームページでも見る事ができます。また、日本経済について理解を深めていくにあたって経済学の基礎理論をしっかり学習しておくことも重要です。さらに、著作などを読む場合にわからない用語が出てきたときにはその都度「経済辞典」などで確認するようにして下さい。日本経済について理解を深めるには日頃から経済情報に関心を持ち、積み重ねていくことが大切です。

R31100 国際経済論

南 雅一郎

まず、ゴチックで記してある用語の意味を明確に理解しながらテキストを熟読して欲しい。第1章については世界経済の発展と構造変化について歴史的にまとめたものであるが、それぞれの時代の特徴をきちんと把握し、整理しておくことが重要である。第2章は貿易の理論と政策について解説したものであるが、それぞれの考え方についてグラフの見方も含めて理解し、まとめておこう。第3章は国際経済に関するマクロ経済的なアプローチを試みたものであるが、国際収支表の見方、国際収支の動向、財政・金融政策の経済効果についてしっかりと学習しよう。必要があればマクロ経済学を復習して見るのも良いかもしれない。第4章は様々な外国為替制度と国際金融システムに関するものであるが、それぞれの制度の特徴を整理しておく必要がある。

又、各章の最後に参考文献が挙げられているので、適時自分に合ったものを選んで学習を深めて欲しい。

R31400 経済開発論

辻 忠博

科目修得試験は、基本的にテキストに書かれている内容を踏まえて出題されるものである。テキストのどの箇所からどのような出題がされるかは事前に開示されないので、まずは、テキストを何度も理解できるまで熟読することが基本である。テキストは歴史、理論、政策の三本柱で構成されている。したがって、まずは、これらの三本柱に関する要点をつかむことが求められる。

その上で、上記の三本柱のそれぞれを詳しく説明する章がいくつかあるので、そのまとまりごとにテキストを読むことによって内容の理解に努めると、各章の要点を把握することにつながると期待できる。

なお、出題については、専門用語を単に暗記しているかどうかを問うものではなく、テキストでの説明を踏まえて自分はどうか考えるのかという独創性を解答に求めている。したがって、テキストの理解のみに終始せず、世界情勢などを新聞やニュースなどから幅広くキャッチしておくことが望ましい。

R31400 経済開発論

陸 亦群

本講座は、歴史、理論、政策の3つの観点から経済開発問題について体系的に学んでいこうとするものである。まず、歴史の部分では、途上国を巡る開発問題がこれまでどのように扱われ、その扱われ方がどのように変わってきたのかについて理解することをねらいとしている。歴史を学ばずして現在のことを理解することは難しく、また、将来を見通すことも出来ない。関連分野の文献も併せて活用するのが望ましい。

理論について学ぶ際には、経済学の基礎理論をしっかり理解しておくことが必要である。経済学概論で勉強したいろいろな経済法則や専門用語などが曖昧な場合には、もう一度復習をしておいてもらいたい。また、国際貿易の発生メカニズムなど国際経済論の基礎理論について理解しておくことが経済開発の理論を学ぶ上で有利である。理論の部分では、学説史についても学ぶ。その際には、単に様々な理論を漫然と理解するのではなく、歴史的な流れと共に、学説がどのように変遷していったのかという点にも注意すればさらに理解が深まるといえる。

政策については、個々の問題について多面的に考えることを心掛けてもらいたい。テキストでは、6つの政策について論じているが、それらは個々の政策問題であると同時に相互に関連している。途上国が抱える個々の政策課題は、途上国経済全体の中に位置づけて捉えることが必要であり、個々の政策課題にのみ注目し、それ以外の事象との相互関係を無視することは問題の解決に至らないばかりか、途上国経済全体に悪影響を及ぼしかねない可能性があることについて学んでもらいたい。

経済開発論は途上国経済に関わる開発問題を扱う学問であるが、経済学のみならず、政治や社会、文化、歴史など幅広い視野から捉えるように努めてもらいたい。そのためには、テキストだけにとどまらず、関連分野を含む幅広い文献から知識を得ることが望ましいといえる。この講座は、あくまでも皆さんに発展途上国を巡る開発問題に関心を持ってもらうための序論的存在である。これを機会にさらに途上国問題への関心を深めてもらいたい。

R31500 財政学総論／L31400 財政学

中川 雅之

まず第1章で財政の機能についての原則を把握して下さい。

その上で、第2章、第3章で日本財政の現状と制度の仕組みを理解するようにして下さい。現状については、数字を覚えこむのではなく全体の傾向を定性的につかむようにして下さい。また必要に応じて財務省のホームページなどで最新の傾向について補足的に把握するようにして下さい。

第4章では政府支出をめぐるいくつかの理論が紹介されています。なぜ政府が財政活動をしなければならぬか、政府の活動を効率化する工夫にはどのようなものがあるかを理解して下さい。

第7章、第9章では公債、財政の安定化機能などの現在の悪化した財政状況を理解する上で重要な事項が解説されています。公債の負担論、乗数効果などの理論を深めるようにして下さい。

第5章と第6章は税を扱っています。第5章で解説されている理論を理解し、第6章で解説されている租税毎の特色を応用的に学ぶようにして下さい。

第8章では現在の日本にとって最も重要な課題とっていい社会保障について解説されています。制度の解説が主となっていますが、なぜそのような制度が存在するかを理解するようにして下さい。

第10章と第11章は地方分権という問題意識をもって、国と地方公共団体の財政関係に着目して学習をして下さい。

R31600 地方財政論（新教材）

沼尾 波子

テキストの各章を読み始める前に、まず別冊の学修指導書に目を通し、各章における学修のポイントを把握すること。その上で、テキストを読み進め、それぞれのポイントについて整理をおこなうこと。

地方自治体は、私たちの暮らしに密接にかかわる様々なサービスを提供しているが、その中には、全国共通のルールにしたがって提供されるサービスもあれば、自治体独自の判断で提供されるサービスもある。したがって、地方財政制度を学ぶ際には、国と地方の行財政関係に着目し、自治体の歳入・歳入構造とそれを取り巻く行財政制度について学ぶことが大切である。また、今日の自治体が抱える行財政課題や、地方分権改革の動向、諸外国と比べた日本の地方行財政制度の特徴などについて、併せて把握しておくことが求められる。

R31600 地方財政論（旧教材）

沼尾 波子

まずテキスト219～227ページにある「学習指導書」に目を通すこと。特に答案作成にあたり223ページからの「Ⅱレポート・試験答案作成上の留意点」を心がけること。

地方自治体は、私たちの生活に密接に関わるさまざまなサービスを提供しているが、その中には全国共通のルールに基づいて提供されるサービスもあれば、地域独自のサービスも含まれている。地方財政を学ぶにあたり、国と地方との関係に着目しつつ、自治体の歳入・歳出構造とそれを取り巻く行財政制度について整理することが大切である。また今日の自治体が抱える行財政課題や地方分権改革の動向、諸外国との比較からみた日本の地方財政の特徴などについて幅広く考えてみることも大切である。

学習にあたって、制度の意味と内容を正しく理解することを心がけること。各章で取り上げた基本的な制度の概念、意味を理解できているかどうかを問う。また、テキストには記載されていない最近の制度改革や統計データにも目配りしておくことが望まれる。最近の地方財政を取りまく動きについて知るために、重森暁・植田和弘編『Basic 地方財政論』（有斐閣ブックス、2013年）にも目を通しておくこと。地方財政の運営についても問うことがある。

R31700 租税論

高木 勝一

- 1 租税は、「財政学」という学問の中の「租税論」から検討できる。
また、「税法学」「税務会計学」などの学問分野からも検討できる。
- 2 「租税論」という書物は、一般に「租税総論」と「租税各論」に分けて記述されている。「租税総論」は、租税全般に関係する事柄が述べられている。教材（高木勝一編著 新版『租税論』八千代出版）の第1章が「租税総論」に相当する。
「租税各論」は、それぞれの税目、たとえば、「所得税」「法人税」「消費税」など、種々な税についての制度の仕組み・効果（主に経済的効果）・作用（主に経済的作用）などが記述されている。上述の教材の第2章から第13章がこれに相当する。なお、「租税各論」には、海外の租税制度の記述や日本と外国の租税制度の比較検討もある。
- 3 租税は、歴史・理論・政策という3つの面から検討できる。したがって、「租税論」という書物は、3つの面から記述されている場合もある。あるいはその中の1つの面のみの記述もある。
- 4 試験の解答は、問題の問われていることをつかみ、簡潔に記述することである。
字は、はっきりと普通の字の大きさで書く。

R31800 金融論

谷川 孝美

テキストは第Ⅰ部と第Ⅱ部から構成されていますが、金融論としてより重要なのは第Ⅱ部「マネーのある」世界—金融政策のオープン・エコノミーへの波及メカニズム—です。とくに、マネー（貨幣）とは何か、どのように定義されているのか。マネー（貨幣）の需要供給と金利の関係。信用創造と貨幣乗数。中央銀行によるマネタリーコントロール（金融政策、金融調節）の具体的な内容。外国為替市場均衡条件の一つである擬似金利裁定式など、金融論の基本的事項について、良く読んで理解することが大切です。

また、学習の際には、長期と短期に関連した物価の伸縮性と硬直性などの前提条件、説明に利用されているグラフや数式などにも注意しましょう。とくに数式では、変化する部分と変化しない（コンスタントな）部分などを良く確認し、数式が説明している内容を理解することが重要です。

なお、テキストは「まえがき」にもある通り、大学3、4年生の専門課程における金融政策およびオープン・エコノミー・マクロ経済学を中心に記述されています。そのため、基本的なマクロ経済学を理解していることが前提となっています。もしこれらに不安がある場合、あるいはテキストだけでは理解しにくいと感じるならば、より基本的な参考文献などで調べると良いでしょう。

R31900 貨幣経済論

藤本 訓利

まずは、教材『貨幣経済論』（R31900）の「学習指導書」を熟読し、各章での学習ポイントを把握しよう。貨幣経済論は、今日、マクロ経済学の一部として位置づけられているので、貨幣とマクロ経済の関係（教材の第Ⅱ部）について論じられることが多い。

だからと言って、貨幣の本質について議論しないわけにはいかない。まず、貨幣がどのように定義されるか、またそのとき、貨幣がどのような機能を果たしているかを理解しよう。とくに近年、電子マネーが普及しているので、それとの違いなどを考えることも必要でしょう。次に、貨幣経済論の主要なテーマである、貨幣とマクロ経済の関係について考えてみよう。今日、貨幣供給量（あるいは通貨供給量—ただし、わが国の場合、現在、「マネーストック」と言われている—）の変化が、産出量や雇用量や物価水準にどのようなメカニズムでどのような影響を及ぼすかということについて理解しなければなりません。そこでまず、通貨（あるいはマネーストック）の概念やその供給メカニズム、さらに金融政策について理解しましょう。貨幣の「供給」について学習した上で、貨幣の「需要」（主にケインズの流動性選好説）に関する理論もしっかりと理解しましょう。とくにここでの学習が、後に登場するケインズ理論（『一般理論』体系）の理解に役立つはずで

教材の第Ⅱ部の範囲では、マクロ経済理論が貨幣の視点から説明されています。学説的には、フィッシャーの貨幣数量説に代表されるような古典派の貨幣理論（貨幣ヴェール観あるいは貨幣の中立性）や、ケインズ『一般理論』で展開された理論（貨幣の非中立性）や、『一般理論』の一般化としてのIS-LM分析、反ケインズ理論としてのマネタリズムが詳細に説明されています。これらの理論は、マクロ経済学の主要な理論でもあるのでしっかり学習しましょう。なかでも『一般理論』における国民所得の決定理論や投資乗数理論や利子率の決定理論（流動性選好説）、さらにはIS-LM分析における財政金融政策の効果は重要な理論です。これらの学習を通して、とりわけ、ケインズ体系における貨幣のトランスミッション・メカニズムと古典派理論の違いについて理解を深めることが重要です。

ところで、ここまでの理論では物価の変化が明示的に取り扱われていませんでした。そこで最後に、物価の変化を導入した理論である、総需要・総供給分析を学習し物価水準が決定されるメカニズムや、物価と失業との関係（フィリップス曲線）を理解しなければなりません。これらの理論を学習することによって、デフレ、インフレ、失業といった諸問題について何らかの基礎的知識が得られるでしょう。

R32000 経済統計学

川崎 茂

経済統計学は、経済学と統計学の融合により、経済を統計的・定量的に把握・分析する学問分野です。学習する上では、統計理論・手法を学ぶとともに、統計を通じて経済の実態を学ぶという姿勢が大切です。経済は生き物であり、常に変化するものですが、その動向の中には何らかの法則性があります。統計学を通じてそのような法則性を見出し、そうして得た知見を実社会に役立てていくことが必要です。

テキストの内容は、次の4編から構成されています。

- I 経済統計分析
経済統計学の意義・役割を学んだ上で、経済指数、時系列分析、生産性分析などの基本的な分析手法を習得する。
- II 国民経済計算
マクロ経済統計の最も基本的な枠組みである国民経済計算の体系を中心として、産業統計及び軽量経済モデルについて修得する。
- III 企業経営統計
経済統計の知見をより実践的に活用する観点から、景気変動、需要予測、企業経営、貿易・国

際収支、財政統計について修得する。

IV 企業管理統計

企業における業務の管理・運営に活用される各種の統計手法を習得する。

学習の際には、数式などにしばしば接しますが、その場合、その数式を記憶するよりも、その意味内容を理解することが大切です。

テキストは経済統計学のもっとも基礎知識を解説していますが、統計は日進月歩しているため、統計の体系、作成方法、概念等は大きく変化し、様々な新しい経済統計データも作成・公表されています。学習に際しては、このような新しい動きを学ぶために、テキストの内容に対応する最新の統計の原典資料を自らインターネットで探し、最新の情報を習得するとともに、現在の経済情勢に関する解釈を試みてください。実際のデータを理論に照らして考えてみることで、経済統計学への理解が深まります。

教科書以外の参考図書として、次のものが学習に役立ちます。

「経済統計学入門」(東京大学出版会) 中村隆英, 美添泰人ほか著

「統計学基礎」(東京図書) 今泉忠, 田村義保, 中西寛子, 美添泰人著

R32100 社会政策論 / L31600 社会政策

齋藤 有里

労働や賃金に関する問題は、少子高齢化や社会保障制度等と相互に関連性を持ち、常に変化している。複雑化する現在の問題の所在を明らかにするため、社会政策はなぜ誕生し、どのような過程を経て形成されたか等、社会政策の役割を理解する必要がある。そこから労働者を取り巻く状況の変化を整理し、現代の問題の根源を探る。

教科書に限らず、他の文献からも労働問題や社会保障などをはじめとする社会政策の取り組みを知ることができるので、積極的に情報収集をしていただきたい。そのうえで、現行政策との対比を試みながら要点を整理し、自分の言葉でまとめられることが望ましい。

R32200 労働経済論

木暮 雅夫

今年度は、『第2版よくわかる社会政策』(ミネルヴァ書房)をテキストとし、その労働経済論に関わる部分を中心に学習を進めてください。具体的には、賃金決定、労働時間、非正規雇用、高齢者雇用、賃金格差について学習してください。そして、それぞれの問題領域の中で、①日本の主な賃金決定制度についての学習、②長時間労働の現状と原因の把握、③非正規雇用の雇用形態別の特徴と問題点の把握、④高齢者雇用政策と年金問題との関連性の理解、⑤同一価値労働同一賃金と同一労働同一賃金との違いといった点について、とくに詳しく学習してください。これらの点は、テキストの一ヶ所にまとめて書かれているとは限りませんので、注意してください。そのため、テキストだけでなく、他の参考書も使用して、理解を深めてください。

学習においては、それぞれの問題領域でキーワードとなる用語を正確に使用または説明できるようになることが重要です。労働経済論の科目修得試験では、上記①～⑤のように問題領域の的を絞って出題するので、具体的かつ詳しく論述する必要があります。それぞれの問題領域で主要な問題点がどこにあり、その特徴は何かを念頭に学習することを勧めます。

R32300 情報概論

久東 義典

科目修得試験では、全体的な知識を問われますので、教科書全体をよく読み、教科書の見出しから練習問題とその解答をつくるような作業をすると準備しやすいでしょう。教科書の目次のページを開いてください。「1 コンピュータの基礎」から「24 アルゴリズム」までの章立ての中にキーワードがたくさんあります。例えば、「24. 4 ヒューマンインタフェースの設計」というタイトルから、『ヒューマンインタフェースの設計について説明しなさい』という問題文を作り、教科書で該当するp146の内容から解答文を作って学習する方法を推奨します。

さらに、日常利用しているパソコンがどのような仕組みで動いているのかに疑問をもったり、新聞、テレビ、雑誌などで目にする情報技術について関心をもったりすることで、より理解が深まります。また、教科書の中だけの勉強ではなく、現代を生きる身近な技術について知識を吸収するよう心がけてください。

なお、試験解答にあたっては、周辺知識も含め、できるだけ詳細に記述するようにも心がけてください。

S20100 商学総論

佐藤 稔

商学総論は認識の対象、研究の方法、研究の体系などの方法論についていまだ統一の見られない学問で、また広範な領域を扱うことから学習に困難を伴いますが、社会経済的視点より商品流通の諸問題を考究する学問です。商学総論の学習に際しては教材をしっかり読むことが何よりも重要なことです。教材の

「序」をまず読み商学の体系を理解したうえで各章を学習するようにしてください。教材は21章から構成され、広範囲となっていますが、本年度は下記の諸点について理解してください。なお科目修得試験は二問（必答）とも論述形式です

1. 商業とは何かを規定することは多様性ゆえに困難なことではあるが、現代商業の概念を理解する上でも重要な商業学説
2. 経済学の研究対象と同様に商業も二つが認められるが、商業研究における二様の対象の特性
3. 市場経済下においてその社会的存在意義、商学を研究する意義であるとされる商業の社会経済的役割
4. 需給統一機能は流通機能のうちで最も基本的本質的要素であるが、その基本的本質的要素である準備的段階としての諸活動
5. われわれの日常生活と深いかわりをもつ小売商業の基本的な諸問題
6. 小売商業機関には多様なものがあるが、今日多くの消費者から支持されている便宜性を供与する小売商業機関の意味とその特性
7. 新しい小売商業形態とはいえないが、流通近代化の先兵として注目された組織化の形態・方法
8. 商業の助成的機関の体系と危険転嫁の歴史、意義、分類・方法
社会科学は用語の変遷と共に内容も変化するが、商業と深いかわりを持つ用語の理解
9. 商業の研究対象ならびに研究方法について理解する。
10. 流通の構造的特性の理解
11. 流通における組織的市場について理解する。

S20200 経営学
松本 芳男

経営学のテキストを丹念に読み経営に関する基礎的知識を身につけることが重要であることは当然であるが、それに劣らず重要なのが新聞や経済誌などを通じて現在の企業社会の現状や課題などについて正確な認識を持つことである。ビジネスにおいて高い成果をあげるためには、テキストなどを通じて習得すべき理論的知識と、経済や企業社会の現状に関する正確な事実認識のいずれも不可欠である。企業社会において生じている現実について正確な認識を持つことは有効な行動を導くための前提であるが、その意味、すなわち何故そうになっているのかを理解するためには理論的知識が不可欠である。さらに付け加えれば、理論的知識を活用して、現実と直面している問題や課題を有効に解決するためには、理論的知識を現実の問題解決に適用する知恵が必要になる。現実世界に関する正確な事実認識と、そのような現象の背後にある論理を理解するための理論的知識、さらには理論を現実の問題解決に活用できる知恵が備わって、初めて有効な行動が導かれるのである。

科目修得試験において求められるのは、テキストを通じて、経営現象を深く理解するための理論的知識であるが、常に現実の企業経営の実態を正確に認識しておくことも重要である。経営学の基本的な分野は、企業論、経営戦略論、経営組織論、経営管理論などであるが、いわゆるヒト、モノ、カネなどの経営資源を扱う人的資源管理、生産管理、財務管理や、製品・サービスの開発・販売・流通に関わるマーケティングなどの企業経営職能の各論的分野の知識や企業経営上の現代的課題についての学習も不可欠である。テキストの第1部、第2部の両分野について満遍なく学習する必要がある。

S20300 簿記論 I
村井 秀樹

1. 教材の概要

テキストは、12章から構成されています。第1編は、簿記の基礎理論を中心としてまとめられています。章のタイトルを見ますと、第1章簿記の概要、第2章複式簿記の構造、第3章複式簿記一巡の手続き、第4章商品です。第2編では、具体的な簿記上の会計処理に関してであり、第5章現金・預金、第6章売掛金と買掛金、第7章有価証券、第8章手形、第9章固定資産、第10章伝票、第11章決算、第12章財務諸表の作成です。各章のはじめに、「ポイント」を付けており、また本文中での重要用語は太字にしています。

2. 学習計画のポイント

- (1) まず第1編のポイントは、簿記理論の概要をしっかりと把握することです。取引を借方・貸方に仕訳し、精算表を作成するという技術的なことも大切ですが、その根拠となった考え方を学ぶことがより重要です。したがって、簿記の種類、複式簿記の特徴、簿記上の取引、複式簿記の構造、決算の意味・内容等を十分理解することが大事です。
- (2) 第2編のポイントは、第1編の簿記理論の概要を踏まえた上で、具体的かつより複雑な取引についてその簿記上の処理方法を学習することです。ここでは、実際に数多くの仕訳問題を解く必要があります。具体的な取引としては、現金取引、当座預金取引、未収金等のその他の債権・債務取引、有価証券取引、手形取引、固定資産取引、伝票制度等です。これらに関わる仕訳を正確に理解した上で、決算整理の必要性を認識し、精算表の作成へと進みます。

3. 学習上の留意点

簿記の習得には、問題を数多く解く必要があります。本テキストは、練習問題を適宜設けており、受講生がテキストに直接書き込めるようにしております。しかし、日商簿記検定試験3級に合格するためには、本テキストの例題や練習問題だけでは、やや不足していると思います。必ず、自分自身のレベルにあった市販の練習問題集を購入して、より多くの問題を解いて下さい。まずは、日商簿記検定試験3級にトライし、興味を覚えれば、2級、1級、税理士、公認会計士等の資格試験にチャレンジしていただきたいと思います。

S30200 商 法**根田 正樹**

- 1 企業法としての商法は、企業組織に関する法と企業取引に関する法に大別されます。それぞれの法分野に指導原理があり、商法を学ぶにあたってはこの指導原理を随時確認すると理解しやすいと思います（テキスト2頁以下「商法の特質」）。
- 2 次に「制度の意義」、「要件」、「効果」ということを念頭に置いて勉強したり、ノートを整理していただきたいと思います。以下、具体的に述べることにします。
 - ① 商法は企業に関する法制度であり、一定の目的のために一定の秩序を実現しようとしています。そこで、学習の内容が新しいものになったときは、その制度がどのようなものか（意義）、どのような趣旨（目的）の制度かを確認しておくことが大事です。その際、1の指導原理に立ち返ってみると、分かりやすくなると思います。
 - ② 商法はそれぞれの制度目的を達成するために、効力を無効や取消という方法で否認したり、行為者に民事責任（債務不履行責任、不法行為責任）を課したりします。ときに行行為者に刑事責任を課したり、営業停止などの行政処分をすることもあります。そこで、どのような場合にその行為が有効とされるのか、どのような場合に責任が生じるのかなどの要件を整理・確認することが大事になってきます。
- 3 企業をめぐる利害関係は複雑であり、その法律関係も複雑になることが少なくありません。そこで、法律関係を図解しながら読んだり、整理すると、理解が進むと思われる。
なお、法律学の学習ですから、面倒でも、条文にも当たりながら勉強してください。

S30300 商 品 学**見目 洋子**

商品学では、現代の経済・産業・消費社会における商品やサービスの意義と特性について学習する。われわれは、商品を利用してどのように便利な生活を実現しているのだろうか。商品は、どのような市場競争を経て登場し、消費者の関心を捉え、商品の魅力や機能を発揮しているのだろうか。また、新たに、商品や消費活動に関する今日的な課題や消費問題、トラブルが発生していないだろうか。学習者は、現代商品の商品としての特性や課題を理解するために、国の商品に関わる法律や諸制度による商品化政策、企業のビジネス活動、消費者のライフスタイルやニーズ等々、それぞれの側面から、多様な考察をして欲しい。

S30400 貿 易 論**飯野 文**

現在の世界貿易がどのような貿易ルールに基づいて規律され、秩序づけられているのかを歴史的経緯も併せて理解することがポイントである。具体的には、第1章では、世界貿易の動向とWTO（世界貿易機関）の成立経緯と現状、第2章では、WTOの仕組みと貿易政策の諸手段を理解してほしい。第3～6章で論じる貿易ルールについては、各章で解説する個別ルールについて学習を深めると同時に、個別ルールを全体像に位置付けて把握することが望ましい。第7章では地域経済統合の基本的概念、WTOの基本原則との関係をしっかりと把握してほしい。第8章では貿易・投資紛争の仕組みと両者の相違を理解することが求められる。

解答する際には、誤字・脱字がなく、また題意に応える形で論旨を明確に記述すること。

S30400 貿 易 論**松原 聖**

教科書の内容を特定の章・分野に偏りなく理解することが、科目修得試験学習のために最も重要です。そのためには漫然と教科書を読むのではなく、「学習指導書」を特に以下の2点において参考にして下さい。

- (1) 各章の内容や特に重要なポイントを理解する

学習指導書で取り上げられているキーワードに常に注意を払いながら教科書を読むとよいでしょう。

(2) 練習問題をすべて解く

解答例は付いていませんが、教科書の内容が理解できていれば答えを導けるはずです。自分の理解度を確認するためにも、練習問題を有効活用して下さい。

さらに理解を深めるためには、学習指導書に取り上げられた参考文献を利用することを勧めます。

S30500 マーケティング

佐藤 稔

学習はテキストの各章に設けられている「学習のポイント」をまず読み、各章の重要な点、理解しておくべきところ把握した上で本文を学習してください。教材は16章から構成され、広範囲となっておりますが本年度は下記の諸点について理解しておいてください。なお科目修得試験は二問（必答）とも論述形式です。

1. 第二次大戦後のマーケティングの特性・諸手段について理解すること
2. 近年とりわけ関心の高いマーケティングの特徴を理解すること
3. マーケティング諸活動の根幹となっている環境を把握し、企業活動において不確実性を減少させる手段について理解すること
4. 商業者による再販売目的の購入行為、購入行為に対して検討すべき要素などについて理解すること
5. マーケティング・ミックスの一構成要素としてその重要性が認識されている価格の意義について理解すること
6. 各種マーケティング機関の意識的計画的活動として需給を調整する具体的な仕組みについて理解すること
7. マーケティングにおけるプロモーション・ミックスの一構成要素で、わが国で多様な呼称のある販売員について理解すること
8. 狭義販売促進の体系と諸手段について理解すること
9. マーケティングのわが国への導入と現代のマーケティング特性について理解すること
10. マーケティング志向について理解する
11. マーケティング戦略の形成について理解する
12. マーケティング情報の役割について理解する
13. マーケティングの中核としての製品計画について理解
14. 価格政策の意義と決定方法について理解
15. 販売経路の形態について理解
16. マーケティング・コミュニケーションとしての販売員活動の理解
17. 小売業におけるディスプレイのあり方について理解

S30600 保険総論

蟻川 滋

保険の基本用語、たとえば保険料、保険金・年金、保険者、被保険者、保険契約者等は正確に覚えかつ使用すること。その上で保険商品の基本形、会社経営形態の特徴、保険の販売方法、保険資金の特徴と保険資産の運用、社会保険全般等の基礎を教材や掲載の参考文献中心に学ぶこと。

こうした基礎知識に加え、保険に関する日常の新聞報道等にも目を向けて保険業界の実態、たとえば、保険営業の営業職員販売と新販売チャネルの動向、時代に合わせて変更される保険税制の制度内容、国の年金制度の課題等々、また少子高齢社会にあって保険の果たす役割などを正しく理解する力を養うことが大切。

とくに注意することは、どのような場合にあっても、最新の数値と内容を必ず具体的に確認・把握することを習慣化してください。

S30700 交通論

山上 徹

テキストの各章の内容を理解し、かつ学習指導書を読み、下記のような学習上のポイントを整理し、勉学に励んでください。

第一編 交通サービスの特徴と物流活動

- ①交通サービスの語源とその特性を理解すること
- ②交通ターミナルの役割と機能を理解すること
- ③流通活動における物流の役割を理解すること
- ④物流システムの目的と必要性を理解すること

第二編 国際交通サービス

- ①国際空港における交通需要の形態を理解すること
- ②観光の語源と観光行動を理解すること
- ③観光資源とは何かを理解すること

- ④訪日観光客（インバウンド）数の増加にともなう問題を理解すること
- ⑤国際航空市場の自由化と空港間競争を理解すること

S30800 証券市場論

佐藤 猛

証券市場論は広範囲なので、どのように学習したらよいか難しい科目である。以下は証券市場の重要なテーマですので、以下の参考書でしっかりとノートにまとめておきましょう。問題は3問です（I－IIIから各1問）。（持ち込み可）

（指定テキスト：『証券市場論』日本大学通信教育部）

（推薦参考書：佐藤猛著『証券市場理論の新体系』H28. 4 発行予定：発行された時から）

I モデルの公式【2－3行】

- ・ゴードン・モデル ・ROE, PER, PBR の関係
- ・資本コスト（期待投資収益率）（MM理論） ・転換社債のパリティ
- ・利子の期間構造分析 ・2銘柄のポートフォリオのリスクとリターン
- ・CAPM（資本資産価格モデル） ・先物取引の損益 ・オプション取引の損益
- ・デフォルト率の計算 ・ベイズの定理

II 論述問題

- ・証券市場の歴史 ・証券会社の役割 ・効率的市場について（アノマリーを含める）
- ・公開企業システム ・投資基準（株式と社債） ・資本の変動（ミクロとマクロ）
- ・行動ファイナンス ・ポートフォリオの原理 ・マーケット・マイクロマストラクチャーの体系
- ・ケインズの投資理論 ・資金調達

III 経済状況と株式（10行程度）（各自あらかじめ調べてください）

- ・サブプライム問題と証券市場
- ・最近の株価操作（インサイダー取引も含む）
- ・高頻度取引
- ・金融庁のいわゆる『伊藤レポート』

S30900 広告論

雨宮 史卓

マーケティング戦略の主要な要素である広告・プロモーションに対する研究の重要性が高まっています。TVを見ない日はあっても広告を見ない日はないといっても過言でないくらい、広告は我々の生活に深く浸透しています。しかしそれは、時代のトレンドとして広告が話題になるという単純なことを意味している訳ではありません。広告は常に人々の欲求や願望と共に変化しているのです。

広告の根幹は企業と消費者を結ぶコミュニケーション活動ですから、広告を学ぶことの基本は、様々な人々の生活や感覚の変化、ギャップをしっかりと知ることにあります。まして個性化や国際化が進み、人々の視線がグローバルになって来ている今、新たに出会う人の暮らしぶりは私達の想像を超えるものかもしれません。このように暮らしや生活者の価値観が多様化する中で、広告・プロモーションの研究も幅広く、高度になってきています。マーケティングの一要素にとどまらず、今や製品開発や町おこし等を含め、かなり多岐にわたります。

上述の事を踏まえて、まずテキストの「序論」とI章の「広告（advertising）とは何か」を熟読し、広告を学ぶことの意義・目的を理解してください。次にテキスト全体に目を通し、章と章との関連性や節ごとの関連を意識しながら読んでください。自分の興味のない章があったとしても、決して読み飛ばすことなくテキスト全体の流れを理解できるように心がけてください。広告論では、様々な専門用語が使われています。個人差はありますが、初めて見る用語や理解し難い文脈が見付かる可能性があります。その場合は、下記に示したマーケティング及び広告の用語辞書・辞典等で調べることを薦めます。

1. 日経広告研究所（2005）『広告用語辞典』日経文庫
2. 和田充夫、日本マーケティング協会編（2005）『マーケティング用語辞典』日経文庫
3. 宮澤永光、亀井明宏監修（2005）『マーケティング辞典』同文館出版
4. 宣伝会議編（2006）『マーケティング・コミュニケーション大辞典』(株)宣伝会議

S31000 商業政策

佐藤 稔

商業政策のテキストは四編から構成されていますが、各編の概要をまず把握した上で、各章の内容を詳細に把握し、まとめてみる必要があります。政策の体系は一般に広範囲にわたりますので、テキストだけでなく参考文献などにも目を通して確実に理解しておいてください。

1. 消費者利益、生活者利益、ニーズと流通政策についての理解
2. 流通戦略における物流の意義についての理解
3. 小売業の業態変化についての理解

4. 廃止された大規模小売店舗法の意義についての理解
5. 卸売業のあり方についての理解
6. ブランド政策の意義についての理解
7. 流通政策のはじまりとしての政府規制の理解
8. 流通政策における外部環境の理解

S31200 国際金融論
山倉 和紀

学習は教材を丹念に読むことからはじまります。教材は4編から構成されており、それぞれ以下の点に留意して学習してください。

第1編では、国際金融の基本的な概念や仕組みが解説されています。これらは国際金融の諸問題を学習する際の基礎知識となるため、読み飛ばすことなく、確かな理解を得ておくことが必要です。国際金融の理論を扱う第2編では、為替レートや国際収支などについて、私たちがもつ直観的ないし常識的理解だけでなく理論的な視点を身につけることが大切です。変動為替レート制への移行や資本取引の自由化といった歴史的な出来事が、国際金融理論の発展と深化にあてた影響もあわせて考えましょう。第3編は、国際通貨制度の発展を跡付けています。その変遷をふり返るだけでなく、時代固有のダイナミズムを理解することが必要であり、各々の時代に国際通貨としての信認が何によって支えられてきたか(あるいは失われたか)も考えなければなりません。第4編は、国際金融市場および現状問題を取り上げています。まず国際金融取引と国内金融取引の区別が難しくなった現実を理解し、グローバルな金融市場の機能と特徴を把握することが必要です。内外の金融市場の一体化がすすむなかで、国際協調やBIS規制が登場した意味も考えてください。また金融現象の世界化に伴い、通貨危機や金融危機も世界的に伝播するようになりましたが、それに対応する国際通貨制度がいかにあるべきかについても考えてみましょう。

なお科目修得試験では、教材の理解不足のために、しばしば問題の要求を満たしていない解答がみられます。報告課題にしっかり取り組むことはもちろんですが、上記のポイントに留意しながら、個々のトピックの背後にある教材全体の問題意識を読み取り、それらを統合的に理解していくことが必要です。

S31300 商業英語 I
藤本 淳史

この教材の今年度の主要テーマは「商談・交渉」です。ビジネスは商談と交渉の連続です。間違いや、ふとした不注意や勘違いも減点要素です。減点されればビジネス成功の確率は落ちます。ノーエラー・ノーミステイクに徹しましょう。そこでは英語のみならず日本語も磨きましょう。

教材はやさしく書いてあります。読み抜いてください。いつものことですが、読み込みが不足しています。読んだら、必ず理解すること、一人合点はダメです。ハンパもダメです。マメに手を動かしてメモを取りながら読んでください。そうすると記憶力が必ずシャープになります。

商談・交渉は相手があつてのことです。「話し上手」だけではなく「聞き上手」になりましょう。「聞き上手」は人に好かれます。しかも、均整のとれた双方向のコミュニケーションがビジネスです。そのためにはコミュニケーションの中味を深く広く豊かにできる語彙や語法をたくさん身に付けてください。豊富な語彙や語法の蓄積なしにコミュニケーションは不可能です。語彙や語法を思う存分増やしてください。それには2分でも3分でも毎日の努力が必要です。怠けてはいけません。「継続は力なり」です。

また、ビジネスは人間関係で成り立っています。円滑な人間関係はビジネス成功のカギです。この重要性も教科から学んでください。「人財」といわれるほど人は大切な財産です。しかもメンテナンス(保守管理)が大事なことも併せて学んでください。対人関係を促進させるにはジョークやユーモアも大切です。この教材からどのようにしてジョークやユーモアがコミュニケーションの円滑化に役立っているかを学んでください。また、あなたの周辺に英語環境を創ってください。例えば、テレビ(CNN)・ラジオ(AFN)の英語放送を、つけっぱなしにしておくとか、頻繁に外国の音楽を聴くとか、部屋の壁に外国のポスターを貼るとかです。

科目修得試験やレポートでは問題をよく読んで、求められていることを早とちりしたり、間違ったりしないことです。求められていることを素直に書いてください。文字はきれいに、丁寧に、読みやすく。誤字や脱字の無いように。誤字や脱字や誤綴りはダメです。この教科は英語力の習得を目指すためでもあります。レポートの中に、できるだけ教材にある英単語や英語表現を引用してください。レポートに与えられたスペースや行数は、あなたの既得権益です。余すところ無く使い切ってください。

参考書としては、研究社刊・石川英夫著「英語でビジネス交渉！」(電子書籍です。各種PCサイト、携帯サイトからダウンロード可)及び「ホスピタリティ・マインド実践入門」をおすすめします。座右の書として大いに活用してください。教材は熟読して下さい。

S31400 商業英語Ⅱ

藤本 淳史

この教材の主要テーマは「プレゼンテーション」です。これは日本人が不得手とするコミュニケーション技法です。この章を読み抜いてください。試験の答案もリポートも大切なプレゼンテーションです。プレゼンテーションに負けることは「評価が落ちる」「仕事がとれない」「競争に負ける」ということです。ビジネスで成功する第一歩はプレゼンテーションに勝つことです。そのための「術」を理解し身につけましょう。

プレゼンテーションは人間がやることです。プレゼンテーションの主役は「プレゼンター」です。非凡な能力が求められます。プレゼンターにはどのような資格要件が必須なのかこの教材から学んでください。プレゼンテーションは口頭だけではありません。文書も重要です。人間関係を円滑化するコミュニケーション・スキルも大事です。そして文章作成能力も身につけましょう。マナーもルールも大切です。ビジネス相手との貸し借りのバランスにも心を配りましょう。reciprocity（共生）やhospitality（おもてなしの心）などはその中でも主たる要素です。

国境を越えてビジネスを展開するには国際交流も重要です。難しい仕事ではありません。教材から国際交流の楽しさ、面白さを読み取ってください。そして、英語コミュニケーションの楽しさを味わってください。また、あなたの周辺に英語環境を創ってください。例えば、外国のポスターを部屋の壁に貼るとか、外国の音楽を聴いたり、テレビ（CNN）・ラジオ（AFN）の英語放送をつけっぱなしにしておくなどおすすめします。

前述したように、科目修得試験やリポートも自分のベストを相手に訴えて、然るべき評価を勝ち取るための大切なプレゼンテーションです。そこには減点要素があってはなりません。字はきれいに、読みやすく書いてください。汚いのはダメです。誤字や脱字は論外。ノーエラー・ノーミステークに徹してください。試験やリポートでは問題や課題をしっかりと読んでください。求められていないことは書かないこと。つまり、求められていることに絞って、正確に、きれいに、読みやすく書くことです。これを口で言うのは易しいのですが、実際には容易なことではありません。固い決意で真剣に臨んでください。

この教材は英語力の習得を目指すためでもあります。リポートの中に、できるだけ教材にある英単語や英語表現を引用してください。リポートに与えられたスペースや行数は、あなたの既得権益です。余すところ無く使い切ってください。

参考書としては、研究社刊・石川英夫著「英語でビジネス交渉！」（電子書籍です。各種PCサイト、携帯サイトからダウンロード可）。及び「ホスピタリティ・マインド実践入門」をおすすめします。座右の書として大いに活用してください。教材は精読して下さい。

S32000 観光事業論

服部 伊人

本書を学習する最初の手順としては、まず本書の冒頭に掲げた「まえがき」および「本書の目的と特徴」を、つぎに第1章から第8章までの各章末に掲げた「本章の要点」を何回か通読し、観光事業の全体像を把握し、その学問的体系（フレームワーク）を理解することである。

つぎの大事な手順は、主要な言葉の意味を理解することである。本書の末尾に掲げた「索引」を利用して、本学習の基本となる用語、たとえば、「観光」「観光者」「観光客」「観光地」「事業」「観光事業」「観光事業主体」「観光立国」などの意味を正確に把握することである。

以上の手順を踏んだうえで、第1章から順序よく次章へと読み進むとよい。なぜなら、本書は、観光事業が展開される活動プロセスを、前半（Ⅰ）に、政策→計画→資金（フィーザビリティ・スタディ）、後半（Ⅱ）に、組織づくり→事業化（開発・保全）→効果・評価→今後の課題という順序で、体系的にかつ実践的に記述しているからである。したがって、各章の途中とか何章かを飛ばして精読しても容易に理解することはできないであろう。最後に、各章末に掲げた「引用文献」および「参考文献」のなかから関心のある何冊かを選出し併読すると、本書の内容が一層理解しやすく、本書への興味や関心が一層深まるであろう。

本書の学習は、単に学問として学習するのではなく、観光事業の実践にかかわる一人のメンバーとして、あるいはこれからそのメンバーに加わるつもりで学習すると、観光事業をより身近に、しかも、より動的かつ能動的に理解することができるであろう。

S32100 商業史

横山 則孝

商学関係の科目の中では異質の内容で、なかなかとつきにくいと思います。参考文献もあまりありません。ただリポート作成上のアドバイスのところではあげておきましたので参考にされるとよいと思います。また日本史関係の辞（事）典も大いに利用してほしいところです。例えば、国史大辞典（全17巻、吉川弘文館）、日本史大事典（全7巻、平凡社）、日本歴史大辞典（全4巻、小学館）等を図書館でみてみてください。きっと得ることが多いはずですよ。

S32200 経済地理 / R32600 経済地理学

佐藤 俊雄

これから経済地理(学)をテキストで学習しようとする場合、まず、常に「経済空間の普遍性と固有性」の存在を念頭において、理論的把握から実践的把握へ、全体的把握から部分的把握へという学習志向目標を見定めるとよい。

つぎに、学習は、原則として各章(末)ごとの「本章の要点」をよく読み、第1章からじっくり読み始め、次章に進む度に、前章を何度か読み返し、理解を深めるとよい。

テキストの前半Ⅰ(2単位:3~159頁)では、まず、経済地理(学)の主要な対象である経済活動とこれが展開される経済地域・空間を把握する。つぎに、成熟社会における生活者の生活行動、および生活空間の多様性、とくに生活者の生活行動には、主として五つの行動パターンがあることを理解する。さらに、高度サービス化・情報化社会における小売企業、卸売企業、および総合商社の活動の場としての流通地域・空間をそれぞれ捉え、これらの地域・空間的变化を、組織、技術、環境の三つの側面から理解する。

テキストの後半Ⅱ(2単位:163~292頁)では、まず、ソフト化・ハイテク化社会におけるハイテク企業の生産活動を、とくに地域・空間的に捉えるために、ハイテク企業の立地、立地決定、立地適応、および立地戦略を通して会得する。つぎに、もう一つの生産活動としての農林生産活動を、地方の時代、地域の時代、およびグローバルの時代の三つの視点から理解する。最後に、生活空間、流通空間、および生産空間が情報ネットワーク化され、経済的地域・空間構造が、究極的には、多極連結情報ネットワーク型になることを学習する。

なお、テキストの文中で使用されている、あるいは各章末に載せられている引用文献や参考文献は、できるだけ原典に当たって併読するとよい。

4日の科目修得試験にはテキストの図表を題材にした問題を出すので必ずテキストを持参すること。

S32700 中小企業論

和田 耕治

学習指導書とともに本テキストが取り扱う範囲は具体的で、広い分野に及んでいる。各領域はいずれも専門分野の知見で分析した作業を基礎にしている。

「中小企業論」に関する学習・研究は、一般に流布している中小企業に対する既成観念にとらわれずに自分の目で中小企業を見つめる力を涵養することが必要である。

本科目に限られることではないが、経済・経営問題研究には普段の経済状況に対する「感性」を涵養することが大切である。そのために、①経済関連の新聞、週刊誌等で内外の経済情勢を把握することを習慣とすること、②何よりも経済学、経営学などの基本文献を読み中小企業研究の基礎を作ること、③国や地方自治体をはじめとして調査・研究機関など関係諸行政は多くの情報、政策立案への関心をもつこと、④それらの多くの機関は雑誌、ホームページなどに多くの情報を開示していること、これらを踏まえて意欲的に学習してほしい。

なお、レポートはできるだけ現実の中小企業問題を考える基礎となる理論の学習を要することから、テキストだけでなく、経済学、経営学に関する科目を履修、学習して専門領域と基礎理論との相互の効率的な研修成果を上げるように努めることを勧める。

S32800 会計学

勝山 進

会計学という用語は、広義にも、狭義にも捉えることができるが、広義には、簿記論、財務会計論(狭義の会計学)、管理会計論、原価計算論、会計監査論、税務会計論、財務諸表分析論、会計学説史等がある。このうち、狭義の会計学といわれる「財務会計論」が本講座の対象である。

財務諸表は、企業の「実像」を写し撮る「写像」であるといわれている。しかし、今日の財務会計論を支配する取得原価主義は、「実像」と「写像」との間に大きな乖離を作り出している。この乖離を埋めるキーワードが「オンバランス化」である。このことは、これまで財務諸表に開示されなかった項目をできる限り開示することによって、信頼性のある「財務諸表」を作成しようというものである。

具体的な課題は、貸借対照表項目と損益計算書項目の「認識」と「測定」である。なお、財務会計論を学習する際の最も重要なキーワードは、「適正な」期間損益計算である。これらのことを念頭におきながら学習して欲しい。

以上の他、財務会計論の動向についても理解していただきたい。特に、企業が保有する金融資産が著しく増加していることに関連しているが、現在では、会計構造が、「収益費用アプローチ」から「資産負債アプローチ」に変化している。つまり、金融資産等の一部ではあるが、このような資産に「時価評価」が導入されているのである。

こうした動きに関連して、世界的に国際財務報告基準(International Financial Reporting Standards: IFRS)が大きな問題となっている。つまり、近い将来、IFRSの適用が義務化されることが考えられるので、会計の国際化という観点からの学習も求められている(テキスト217~224ページ)。

さらに、現行の財務会計は、財務情報として定量化（貨幣価値表示）が可能な「財務報告」が中心となっているが、近い将来財務情報（財務的側面）のみならず環境の側面や社会的側面といった定性的評価といわれる「非財務情報」をも開示する「統合報告書」が求められるようになってきているので、こうした動向についても関心を持っていただきたい（テキスト 23～26 ページ）。

最後に、社会科学全体にいえることであるが、会計学は、用語法の学問であるといわれている。このため、専門用語の理解が非常に重要であることを認識して戴きたい。

S33300 外国史／R32800 外国史概説
坂口 明

歴史の学習では、大きな歴史の流れをつかみ、そのなかで鍵となるような出来事がどのような意味を持ったかを、しっかりと理解することが必要です。

科目修得試験では、いくつかのテーマを設定してそれについて述べる、というかたちで出題しますが、限られた量のなかで、そのテーマについての歴史的事実とそれがもった意味を、いかに的確に記述できているかを基準に採点します。教科書の丸暗記ということではなく、ポイントをつかむ学習が効果的だと思います。

S33300 外国史／R32800 外国史概説
齋藤 史範

「第4章 東アジアの植民地化」をきちんと学んでください。この章は6節から構成されています。それぞれの節は、さらにいくつかの項目から成り立っています。学習に際しては、それぞれの項目についてきちんとまとめて下さい。項目の内容にもよりますが、おおむね100字・200字から400字程度にまとめるといいでしょう。そしてそれぞれの項目の内容を頭の中でめぐらして下さい。次に節ごとの内容をイメージして下さい。この作業を繰り返すことにより、この章の内容が把握できていくでしょう。あとはイメージする内容が確実なものになるように、時間と労力をかけて下さい。なお、学習に当たっては巻末の参考文献も使うと、より理解が深まります。是非、実行してみてください。

「第6章 第一次世界大戦とアジア」をきちんと学んでください。この章は6節から構成されています。それぞれの節は、さらにいくつかの項目から成り立っています。学習に際しては、それぞれの項目についてきちんとまとめて下さい。項目の内容にもよりますが、おおむね100字・200字から400字程度にまとめるといいでしょう。そしてそれぞれの項目の内容を頭の中でめぐらして下さい。次に節ごとの内容をイメージして下さい。この作業を繰り返すことにより、この章の内容が把握できていくでしょう。あとはイメージする内容が確実なものになるように、時間と労力をかけて下さい。なお、学習に当たっては巻末の参考文献も使うと、より理解が深まります。是非、実行してみてください。

T10100 現代教職論
古賀 徹

「現代教職論」は、教職者として必要な知識と意識を修得することを目的とする科目である。教師になりたいという思いが強いだけでなく、「教育」というものにもとまなう責任をよく理解して教壇に立つてもらうためには意識の高さが必要となる。そのためこの養成過程において「教師に必要な資質・能力とは何か」を具体的に学んでもらうことになる。受講学生は以下の点に留意して学習していただきたい。

- ① テキストを丹念に読み、各章の課題を十分に理解する。「学習指導書」に記してあるポイントも参照すること。
- ② 学習する内容は「近年の子どもをとりまく問題」「教師の行う指導・職務」「教員養成で期待されてきたこと」「教師教育－養成・採用・研修」「理想の教師像とは何か」についてである。テキスト以外にも関連する参考文献や新しいデータ等を入手しノート等にまとめて自ら学習を深めていくこと。
- ③ 学習の成果を、レポートや試験の論述に反映させること。この科目のねらいは「教職者として必要な知識と意識の養成」である。正しい知識（学習の成果としての理解）をつかって論理的に書くこと。ここに学習の成果としての意識が試されるとしっかり自覚して臨んでほしい。

T10200 教育原論／T10300 教育の思想
北野 秋男

テキスト『教育の思想』は、各章ごとに現代の教育の在り方、考え方の思想的な源流（ルーツ）を解明することが意図されている。とりわけ、教育の目的論、教授理論、公教育理論、教育の人権理論、教師論などが主要なテーマとなっている。現在、我が国で進行中の教育改革の理念を根本的に再検討する視点も課題となっているので、受講学生は、以下の点に留意しながら、テキストの内容を理解してもらいたい。

- 1 テキストを丹念に読み、中心となる問題を十分に理解すること。
- 2 自分なりの理解をもち、自分の言葉と考えで問題点をまとめてみること。
- 3 現代の教育問題を意識しながら、教育思想の源流を理解すること。

4 異なる思想家に共通する教育思想の特色を理解すること。

上記のテキストから得られた知識をふまえ、今日の教育のあり方の根源を形成している教育思想の意味や内容を自分なりに丁寧に考えることが重要である。そのためには、現在進行中の我が国の教育改革に関する最新の動向や諸問題に日頃から注目していることが望ましい。テキストの記述で不十分な場合は、積極的に文献を調べて、自らの学習を深めることも重要である。

受講学生がレポート作成上において冒しやすい間違いや誤解、考え違いなどの特徴は、以下のような項目が挙げられる。

- 1 課題に適切に答えていない。課題とは異なる内容の記述を行う。
- 2 解答が論述形式になっておらず、要点のみ記載されている。
- 3 教育学上の正しい用語が使われていない。誤字脱字が多い。

効果的な学習方法は、教育思想に関する各思想家の理念や特色を整理した上で、具体的な事実を関連させながら理解することである。また、教育学上の特殊用語・専門的な用語を自分の言葉で正しく理解することである。

なお、当然のことではあるが、科目修得試験の受験条件であるレポート作成は、全力で取り組むように心掛けてほしい。

T10400 教育の歴史

羽田 積男／小野 雅章

教科書は、前半が日本の教育の歴史を、後半が主として西洋の教育の歴史を扱っている。日本の近代教育は、西洋の教育の歴史に引き継がれたものである。それ故、教科書の全体をよく読み、教育の歴史の全体像を把握することが重要である。

特に18世紀啓蒙の時代から19世紀半ばに至る西洋における近代公教育の成立とその展開、日本の明治期以降の近代学校の成立の様相をよく理解しておくことが重要である。

教科書に示された参考文献などを利用して、さらにひろく深く学び、教育の歴史から自分自身の教育に関する歴史像を描いておくことが望ましい。

なお、興味ある歴史上の人名やテーマについては、専門雑誌の論文に目を通すことをお勧めする。

T10500 発達と学習

野村 康治

発達は全一的過程であり、個々の領域が単独に発達するのではない。身体の発達と心の発達には密接な関係があるし、心の諸側面も複雑に絡み合いながら発達していく。そうした発達過程の中で、人は様々な学習を成立させていくのである。従って、人間の発達と学習を理解するときには、様々な知識をバラバラに覚えるのではなく、それらに関連づけ統合的に理解していく必要がある。

教科書を読むときも、ただ最初から終わりまで読み流すのではなく、「ここに書いてある内容は、前のページに書いてあったあの内容と関係しているのではないのか？」ということを考え、ページを行きつ戻りつしながら読み進めていくと、より深い理解が得られると思う。

T20100 教育の社会学

角 能

教育現象が、個別の学校教育現場や個別の家庭のみで完結する現象ではなく、それを取り巻く労働市場の構造や学校以外の対人関係などにおける時代の変化などの影響も受けるものであることを理解し、社会的視点から教育現象を分析できるよう力をつけてほしい。

つまり時代と共に労働市場や家庭、対人関係そして学校がどのように変化し、その結果それらの関係がどのように変化したのか、という視点から分析をできるように学習を進めることが重要である。さらにその結果、学校の教員や保護者、そして子どもにどのような影響が及ぼされ、どのような家庭環境で育った子どもにとって有利になり逆にどのような家庭環境で育った子どもにとって不利になるのか、このような視点から個別の教育現象を観察し、「教育の社会学」の学習を進めてほしい。

ではそのために具体的にどのような学習を行うべきなのだろうか。以下に述べたい。

まず0から自分の頭で考えようとするのではなく、既存の教育社会学の理論を駆使して考えるようにするとよい。教育社会学の理論はこれまで豊富な蓄積が見られ、様々な教育現象を分析するのに応用がきく優れた道具である。特にテキストに登場している欧米の教育社会学の学者の理論は、様々な現場での実践家や研究者の批判に耐えて生き残った優れた分析道具なのである。つまり日本をはじめ様々な国の教育現象を分析するのに非常に有用である。

よって、テキストに登場する欧米の教育社会学の理論に関しては繰り返し読んで学習し、覚えてほしい。その際ただ丸暗記するのではなく、意味を理解して覚えることがまずは重要である。つまり人名と理論の名前をただ覚えるだけでは不十分である。その理論がどういう意味なのか、を文章で説明できるようにしておくことが重要である。

さらにテキストに登場する教育社会学の理論を使って、個別の教育現象を説明できるようになること、

これも重要である。

初期の段階では、教育現象について自分の力だけで考えようとするよりも、テキストに登場する理論をその意味を理解した上で使って分析した方が鋭い分析になるはずである。

これができるようになれば「教育の社会学」の学習目標は達成できたといえる。

ぜひ努力して目標を達成してほしい。

T20200 教育制度論

北野 秋男

テキスト「教育制度論」は、各章ごとに現代の教育制度及び教育行政の理論と構造を理解することが意図されている。とりわけ、現在、我が国で進行中の教育改革の理論と実態が中心的テーマである。受講学生は、以下の点に留意しながら、テキストの内容を理解してもらいたい。

- 1 テキストを丹念に読み、中心となる問題を十分に理解する。
- 2 自分なりの理解をもち、自分の言葉と考えで問題点をまとめる。
- 3 現代の教育制度の理論と構造を理解する。
- 4 アジアやアメリカなどの諸外国の教育制度が我が国に与えている影響を理解する。

上記のテキストから得られた知識をふまえ、現在進行中の我が国の教育改革に関する最新の動向や諸問題に日頃から注目していることが望ましい。テキストの記述で不十分な場合は、積極的に文献を調べて、自らの学習を深めることが重要である。

受講学生がレポート作成上において冒しやすい間違いや誤解、考え違いなどの特徴は、以下のような項目が挙げられる。

- 1 課題に適切に答えていない。課題とは異なる内容の記述を行う。
- 2 解答が論述形式になっておらず、要点のみ記載されている。
- 3 教育学上の正しい用語が使われていない。誤字脱字が多い。

効果的な学習方法は、教育制度に関する全体の理念や特色を整理した上で、具体的な事実を関連させながら理解することである。また、教育学上の特殊用語・専門的な用語を自分の言葉で正しく理解することである。

なお、当然のことではあるが、科目修得試験の受験条件であるレポート作成は、全力で取り組むように心掛けてほしい。

T20300 国語科教育法 I

品川 利幸

本講座の試験は全て論述形式による。従って論述内容を成文化する文章力が求められる。この養成には、例えば日頃から日記をつけるなど、毎日文章を書く練習を積み重ねることである。また、読書習慣のない者が読書指導は出来ないように、いやしくも国語教師を目指すほどの人は、読み・書き・話し・聞く日常を国語力涵養の場と捉えて欲しい。そこから自ずと見識は生まれて来る。

まずは専門用語の解説書を備えること、次に本書の内容をノートにまとめてみることである。次いでスクーリングに用いる『国語総合』で教科書本文から、どのような授業を展開するかを学習指導要領と『教育法』テキストの理論から組み立ててみる。この三者の咀嚼によって国語教育の指導法がはかれる。国語教育の内容は、本書の目次から見ても多岐にわたるが、大切なことは、それら各項目の内容を実際に指導する場を想定して、どのように学習指導案を立て、指導したら良いかを考えることである。

また、本書の効果的な活用法として、目次にはない語彙の、自作索引作りをお勧めする。

なお、論述する際、文末を「～であろう」「～ではないか」などと推測表現で述べてはいけません。自分の考えを明確に打ち出すことが大切です。

参考文献：大槻和夫『国語科重要用語 300 の基礎知識』（明治図書）

T20400 国語科教育法 II

品川 利幸

本書は、書く・読む・聞く・話すの各分野と、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の内容について章立てし、その指導の実際を、遠くは明治期にまで遡り国語教育の変遷をたどりつつ、現代に於ける国語教育の位置づけをみる。書く教育に於いては、生活綴り方教育の実際から現代に於ける伝え合う力を高める教育へとその流れをたどり、読むことに於いては、文学教材と説明的文章の異質性からその指導法を考察する。読書指導は、単に国語科に止まらず、複合的視点から捉えると、その展開も様相が一変する。音声言語教育ではコミュニケーション能力との相関に於いて指導例が示されている。伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項では、国語の各分野に於ける指導の実際を、特に読む・書くの分野から指導の実際を考察する。最新の成果を取り込んだ新訂版によって国語教育の現在を学びたい。

なお、論述する際、文末を「～であろう」「～ではないか」などと推測表現で述べてはいけません。自分の考えを明確に打ち出すことが大切です。

参考文献：池上彰『日本の教育がよくわかる本』（PHP 文庫）

T20500 社会科・地理歴史科教育法 I

宇内 一文

科目修得試験の出題範囲は広く、教科書の内容を理解できるまで読み込んでおかないと合格は困難である。とりわけ、1998（平成10）年版「学習指導要領」の目標と内容、および内容の取扱いの留意点については精読しておく必要がある。また、自分の住んでいる地域（都道府県・市区町村）または教員採用試験の受験を考えている地域の歴史や地理的特色について、事前に調査しておくこと。

試験では、必要なキーワードを含めながら自分の言葉で表現できることが評価のポイントとなる。したがって、「精読」といっても、教科書を丸暗記するのではなく、教科書の内容を章や節ごとに要約してみると良い。

なお、指定されている教科書には現行（2008（平成20）年）の「学習指導要領」については記載されていない。下記の参考書を必ず購入し、各自で内容を確認し、1998（平成10年）版のものと比較しておくこと。

【必読参考書】

文部科学省『中学校学習指導要領解説 社会編』日本文教出版、平成20年（185円）

文部科学省『高等学校学習指導要領解説 地理歴史編』教育出版、平成22年（421円）

T20600 社会科・地理歴史科教育法 II

永野 征男／関 幸彦

教師をめざす場合、教科の具体的な知識も必要だが、教科と指導要領の相互関係を知ることも重要。したがって戦後における指導要領の変遷を中学校、高等学校それぞれに対応して整理しておくことが要請される。

そして次にはミクロ的要素である具体的な歴史知識が問われる。その場合、日本史は世界史であり、世界史は同時に日本史でもあるはずで、この相互の関連が問われる。このことをどれだけ自覚的にし得るかがポイントとなる。

テキストには、この視点が整理されているので熟読して問題と向きあって欲しいと思う。

T20700 社会科・公民科教育法 I

宇内 一文

本科目の科目修得試験の出題範囲は広く、教科書の内容を理解できるまで読み込んでおかないと及第点を得ることは困難である。とりわけ、1998（平成10）年版「学習指導要領」の目標と内容、および内容の取扱いの留意点については精読しておく必要がある。

試験では、必要なキーワードを含めながら自分の言葉で表現できることが評価のポイントとなる。したがって、「精読」といっても、教科書を丸暗記するのではなく、教科書の内容を章や節ごとに要約してみると良い。

なお、指定されている教科書には現行（2008（平成20）年）の「学習指導要領」については記載されていない。下記の参考書を必ず購入し、各自で内容を確認し、1998（平成10年）版のものと比較しておくこと。

【必読参考書】

文部科学省『中学校学習指導要領解説 社会編』日本文教出版、平成20年（180円）

文部科学省『高等学校学習指導要領解説 公民編』教育出版、平成22年（346円）

T20800 社会科・公民科教育法 II

嘉吉 純夫

テキストを精読して、まず各分野における大項目および中項目の内容をしっかりと把握してください。次に、それぞれの項目について、自分が教壇に立った時を想定して、どのように教えれば生徒の理解が容易になるか、深まるか、しっかりと自分なりの授業計画を立ててください。それこそが、本科目の修得を志す者に要求される必要不可欠な準備作業です。

T20800 社会科・公民科教育法 II

大塚 友美

教科書を熟読して、市場経済および民主主義社会の仕組・長所・短所などについて理解を深めてください。その際に留意すべきことは、経済学や政治学などの断片的な知識を暗記するのではなく、たとえば、「市場経済」の基盤である「経済活動の自由」と基本的人権の「自由権」との関係や、市場経済の欠点（経済活動の自由の副作用、すなわち貧富の格差の拡大など）と「生存権」との関係に着目するといった具合に、体系的に理解するよう努めることです。

そのためには、歴史の流れに沿って、経済学の発展を俯瞰することが効果的である、といえます。

また、社会科・公民科の範囲は広範多岐にわたるため、自習をしていて疑問を感じた場合、その部分を経済学事典などを用いて多角的に調べることが必要です。なぜなら、こうした疑問を解消するための

地道な努力が、学習効果を飛躍的に高めるからです。

T20900 英語科教育法Ⅰ

吉良 文孝

記述式の設問となっています。単なる感想や個人的な意見だけを綴るのではなく、事実や資料に裏打ちされた内容を自らの言葉で表現することが求められます。そのためには、通信テキストのみならず、他の文献にもいくつかあたるのが大切です。

T21000 英語科教育法Ⅱ

佐藤 恵一

教材は特に実践に役立つテキストという点では良いが、理論編は十分であるとは言えない。しかし本学使用の教材は特に資料編が充実しているので、これを大いに利用してもらいたい。

特に問1から語彙問題等の問4までは、資料編や索引等も利用し確認していただきたい。また問5から最終問題までは上記だけでなく、それぞれの章の内容を把握し簡潔に説明できるように心がける必要がある。科目修得試験にこれまで出題されてきたものから、それぞれの章のポイントを把握し簡潔に説明できるようにする。

更に補足すれば、記述部分では教授法や学習指導要領他についてもインターネットや様々な英語教育関連のテキストなどから基本情報を確認することも必要であろう。

T21100 商業科教育法Ⅰ

田中 幸治

平成11年改訂の高等学校学習指導要領と平成21年改訂の高等学校学習指導要領とを混同して理解しないように注意をすること。自らが教師になって生徒に教科の指導をすることを前提に、その専門性を高めるよう努めてほしい。具体的には学習指導要領の改訂の趣旨や教科「商業」の目標、科目編成・分野構成及び各科目の目標・内容とその取扱いなどについて理解を深めるようにする。また、教育課程の編成と指導計画の作成についても十分理解しておくこと。以上の内容の理解は教科の指導や教育課程編成の基礎となるものである。なお、教材の付録の部分についても一読しておくこと。

当然のことではあるが、レポートの作成は全力で行い、そこで得た各種の知識などは確実に身に付けておくことが重要である。

T21200 商業科教育法Ⅱ

田中 幸治

平成11年改訂の高等学校学習指導要領と平成21年改訂の高等学校学習指導要領とを混同して理解しないように注意をすること。自らが教師になって生徒に教科の指導をすることを前提に、その専門性を高めるよう努めてほしい。具体的には商業教育の必要性和意義や学習指導要領の変遷、教科「商業」の目標、科目編成・分野構成及び各科目の目標・内容・内容の取扱いなどについて理解を深めるようにする。また、指導計画と授業展開、商業教育と人間形成の章についても十分理解しておくこと。以上の内容の理解は教科の多様な指導法や特色ある教育課程編成の基礎となるものである。さらに、商業科教師への期待や商業教育の課題と展望についての学びにより、教師としての使命の重要性や資質についても一層理解を深めることができる。

当然のことではあるが、レポート作成は全力で行い、そこで得た各種の知識などは確実に身に付けておくことが重要である。

T21300 道徳教育の理論と方法／T21400 道徳教育の研究

関川 悦雄

まず、テキストの全体を通読し、各章・節・項などに付してある「見出し」に従って、その「見出し」を書き出し、その下で当該のテキスト内容をていねいに熟読して要点をまとめるとよいでしょう。とくに、第二章の「道徳教育の目標と内容」、第三章の「道徳の指導計画」、第四章の「道徳の時間の指導方法」などを中心に学習してください。これらの事柄は、少なくとも皆さんがすでに中学時代に指導を受けている内容であるので、その立場から整理するとよいでしょう。

2015年改訂の学習指導要領（道徳）とその解説も参照してください。

T21500 特別活動論／T21600 特別活動の研究

関川 悦雄

まず、テキストの全体を通読し、各章・節・項などに付してある「見出し」に従って、その「見出し」を書き出し、その下で当該のテキスト内容をていねいに熟読して要点をまとめるとよいでしょう。とくに、第3章以下で、「特別活動の改訂と目標」、「学級・ホームルーム活動の目標・内容・内容の取扱い」、「生徒会活動の目標・内容・内容の取扱い」、「学校行事の目標・内容・内容の取扱い」などを中心に学習し

て下さい。これらの事柄は、少なくとも皆さんがすでに中学校・高校時代に体験している内容であるので、その立場から実践上の要点や課題などを加味するとよい。

T21700 教育の方法・技術論
壽福 隆人

まず、テキスト全体を通読して、教育方法学・教育技術論とはどういう世界かということを理解することが重要である。レポート課題に必要な部分のみに注目して学習すると、教育方法・技術論の意義が本質的に理解されない可能性があるからだ。また、テキストは学習の指針に過ぎないことを理解しておくことも重要である。教育方法・技術は学校教育のあらゆる場面の指導方法について深く関係する問題であり、テキストで紹介・説明しきれ程度の狭い学習分野ではない。したがって、テキストを学習のプロローグと考え、ここから本格的な学習、すなわち専門的書籍の検索と学習を始めなければならない。

近年、学校教育において、この教育方法・技術の分野は研究成果が多く発表され、最も発展している分野のひとつと言っても過言ではない。図書館でこの分野の書籍は容易に検索できるし、けっして高価ではない参考文献を書店で購入することもできる。それらの書籍は、学問的な専門書ばかりではなく、実践報告など、現場の教育経験が直接紹介されているものも多く見いだすことができるはずである。そのような書籍を検索したり、見いだしたりすること自体が、教育方法・技術論研究の第一歩と考えるべきである。

次に必要な学習は、学生諸君がこれまで経験してきた学校教育と関連させながらまとめることである。教育方法・技術の成果は何らかの形で、すでに多くの学校で実践されているから、必ずや学生諸君も体験しているはずである。その体験と関連させながら考えることによって、児童・生徒の時代にはその意義・意味を理解できなかったことも、教職課程を履修し、教員をめざしている今日、理解できるようになっているはずである。この自らの体験と書籍による学習を組み合わせることで理解を深め、文章でまとめていくという学習方法が最も学習効果をあげるだろうと考える。

T21800 地理学概論（地誌を含まず）（新教材）
両角 政彦

テキストは、現代地理学の論点と意義をまとめ、その見方と考え方を具体的な事例を通して紹介した概論書である。在宅学習やレポート作成の際には、本文を熟読し、図表や写真をもとに基礎知識を身につけた上で、巻末の文献や索引も参照しながら、専門用語を事典等で調べることが求められる。

本書の内容は、6つに分けることができる。「地理学——世界が舞台」は、地理学とは何か？という根本的な問いに対するひとつの回答である。「自然的側面——我々の自然環境」は、自然環境科学としての自然地理学の見方について複数の空間スケール等から紹介するものである。「人文的側面——場所の中の人間」は、人文地理学の研究方法とその劇的な変化の過程をまとめている。「全体としての地理学——共通基盤」は、地理学としての共通基盤を探索し提示するものである。「地理学者の研究法」は、地理学に必要な技能、道具、社会貢献の方向性を示したものである。「地理学の現在と将来」は、統一的学問としての地理学の立脚点と多様化や継続的变化の下での意義について検討している。なお、コラムに掲載されている内容も地理学を理解する上で一助になる。

T21800 地理学概論（地誌を含まず）（旧教材）
両角 政彦

テキストは、地理学の基本的な見方と考え方を具体的な事例を挙げてまとめた概論書である。在宅学習やレポート作成の際には、本文を熟読し、豊富な図表や写真をもとに、基礎知識を身につける必要がある。そのうえで、これら情報の引用元である文献を入手し、理解を深めることが重要である。

本書の内容は、4つに分けることができる。学習の際には、これらの点に注意しポイントを押えることが求められる。「地理学の歩み」「地理学からみる世界」では、地理学の基本的な見方を理解し、その考え方を習得する。これを踏まえた上で、「生産の地理」「流通・交通の地理」「生活行動の地理」「都市の地理」「村落の地理」「社会・福祉の地理」では、各種産業や都市・村落の立地などの理論的側面とその実態について学ぶ。「知覚の地理」「生活文化・民族の地理」「不平等の地理」は、人間の生活や行動の社会的側面に着目するものである。「民族・移民の地理」「環境の地理」「まちづくりの地理」「地理学の資料と表現方法」では、現実の地球的・地域的課題を取り上げ、地理学の方法論も学ぶことになる。なお、コラムに掲載されている内容も地理学によって諸事象を捉える一助になる。

T21900 地誌学／T22000 地誌学概論／T22100 地理学概論（地誌を含む）
永野 征男

教科書は、第一・二分冊に区分できる。この区分基準は大陸別なものであり、各大陸の中から、地理的に特徴ある国家や地域を捉えている。

地理学が得意とする国土の特徴を、自然環境的あるいは人文社会的に記述している。教科書をよく読んでみると、地誌をとりあげる地理学的な視点が、何となく見えてくる。いずれの事例も、特異な事象

を述べているが、一つの事例を通して、地域を分析する地理的能力を養ってほしい。

そうすることによって、他の国家・地域の理解につながることを期待している。トピック的な記述が目立つかもしれないが、それらはその地域を理解する上で最良の地理的事象と考え、学習することが重要である。

教科書の刊行年の古さから、内容的には新たな資料類を積み重ねることが必要になっている。時々刻々変化する世界の現状は、事例として取り上げた地域を中心に、新たな変化を自ら学び取る必要があるであろう。

T22200 人文地理学概論

永野 征男

- (1) この教科書は、地理学全般の中で、とくに都市地域について記述されている。その主旨は教科書の序論に詳しく述べている。
- (2) 教科書全体は、4 単位構成を 2 部 (2 + 2 単位) に区分してある。記載内容は、各章ごとに別個のように見えるが、章が進行するごとに学問的に深まる (具体例の記述) 順序になっている。
- (3) 第 1 部は、私たちの身の回りに生起する諸問題が取り上げられている。地理学の都市研究とは、日常の生活に有効な見方も多く含まれている。
- (4) 概論的な章の後半には、具体的な事例を取り上げ、詳細な分析がなされている。慣れないうちは、学術的な文章を資料類とともに読みこなすのが大変であろう。しかし、慣れると選ばれた一つの事例地の理解を通して、未知の場所の都市研究の切り口が見えてくる。
- (5) いまや、都市研究に関わる他分野 (都市工学, 都市経済学, 都市社会学, 都市計画など) においても、多くの書籍が頻りに刊行されている。各項目のテーマに合致する、これら分野のアプローチを知り、地理学のそれと比較して欲しいと考える。

T22300 自然地理学概論

江口 誠一

自然地理学は、地表面に生じる自然現象の空間分布を対象とする分野である。そして空間分布の特徴を理解するためには、因果関係を理解することも重要である。つまり、ある現象やその空間分布には必ずそれが生じる直接的・間接的要因が存在している。したがって、学習にあたっては現象・空間分布とそれが生じる要因を整理して理解することが重要である。自然地理学は各種の専門分野を包含しているため、内容は多岐にわたっているが、ここでは地形、気候、土壌、植生分野を重点的に学習する。

それぞれの分野における現象や事実は、相互に原因と結果という関係を持つ場合が多いので、学習の際にも常にそれを意識し、関連性を考えながら学習することが肝要である。また、専門用語には厳密な定義が存在するので、誤用しないように注意することが必要である。それぞれの分野においては、以下の観点を念頭に置き、学習を進めて頂きたい。

テキスト第 1 単位—地形

様々な空間スケールを持つ地形の形成要因と形成過程を整理し、空間分布との関係を理解すること。

テキスト第 2 単位—気候

気候帯や気候区の特徴を知り、それらの空間分布を大気大循環や気候因子との関係から理解すること。

テキスト第 3 単位—土壌

グローバルな土壌分布の特徴を気候、植生との関係と共に把握し、形成要因を理解すること。

テキスト第 4 単位—植生

グローバルな植生分布の特徴を分類基準も踏まえ理解し、さらに主要な形成要因となる気候との関係を整理すること。

T22400 漢字書法

金子 馨

太古から続く文字造形 (書体や書風) の変遷は、書道史として体系づけられています。書の表現は、書道史を無視しては成り立ちません。書道史を学ぶことによって、過去の豊かな表現力を現代に生かすことができます。

まず、書体の成立・特徴、文字の造形の変遷を理解するために、教科書のはじめ (太古時代) から学んでください。教科書を熟読するだけでなく、実技を通して、造形や線質の違いなどを細かく学んでください。

教科書には情報に限りがありますので、参考図書を利用して見識を広げてください。興味のあるところから学んでも結構です。

教科書

『漢字書法教本』学習指導書

参考図書

『書の古典と理論』全国大学書道学会 2013

- 『書の総合事典』 柏書房 2010
 『書の百科』 芸術新聞社 2010
 『書道講座』 新装版 第1～7巻 二玄社 2009～2010
 『決定版 中国書道史』 芸術新聞社 2009
 『書道テキスト』 大東文化大学書道研究所 2006～2011
 『書の文化史』 上・中・下 二玄社 1991～1999

T22500 かな書法

齊藤 まゆみ

アドバイス

- ・テキスト「かな書法教本」を熟読し、日本固有の文字である「かな」について知識を深めておくこと。
- ・代表的なかなの古筆名や、筆者名はきちんと漢字で書けるようにしておくこと。またその古筆の特長もとらえておくことが大切である。
- ・かなの美の表現にはどんな方法があるのか、その効果についても答えられるようにしておくこと。

T22600 法学通論／T22700 法律学概論（国際法を含む）

高畑 英一郎

法学通論／法律学概論は、法律を学ぶうえで必要な基礎的な思考方法・知識の習得を目的とします。指定のテキストは平易な言葉で書かれていますが、読み飛ばすのではなく、一語一語に注意を払いながら、よく読むようにしてください。そして、基本的な法原則の名称とその内容（定義）を正しく理解するように努めてください。対立する概念については、両者はどの点が異なるので対立しているのか、という点を意識するようにしてください。

上記の点に留意しながら、テキスト全体を精読し、必要ならばノートをとるようにしましょう。

T22800 政治学概論

山田 光矢

政治学に限らず、社会科学系の学問には歴史的な理解が求められます。人類の歴史は、一般的には、太古・古代・中世・近世・近代・現代・ポスト・モダンに分けられます。ここでは、時代ごとに特色のある政治や、生産活動、あるいは社会生活が営まれていました。その特徴や目的や内容あるいは問題点などを理解し、最終的には現在の政治をどう考え、それがどのように改革されるべきかを考えてもらうことがこの科目の目的です。

太古や古代の政治は、小規模な都市国家を前提に、宗教の中心人物とされたものが国王（女王）となり、祭政一致の政治が行われてきました。但し、古代ギリシアの一部のポリスだけは、王政から貴族政へて民主政へ移行しました。ここではソクラテスの影響を受けたプラトンが、理想主義哲学の立場から理想的な政治像を追及したのに対して、アリストテレスは現実主義哲学の立場から、現実のポリスの政治を比較し政治の実態を分析しました。これが伝統的政治学と科学的政治学のスタートといえることができます。

中世はやはり小規模国家ですが、国王から荘園を付与された貴族が、荘園を単位とした領邦国家ごとに独立性の高い政治を行ないました。これは封建制ともいわれています。但し、政治の頂点にはローマ教会が存在していました。ローマ教皇の権威が統治権の基礎づけていました。宗教（キリスト教）の権威を背景として政治が営まれていたのです。

近世からは民族を単位とする大規模な国民国家が形成され、それを単位として政治が行われてきました。但し、近世の絶対主義王政は、王権神授説に立脚した絶対君主が、中央集権的で恣意的な独裁政治を展開していました。初期の大規模国家は重商主義経済と結びつきながら、強力な独裁政治によって営まれてきたのです。

こうした政治を転覆させたものが近代市民革命であり、そこで生まれた市民社会では、市民だけが参加した制限民主政治が実践されました。統治制度は議員内閣制と大統領制（アメリカのみ）に分けられました。この近代国家は自由主義と保守主義を前提に運営され、立法国家あるいは夜警国家と呼ばれる消極国家すなわち小さな政府が理想とされました。

その後、国民の政治意識が高まりに合わせて選挙法が改正され、原則として成人男女すべて（大衆）を有権者とする大衆民主政治が展開される、大衆社会に移行しました。この現代国家では、社会民主主義を前提とする行政国家あるいは福祉国家と呼ばれ、積極国家すなわち大きな国家に移行しました。フランスでは議員内閣制と大統領制を折衷した、いわゆるフランス型大統領制が確立されました。

現在の政治では、アメリカ型多元主義とヨーロッパ型ネオ・コーポタティズムという、新しい参加型民主政治が展開されています。また民主政治をポリアーキーとする考えもあります。またマニフェスト民主政治や、ITを利用した選挙活動も実践されています。こうしたポスト・モダンの新しい政治のあり方や必要な改革にも注意を払っておく必要があります。

最後になりますが、この科目は教職関連科目です。教員を目指す皆さんには、政治の歴史や特徴や改

革などを自分で考察し理解してもらう必要があります。そこには「宗教と政治」、「独裁政治と民主政治」、「議会制度や選挙制度」、「少数代表と多数代表と比例代表」、「政党と圧力団体」、「伝統的政治学と科学的政治学」など、多くの課題が出てきます。それは教科書にある各項目を丹念に整理していけば見えてくるはずで、教科書141頁の表の各項目を覚えるつもりで研究に取り組んでください。

T22900 職業指導

野々村 新

まず、テキストの第1・第2章では、学校における「出口指導」ではない「本来の進路指導」が持つ意義・目的と、それが学校教育において果たす役割が取り上げられているので、十分に理解する必要があります。第3章では、進路指導を支える諸理論が紹介されている。

第4章から第9章においては、進路指導の意義・目的を達成するために行われる指導の6領域が詳細に説明されている。第10章では、進路指導を効果的に推進し、その教育的機能を十分に発揮するために必要な指導体制や各教師の役割等が取り上げられている。第11章では、学習指導要領の改訂に伴う進路指導の在り方が示されている。第12章から第14章では、平成16年度から導入され、これからの学校教育の在り方と方向性を示すキャリア教育とそこでの進路指導の役割等が取り上げられている。テキストを熟読して、「本来の進路指導」について明確な認識を持つことが重要である。

テキスト学習から得た知識をふまえて、教育や社会の動向を理解することも重要な学習である。そのためにも、日ごろから新聞等や新しい文献に目を通すよう心掛けるべきである。

T23000 心理学概論

内藤 佳津雄

心理学の対象は、様々な領域に広がっており、「心理学概論」で取り扱う内容も、テキストを見てわかりただけのように、多様なものとなっている。それでも、テキストは内容を精選して初学者向けに作成しているので、まずは丹念によく熟読して、それぞれの内容について理解して欲しい。また、テキストには自分で試すことができる課題がいくつ用意されている。実際に試すことで、具体的な理解が深まるので、ぜひ取り組むことをお勧めする。

教職においては、生徒やその家族との、あるいは教職員同士の相互理解やコミュニケーションが不可欠である。ぜひ、教職課程における他の学習と連動して、課題解決に学習成果を生かして欲しい。

ただし、注意していただきたい点は、心理学の研究は「一般的によく起きる傾向」を明らかにすることを中心としており、個々の人に対する理解については、それぞれの理論が100%あてはまるわけではないということである。心理学の理論や考え方は人間の理解を進める上で役に立つが、過剰に理論を適用することはかえって理解を阻害するので注意する必要がある。また、人間理解を誤らせる「偽科学」に関することもぜひ理解をしておいて欲しい（血液型心理学の章をよく読んでいただきたい）。

当然ではあるが、科目修得試験の受験条件であるレポート作成についても、参考文献を読むなどして全力で取り組むように心がけていただきたい。

T30100 国語科教育法Ⅲ

品川 利幸

本書の眼目は、中等国語科教育における指導の実際について、中学校と高等学校とではどのような相違点があって、それらは如何なる学びの領域から捉えなければならないかを考察する所にある。A～D項目のそれぞれを子細に見ていけば、そこには自ずと独自の内容が認められる。生徒の発達段階に応じた教材の選定は言うまでもなく、例えば「話す」指導においても「話し合い」の習熟を経てディベートの段階に進めるなど、指導の一貫性と深化が図られなければならない。逆に見れば、高等学校における指導事項が中学校のどの部分を基礎に据えてなされるものかを考えることでもある。それらを踏まえ、今日当面している国語科の役割を、メディアリテラシーやPISAに対応した国語力の養成をも考察していくものである。併せて最新版の本テキストから指導要領の変遷にみる将来の方向性をも視野に入れて学びたい。

なお、論述する際、文末を「～であろう」「～ではないか」などと推測表現で述べてはいけません。自分の考えを明確に打ち出すことが大切です。

参考文献：石原千秋『国語教科書の思想』（ちくま新書）

T30200 国語科教育法Ⅳ

品川 利幸

生徒の意識調査に見る国語科の受け止め方は様々であるが、教科書で学ぶ教材には、いわゆる新人類特有の退屈さがつきまとうようである。ここで教授者が自ら学んで来た小学校以来の国語の授業を思い起こして欲しい。国語科の教師を目指すほどの人は必ずや感動を以て接した教師なり教材があった筈である。そこから魅力ある教材とは何か、生き生きした授業を創成するにはどうしたらよいか、考察の糸口は掴めるに違いない。イノベーションとは単なる革新ではない。戦略としての広義の視点の上に、ま

ずは教材開発という次元から様々な可能性が広がる。ただ、気をつけるべきは、安易な「流行」に走り、国語教育の原点を忘れないことである。伝統的な教材の中には、教科書がもたらした優れた文学作品が存することも忘れてはなるまい。これからの国語科は新時代に即したメディアリテラシーが求められる一方で、新たに加わった「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の事柄もクリアしなければならず、課題は山積している。読む・聞く・話す・書くの各項目は無論のこと、国語科における不易流行について考察して貰いたい。

なお、論述する際、文末を「～であろう」「～ではないか」などと推測表現で述べてはいけません。自分の考えを明確に打ち出すことが大切です。

参考文献：田中孝一監修『中学校・高等学校 PISA 型「読解力」－考え方と実践－』（明治書院）

T30300 英語科教育法Ⅲ

吉良 文孝

和訳問題や要約問題の場合には、正しい日本語であることはもとより、わかり易い日本語で表現することが求められます。和訳の場合などは、自分の書いた日本語（訳）を、英語（の原文）を離れて読み返してみるとよいでしょう。日本語だけを読んでみて何を言っているのかわからないような日本語であれば、それは得点にはならない（部分点もない）ということです。

T30400 英語科教育法Ⅳ

水本 孝二

試験は、(1)教科書の中にある重要な専門用語の（日本語での）解説と(2)本文中から抜き出した、ある程度の長さの文章の和訳から構成されています。なお、受験時には英和辞典の持込みを許可します。ただし電子辞書は不可とします。(1)に関しては、巻末の Glossary や本文の該当部分を熟読してそれぞれの専門用語の意味を十分に理解しておいて下さい。(2)に関しては教科書の内容を正確に把握しておくことに尽きるのですが、解答に際して心掛けることを二点挙げておきます。一点目は「自分で自分を納得させられる文章にすること」です。一番いけないことは次のようなことです。意味の分からない単語を辞書で引いて、一番目に出ている意味をただやみくもにつないで行って、その結果確かに日本語ではあるが、（おそらくは書いた本人にも）さっぱり理解不能な日本語の訳文が出来上がっている。自分で自分を納得させられない時は、必ず誤訳をしています。丹念に辞書を引いて、文章の前後関係なども慎重に考慮して解釈を進めていきましょう。二点目は「代名詞が何を指しているのかを常に把握しておくこと」です。このことを考えずに、ただ機械的に it が出てきたら「それ」、they が出てきたら「彼らは」としていたら正確な解釈は出来ません。「それ」とは文中の何のことが、「彼ら／それら」とは文中の誰／何のことがを、代名詞が出てくるたびに常に確認しておくことが重要です。

T30500 生徒指導・進路指導論

野々村 新

テキストは、第1単位（第1章～第6章）と第2単位（第7章～第13章）に大別できる。

第1単位では、学校における生徒指導の意義・目的、その必要性等を明確に理解する必要がある。さらに、生徒指導を実践するための方法、組織・運営や、新しい特別支援教育に関する認識しておくべきである。

第2単位においては、まず、「本来の進路指導」あるいは「教育としての進路指導」の意義・目的を正しく認識する必要がある。そして、その目的を達成するための指導の6領域や管理・運営についても理解しておくべきである。また、最近実践されるようになったキャリア教育の意義・目的、その必要性等に関する明確な認識を持つよう心がけてほしい。

T30600 教育相談／T30700 教育カウンセリング論

植松 紀子

まず、テキスト『教育相談』を熟読すること。そこには、カウンセリングの全般的な意義、目的、歴史やその必要とされる背景が記されている。そのことを理解するとともに、カウンセリング理論にみられる差異などを明確に知る必要がある。また、カウンセリングの効果を高めるために不可欠な、カウンセラーの態度についても理解すべきである。

教育相談（教育カウンセリング）についても、その意義・目的を把握し、学校教育相談（学校教育カウンセリング）がなぜ必要になったのかという歴史的背景と現状についても理解する。また、学校教育とカウンセリングとの関係、カウンセリングと学校教育相談の違いについても明確に把握することである。

進路相談の必要性、児童生徒の適応・不適応行動とは何か、発達障害とは何かを理解するとともに、それらを担当する学校教育相談の教師は、どのように接するのかについて理解することが必要である。

U20100 学校経営と学校図書館

朝比奈 大作

この科目の試験問題は、基本的に「小論文」の形式で出題します。したがって、細かな事項を「暗記」するのではなく、学校図書館の意義や役割についてしっかりと自分なりの考えをまとめておきましょう。特に諸君は「司書教諭」という「仕事」を目指しているはずですが、自分が司書教諭になることができたなら、一体どんな仕事をすべきなのか、しなければならないのかを、テキストから読み取って理解しておいてください。特にこの科目は、全部で5科目ある司書教諭科目の中で、全体の「総論」に当たる科目ですから、学校図書館と司書教諭とのあるべき姿（理念）はどのようなものなのかを考えておきましょう。テキストの全体を通読して自分の考えをまとめておくこと、これが最大の試験勉強になるはずですが、

これまでの試験結果から見て不合格になりやすい例を挙げておきます。

1. テキストや参考書の文言を引き写しにしているものは無条件に不合格とします。小論文試験では「自分の文章」を「作文」することが肝心です。他人の文章を引き写して「これは私が書いた」と自分の名前を署名してしまったら、著作権法違反（盗作）になってしまいます。どうしてもテキスト中の文章を使いたい場合には、必要最小限の分量を正確に「引用」すること。
2. 問題が何を求めているのか（題意）を取り違えているもの。このことについては特に言うまでもないでしょう。
3. 「論文」としての組み立てが不十分なもの。単に「自分の考え」を述べただけでは「論文」にはなりません。なぜそうした考えに至ったのかを「採点者にわからせるように」書いてください。箇条書きは避けましょう。また敬体（です・ます調）も、文章が羅列的になりやすいので、論文では常体（である調）を用いるのが無難です。

資格を取得するという事は、「無資格者にはできない仕事」ができるようになる、ということです。マニュアルがあって、その通りにすればよいのであれば、そのような仕事に「資格」はいりません。「有資格者」として他人にはできない仕事を目指しているのだ、という自覚を持って、司書教諭として何をすべきかをしっかりと考えておきましょう。

U20200 学校図書館メディアの構成

須永 和之

教科書、教材をよく読んで学んでほしい。日頃から図書館を使って、分類（図書の背ラベル）や目録（OPAC）を利用していることが望ましい。

U20300 学習指導と学校図書館

朝比奈 大作

この科目の試験問題は、基本的に「小論文」の形式で出題します。したがって、細かな事項を「暗記」するのではなく、学校図書館を使って子どもたちに教育指導をするという司書教諭の仕事について、具体的に自分なりの考えをまとめておきましょう。自分が司書教諭になることができたなら、子どもたちにどんな指導をすべきなのか、しなければならないのかをテキストから読み取って理解しておいて下さい。特にこの科目は、いわゆる「調べ学習」の指導内容を中心に構成されている科目ですから、本来ならば指導者としての自分自身が、そのような「調べもの」を「実行できる」ことが必要です。テキストの全体を通読して自分ならどうするか、自分には何ができるか、というように具体的に考えておくべきです。

これまでの試験結果から見て不合格になりやすい例を挙げておきます。

1. テキストや参考書の文言を引き写しにしているものは無条件に不合格とします。小論文試験では「自分の文章」を「作文」することが肝心です。他人の文章を引き写して「これは私が書いた」と自分の名前を署名してしまったら、著作権法違反（盗作）になってしまいます。どうしてもテキスト中の文章を使いたい場合には、必要最小限の分量を正確に「引用」すること。
2. 問題が何を求めているのか（題意）を取り違えているもの。このことについては特に言うまでもないでしょう。題意を満たしていないものは「採点不能」ですから、当然不合格になってしまいます。
3. 「論文」としての組み立てが不十分なもの。単に「自分の考え」を述べただけでは「論文」にはなりません。なぜそうした考えに至ったのかを「採点者にわからせるように」書いて下さい。箇条書きは避けましょう。また、敬体（です・ます調）も、文章が羅列的になりやすいので、論文では常体（である調）を用いるのが無難です。

資格を取得するという事は、「無資格者にはできない仕事」ができるようになる、ということです。マニュアルがあって、その通りにすればよいのであれば、そのような仕事に「資格」はいりません。「有資格者」として他人にはできない仕事を目指しているのだ、という自覚を持って、司書教諭として何をすべきかをしっかりと考えておきましょう。

U20400 読書と豊かな人間性

山本 さゆり

まず、人はなぜ本を読むのか、読書はなぜ大切かということを考えてみましょう。そして子どもにとつ

て、読書はどういう意味をもつのかということの理解を深める必要があります。子どもは、優れた本を読んで何をの得るのかという実例が、テキストには多く取り上げられています。そこから、あるいは自分自身の体験にも照らして、このことを考えてみるとよいでしょう。「子どもの本がもつ力」、「読書がもたらすもの」について、また、「豊かな人間性とは何か」ということも具体的に考えておかなければなりません。

その上で、読書教育の具体的な方法ということを考察します。映像文化、情報化社会、核家族化というような現代の状況をも考慮しつつ、子どもの発達に即した読書教育はどうあれば良いのかを考えてみましょう。

実際に学校ではどのような読書活動が展開されているのかについても調べておきましょう。月刊『学校図書館』（全国学校図書館協議会）、文部科学省や読書活動の研究校のホームページなども参考になります。

テキストに掲載されている参考・引用文献は、なるべく多く目を通してください。特に、『橋をかける—子供時代の読書の思い出』、2005年に出版された脇明子著『読む力は生きる力』などは熟読してほしいと思います。

また、「子どもの読書活動の推進に関する法律」や『『子ども読書年』の理念』について理解しておきましょう。取り上げられている子どもの本については、できる限り多くを実際に読んでみるのが大切です。

自分の体験のみを基に論じられたものは、どうしても視野が狭くなります。必ずテキストや参考文献を読み、自分の体験を合わせて論ずることが大切です。

U20500 情報メディアの活用

須永 和之

情報メディアの技術は日々進歩しているので、最新の文献を読んで教科書、教材の内容を補完してほしい。特に著作権法は改正が頻繁にあるので、最新の文献で確認しておくことが重要である。

Y20100 生涯学習論

金塚 基

本科目は、生涯学習の概念の整理（社会教育との関係を含む）ならびに生涯学習が重視される社会的背景、その意義、関連諸制度を理解することをねらいとする。

まず、生涯学習の理念はユネスコで「生涯学習」の概念として取り上げられたことにはじまる。今日、生涯学習は聞き慣れた言葉であるが、その概念をめぐるには様々な誤解がある。

例えば、生涯学習は学校外のノンフォーマルな学習活動を意味するように扱われているが、本来、学校教育や社会教育を包括する教育理念として提唱されたものであった。また、生涯学習は社会教育と混同される傾向もみられるが、これも生涯学習の概念を一側面から捉えることから生じる誤解である。生涯学習の概念は広義的ならびに狭義的それぞれの側面から捉えられ理解されるべきである。

本科目の学習に際しては、以上のような概念を踏まえた上で、市町村や教育委員会、関係法人などが実施する学習・文化・スポーツ事業の具体的な事例に着目・収集し、答案作成の材料にすることが必要である。つまり、そのような事例を取り上げ紹介していないものは不合格となる。そして、各種の生涯学習関連施設のあり方について学習しておくことが重要となる。

テキスト 佐藤晴雄 著『生涯学習概論』学陽書房

Y20300 博物館概論

野中 和夫

学芸員課程における本科目は、学芸員養成科目の基礎をなす一つである。

試験にのぞむ（勉強する）にあたり、指定教材を熟読することはもとより、関連する参考書を多用し、理解を深めておく必要がある。

Y20400 博物館経営論

野中 和夫

学芸員課程における本科目は、学芸員養成科目の基礎をなす一つである。

試験にのぞむ（勉強する）にあたり、指定教材を熟読することはもとより、関連する参考書を多用し、理解を深めておく必要がある。

Y20600 博物館資料論

野中 和夫

学芸員課程における本科目は、学芸員養成科目の基礎をなす一つである。

試験にのぞむ（勉強する）にあたり、指定教材を熟読することはもとより、関連する参考書を多用し、理解を深めておく必要がある。

Y20700 博物館資料保存論

青木 繁夫

「博物館資料保存論」は、博物館活動を支える資源であり、財産である博物館資料をできるだけよい環境で保存し、活用するための基本的な考え方を理解していただくための授業である。

参考文献を読んで、以下に示した項目について学習する。特に「照明基準」や「温湿度基準」に関連する事柄についてはしっかりと理解してください。

- 1) 博物館における資料の役割
- 2) 博物館資料の製作技術
- 3) 博物館資料が損傷、劣化するメカニズムの理解
- 4) 博物館資料を保存管理するための環境コントロール
- 5) 博物館資料を災害や事故から護るための危機管理と対策

学習した知識を踏まえて、地域にある博物館や美術館を見学して、照明、温度、湿度などの保存環境をどのようにコントロールした中で博物館資料が展示・公開されているかを具体的な事例で確認してください。

<参考文献>

- 1) 『新版博物館学講座』（全15巻のうち、既刊9巻）雄山閣
- 2) 全国大学博物館学講座西日本支部編『新しい博物館学』芙蓉書房出版、2008
- 3) 『博物館学事典』東京堂出版、1996
- 4) 全国大学博物館学講座西日本支部編『新時代の博物館学』芙蓉書房出版、2012
- 5) 三浦定他『文化財保存環境学』朝倉書店、2004
- 6) 東京文化財研究所編『文化財虫害事典』クパプロ、2001
- 7) 東京芸術大学大学院文化財保存学日本画研究室編『図解日本画の伝統と継承』東京美術、2002
- 8) David Dean 著、山地秀俊他訳『美術館・博物館の展示』丸善株式会社、2004

Y20800 博物館展示論（新教材）

折茂 克哉

教科書の第1章から第4章まで熟読し、「展示」の意義や種類、手続き、諸問題など総合的に理解することが必要である。

教科書には「展示」の意味や歴史、社会的な役割、形態や分類、実際の作業、最近の動向などがコンパクトに述べられている。さまざまな「専門別展示」が紹介されているが、共通した理念がある上で扱う資料と「展示」の方法が異なっていることに留意されたい。

博物館における「展示」活動は、今日各地の都道府県、市町村に存在する博物館施設で普遍的に行なわれており、展示の実践を体感することは容易である。学芸員を目指す者にとって、分野の異なった博物館施設における「展示」を体感しておくことは不可欠である。

また、「展示」と「展示」以外の博物館活動との関係性を考えることで、「展示」をより理解できるだろう。

Y20800 博物館展示論（旧教材）

折茂 克哉

教科書を通読し学芸員が行っている仕事を理解した上で、第4章・第5章を熟読し、展覧会に関わるさまざまな形態や特徴について理解することが必要である。

教科書には各博物館での展示活動がコンパクトに触れられている。歴史系博物館、自然史系博物館、美術館、動物・水族館等によって展示手法は変化しているが、共通していることが存在している点に留意することが重要である。その前提に立つことで展示を行う意味が理解できる。

また、博物館における展示活動は、今日各地の都道府県、市町村に存在する博物館施設で普遍的に行われており、展示の実践を体感することは容易である。学芸員を目指す者にとって、分野の異なった博物館施設における展示を観覧しておくことは不可欠の学習である。

Y20900 博物館教育論

折茂 克哉

教科書の第5章から特論まで熟読し、その上で各章に書かれている「博物館教育」の内容を理解することが必要である。

教科書には「博物館教育」と類似する言葉として「生涯学習」、「社会教育」、「教育普及活動」などの文言があるが、各章の執筆者によってその内容は微妙に異なっている。各章での使い方とその内容を理解して、各執筆者の論旨をとらえなければならない。その上で、博物館における教育の概念とその実践事例を理解することが重要である。

また、博物館における教育は、今日各地の都道府県、市町村に存在する博物館施設で普遍的に行われており、その行事（イベント）に参加することによって容易に体感することが可能である。これらの行

事に参加するか、少なくとも近隣の博物館施設で行われている行事にはどのようなものがあるのかを調べておくことは、学芸員を目指す者として必要不可欠の学習事項であろう。

Y21000 博物館情報・メディア論

品川 欣也

博物館情報・メディア論では、教科書（第11章から第14章）を通読して、博物館のもつ情報やその活用方法について運営者と来館者双方の視点から理解する必要がある。

博物館のもつ情報やその活用方法の理解にあたっては、まず博物館の成り立ちやその役割を知り、その次に博物館に必要な情報化作業やその技術、そして公開と活用がどのような形態で行われているかを捉えることが重要である。そのためには、普段から博物館のホームページや図録・リーフレットなどの印刷物に目を通し、また展示情報端末を体感するなどして博物館がどのような情報を扱い、発信しているのかを積極的に考える機会を増やすこともまた大切である。

〈参考文献〉

大堀哲・水嶋栄治編 2012『博物館学—博物館情報・メディア論 博物館経営論』学文社

西岡貞一・篠田謙一編 2013『博物館情報・メディア論』放送大学教育振興会

日本教育メディア学会編集『博物館情報・メディア論』株式会社ぎょうせい

Y21200 民俗学

田中 藤司

民俗学は、学芸員コースのために開設された専門科目だが、学芸員志望でない人にも有意義だと確信している。レポート課題をご覧いただければ、他の科目と異なる点が明瞭であろう。この課題は、学芸員コース科目ということをご考慮した私の方針であると同時に、民俗学という学問の性格を反映している。

庶民の生活文化を研究する民俗学には、核となるような知識や基礎、体系的が稀薄だ。その理由は、大きな理論や常識的理解に当てはめて事例を解釈して良しとするのではなく、実際の生活のなかから見いだした小さな具体的な疑問が、その分析に必要な知識の収集を要求するからだ。だから「問い」こそが学問の始点である。問いに対する解答がフィールドワークによって満たされる点に、民俗学の最大の特色がある。

ただし、そのような探求の前に、先行研究を検討する必要があることは、他の学問と同じである。自分自身の問いを育てながら、自分で調べ自分で考え、先行研究と格闘することは、卒業論文作成にも必須の技術である。論文を読まない、論文は書けない。引用文献を表示しないレポートや抜き書き・丸写しに合格点は望めない。レポートは、同時に2通を提出するのではなく、1通めの添削指導を吟味のうえ、各自の研究を継続してバージョンアップしたレポートを2通めとして提出するのが望ましい。

試験では、生活文化の研究に関連した概念（キーワード）ひとつ以上を先行研究から借用し、レポート作成過程で情報収集・分析した題材（実例）について、要約・記述・再分析していただく。分析のための概念は、通過儀礼・生活革命・創られた伝統・博物館展示・地域史研究・近代家族・境界・贈与・生業暦・予祝儀礼・村社会・伝承者・民具・世間話・年齢集団・株・忌み・ジェンダー・人口移動・文化的多元性など、「使える」ものならなんでもよい。レポート準備段階から意識しておきたい。

試験時間は短く、答案スペースは小さい。自分が取り組んできた問題について、課題レポート以上に大胆にコンパクトな見取り図を示し、抽象に流れない答案を作成するように期待する。記述内容を示すタイトルを工夫して掲げることを絶対に忘れないように。

Y21300 文化人類学

服部 慶巨

我々人間は、自分の育ってきた環境・経験・価値観で物事を判断しやすい存在である。育ってきた環境が異なれば、異なる経験をしていれば、価値観がそぐわなければ、自分が「当たり前」と思っていることが相手には「珍しい」「奇妙だ」といった偏見を抱かれてしまうことになる。

そのような現実を十分に意識した上でテキストを精読し、グローバル化が進んでいる現代において異文化への偏見をいかにして取り除くかを、自分の考えをふまえながらノートを作成しておくことが望ましい。

なお、各章末の「参考文献」「推薦図書」および巻末の「さくいん」をもとに、重要語句・概念そして主要人物についても理解を深めてほしい。

日本大学通信教育部長 殿

学割証交付願

下記の事由のため、学割証の交付をお願いします。

記

				平成	年	月	日	申請
学部		学科(専攻)		学生番号				
氏名				年齢		歳		
現住所 〒 -								
TEL ()								
申請事由(該当箇所に○を記入してください)								
東京スクーリング (月期)				卒業論文面接指導 (月 日)				
夏期スクーリング (第 期)				総合面接試問				
地方スクーリング (月期) (開催地)				科目修得試験 (第 回)				
昼間・夜間スクーリング (曜日 時限)				その他 ()				
乗車区間	自	線		駅	至	線		駅
乗車日	行	年		月	日	帰	年 月 日	
必要枚数	_____枚(1枚で往復乗車券購入可能。複数枚の場合は理由を明記すること) ※理由							
利用交通機関	鉄道・バス・その他 ()			受取方法		窓口・郵送		

【注意事項】

- ① 科目履修生には、鉄道会社等の規定により発行できません。
- ② 大学主催行事以外(旅行等個人的事由)には使用できません。
- ③ 乗車区間が100kmを超える場合に限り発行します。
- ④ 郵送の場合は、返信用封筒(あて名明記、82円切手貼付)を同封してください。
- ⑤ 1枚で往復乗車券が購入できます。ただし、学割証の有効期間内に限ります。
- ⑥ この交付願では通学定期券の購入はできません。

郵便はがき

切手貼付

212円切手貼付
特定記録郵便を
推奨。
窓口提出の場合
は切手不要。

1 0 2 8 0 0 5

東京都千代田区九段南4-8-28
日本大学通信教育部 教務課 行

差出人

住所 〒 _____

氏名 _____

注意事項

※この受験届は予備です。

『部報』巻末に綴じ込まれている受験届を紛失した場合等に使用してください。

※記入にあたっては、『科目修得試験の手引』を参照してください。

※提出期限を過ぎた場合は無効となります。なお、受験届をレポート等とまとめて封筒に入れ、一括して送付しないでください。

※郵便事故等による受験届未着の場合も、受験ができません。

特定記録郵便「212円切手貼付」を強くお勧めいたします。

なお、受験票が届くまで受領証を保管してください。

科目修得試験受験届

予

学生番号	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
フリガナ	
氏名	

年	月	日	実施回
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

会場コード	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
会場名	

時限	受験希望科目	
	科目コード	科目名
1	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	
2	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	
3	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	
4	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	

※ 記載漏れや誤記は無効となります。
提出前に再度確認してください。



DISTANCE LEARNING DIVISION, NIHON UNIVERSITY

編集兼発行人 福田弥夫 〒102-8005 東京都千代田区九段南4-8-28 日本大学通信教育部